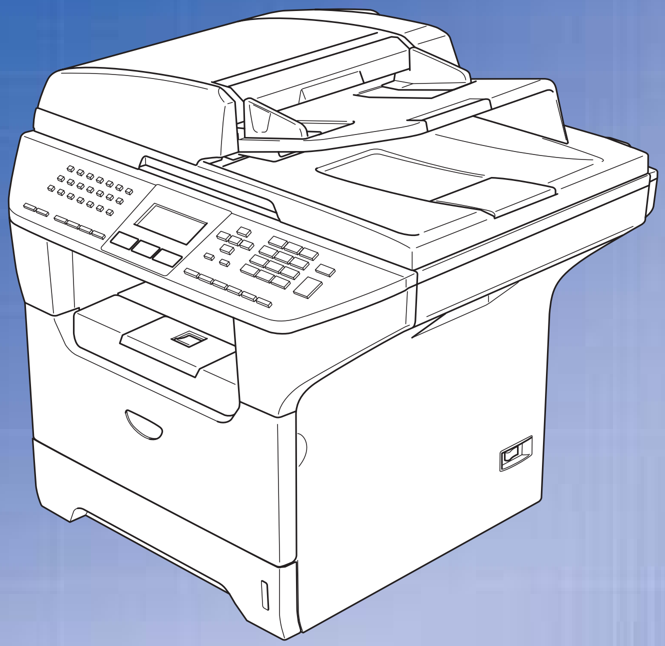
brother

MFC-8460N
MFC-8870DW

ユーザーズガイド

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。



お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）

0120-143-410

おかけ間違いのないようにご注意ください。

本製品の取り扱い・操作・障害についてご不明な点がございましたら、上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけください。

●受付時間／9:00～20:00（土曜日のみ17:00まで）

●営業日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：
http://solutions.brother.co.jp

添付ソフトウェア（Presto! PageManager®）お問い合わせ窓口
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL/03-5472-7008　FAX/03-5472-7009

●受付時間／午前10:00～12:00・午後1:00～5:00（土日・祝日を除く）

やりたいことがすぐ探せる！ **やりたいこと目次** 18P

トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

http://www.brother.co.jp/jp/printer/recycle/

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

VCCI規格

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施工基準で、クラス1レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

JIS C 61000-3-2 適合品
本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

無線LANご使用時のご注意（MFC-8870DWのみ）

● 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記「お客様相談窓口」にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）

0120-143-410

おかけ間違いのないようにご注意ください。

・受付時間　9：00～20：00　（土曜日のみ17:00まで）
・営業日　　月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。
サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：
http://solutions.brother.co.jp

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意(MFC-8870DWのみ)

●無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

●その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
　　メールの内容
　などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
　　傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
　などの行為をされてしまう可能性があります。

●本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

●セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。
「DS」:変調方式がDS-SS方式であることを表す。(IEEE802.11bのとき)
「OF」:変調方式がOFDM方式を表す。(IEEE802.11gのとき)
「4」:想定される与干渉距離が40m以下であることを表す。
「---」:全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

SERVICE EXPRESS
ブラザーサービスエクスプレス

MFC	1年間無償保証

ブラザーMFCは下記のアフターサービスメニューをご用意致しております。
故障かな？と思ったら．．．

商品ご購入後、どなたでも受けられるサービスメニューです。

STEP 1 お客様相談窓口(ブラザーコールセンター)へお電話ください。

取扱説明書の表紙に記載された、フリーダイヤル[お客様相談窓口]へお電話ください。
お客様の製品の状態を、お電話による質疑応答により診断。
E-mailでのお問い合わせ：
http://www.brother.co.jp/jp/mail_service_id/index.html
http://solutions.brother.co.jp/contact/index.html

修理が必要と診断された場合

STEP 2 48時間以内に、故障機の回収手配。＊1

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不要です。

さらに! ご希望に応じて、貸出機のサービスもご用意。＊2

修理期間中に電話・ファクスが無いと困る！というお客様には、貸出機をご用意します。
宅配便手配の際にお申し付けください。

STEP 3 7日以内に修理品を返送。

弊社到着後、7日以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

＊1　一部地域を除く
＊2　正常動作の確認・整備をした機械（ただし、消耗品は除く）

ブラザーサービスパック

1年間の無償保証期間“Service Express”に加え、さらに充実した保守サービスメニューをご用意しております。（有料）

サービスパック

製品購入と同時に購入して頂けるサービスプログラムです。
３年間もしくは４年間、５年間の長期保証契約ですので、割安にサービスを受けられるメリットがあります。

年間保守サービス

製品ご購入後、４年以内の当社基準に適合した製品であれば、いつでもご契約できる1年単位のサービスプログラムです。

※各保守契約については、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。

- 上記2つの保守契約には、技術料／部品代が含まれます。
- 出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応します。
  出張修理契約には、出張料が含まれております。
- 引取り修理は、宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送します。引取り修理契約には、送料も含まれております。
- サービス提供時間：月～金（除く祝祭日、弊社休業日）9:00～17:00

各保守契約についての料金体系・サービス内容の詳細は、下記の窓口へお問い合わせください。
TEL : 052-824-3253
http://www.brother-hanbai.co.jp/brother_support/index.html

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

「してはいけないこと」を示しています。	「分解してはいけないこと 」を示しています。	「水ぬれ禁止」を示しています。	「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
「しなければいけないこと」を示しています。	「電源プラグを抜くこと」を示しています。	「アースをつなぐこと」を示しています。	
「感電の危険があること」を示しています。	「火災の危険があること」を示しています。	「やけどの危険があること」を示しています。	

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410 へご連絡ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- ユーザーズガイド等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ P.229 へご注文ください。

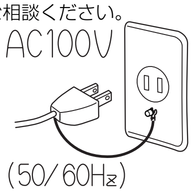
ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

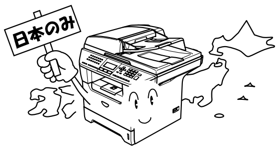
火災や感電、やけどの原因になります。

警告

電源はAC100V、50Hzまたは60Hzでご使用ください。
DC 電源で使用しないでください。
本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格をお持ちの方にご相談ください。



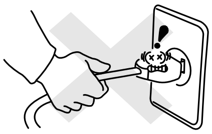
国内のみでご使用ください。
海外ではご使用になれません。



ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

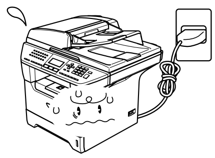


本体内部には高圧電流が流れています。本体の内部を清掃するときは、電話線を外した後、電源コードを抜いてください。また電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

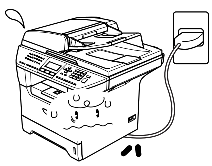


電源コードを破損するようなことはしないでください。
以下のことをしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- 加工する
- 無理に曲げる
- 高温部に近づける
- 引っ張る
- ねじる
- たばねる
- 重いものをのせる
- 挟み込む
- 金属部にかける
- 折り曲げをくり返す
- 壁に押しつける

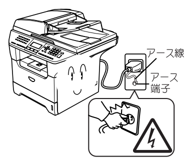


本製品を電源コードの上にのせないでください。



アース線を取り付けてください

万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本製品を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。
アース線の接続は、必ず電源コードを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。



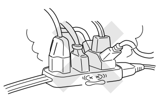
■ 取り付けられるところ

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（第3種）が行われているアース端子

■ 絶対に取り付けてはいけないところ

- 電話専用アース線
- 避雷針
- ガス管

タコ足配線はしないでください。

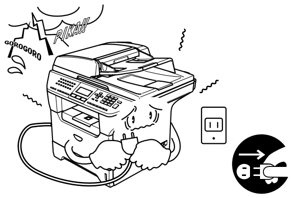


アース線のない延長用コードを使用しないでください。
保護動作が無効になります。

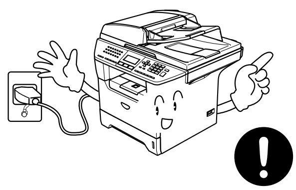
同梱されている電源コードセットは、本製品専用です。本製品以外には使用しないでください。
また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットを本製品に使用しないでください。

注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードも本製品から抜いてください。

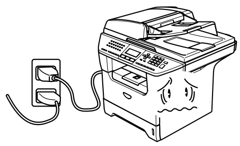


電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。



お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。



お願い

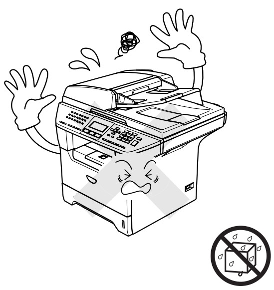
いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

警告

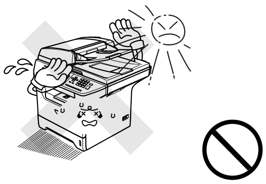
湿度の高い場所
ふろ場や加湿器などのそばに置かないでください。



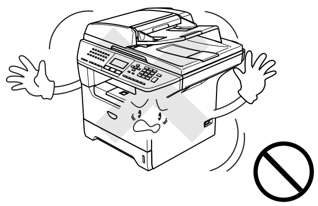
医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

注意

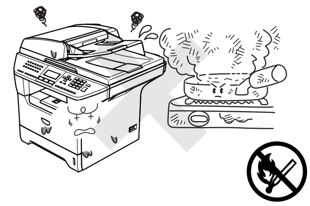
温度の高いところ
直射日光のあたるところ、暖房設備などのそば



不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

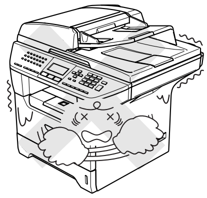


油飛びや湯気の当たる場所
調理台などのそば

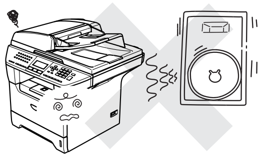


お願い

いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。装置内部が結露するおそれがあります。



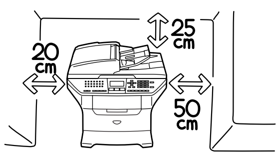
磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど



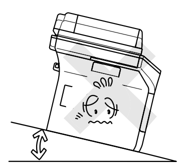
高温、多湿、低温の場所
本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80%
（結露なし）

壁のそば
本製品を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。



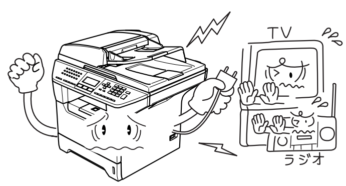
傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。



◎急激に温度が変化する場所
◎風が直接あたる場所
（エアコン、換気口など）
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
◎じゅうたんやカーペットの上

電波障害時の対処
近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- 本製品をテレビから遠ざける。
- 本製品またはテレビなどの向きを変える。
- 本製品をコードレス電話の親機から遠ざける。

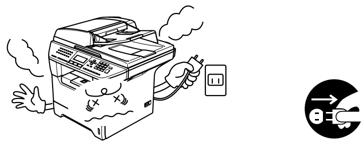


もしもこんなときには

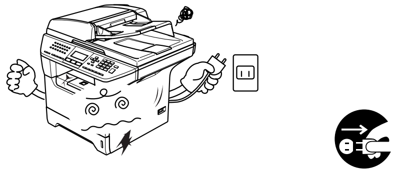
下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

警告

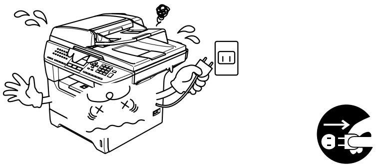
煙が出たり、異臭がしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



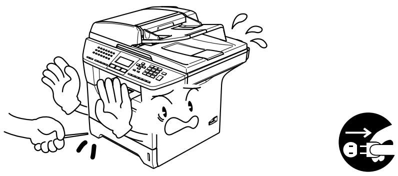
本製品を落としたり、破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

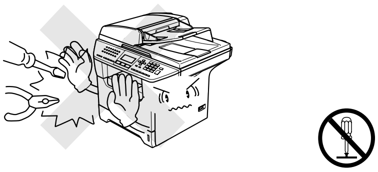


その他のご注意

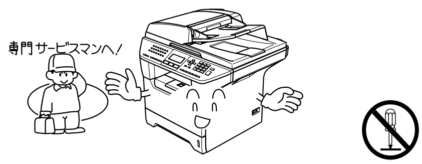
故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

警告

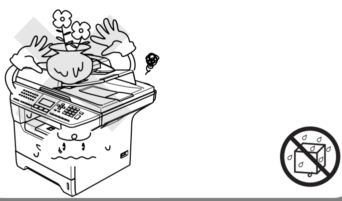
分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。



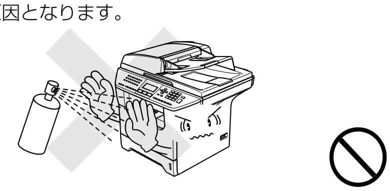
改造しないでください。
修理などはコールセンターにご相談ください。法律で罰せられることがあります。



本製品に水や薬品などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。

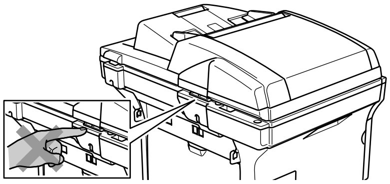


本製品の近くで可燃性のスプレーなどは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

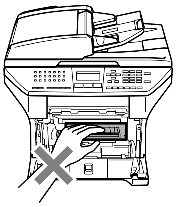


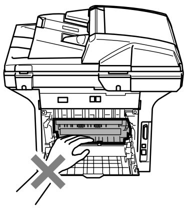
警告

原稿台カバーや本体カバーを閉めるときに、指などをはさまないようにしてください。

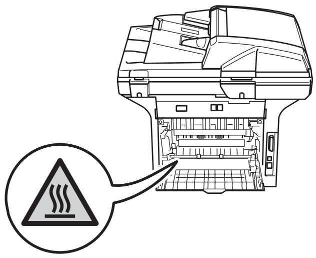


本製品を使用した直後は、内部がたいへん熱くなっています。
フロントカバーやバックカバーを開けるときは、グレー部分には絶対に触らないでください。

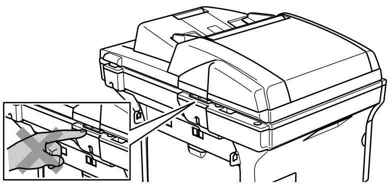


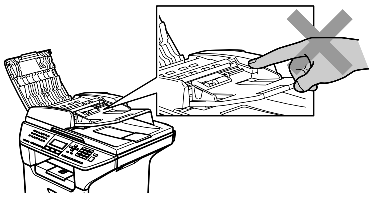


定着器に貼られているラベルは、はがさないでください。

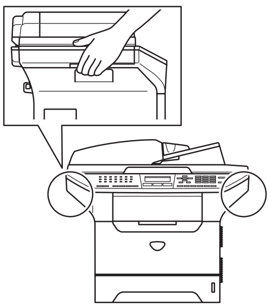


図に示す所に指を入れないでください。



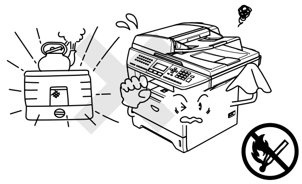


本製品を持ち運ぶときは、図のように本製品の両脇を持ってください。
本製品の底辺を持たないでください。



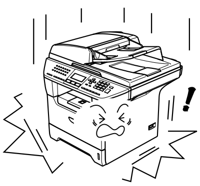
注 意

火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

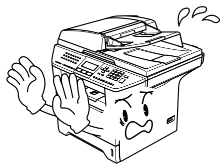


お願い

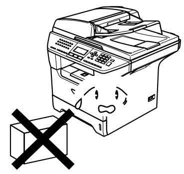
落下、衝撃を与えないでください。



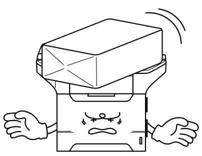
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



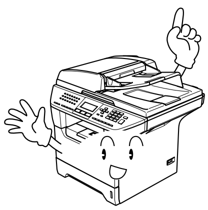
本製品の前方には物を置かないでください。
記録紙の排出の妨げになります。



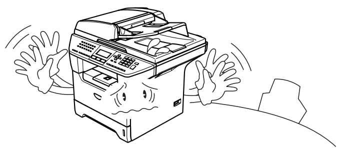
本製品の上に物を置かないでください。



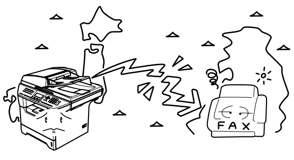
指定以外の部品は使用しないでください。



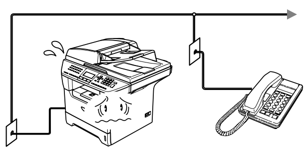
電話会社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。最寄りの電話会社の支店、営業所へご相談ください。



海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。



ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
１つの電話回線にブランチ接続（並列接続）すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。



本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

停電がおきたときは

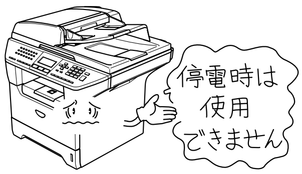
お願い

●次のデータはバッテリーで保持するメモリーに保存しており、停電後４日間保持されます。
- 送信メモリー文書
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書

●次のデータは不揮発性メモリーに保存していますので停電しても保持されます。
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 各種登録・設定の内容

停電復旧時について
４日間以上停電が続いた場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

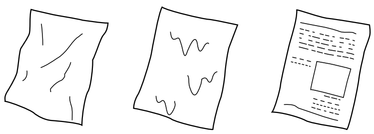
停電中は使用できません。
本製品はAC 電源を使用しているため、停電時は使用できなくなります。



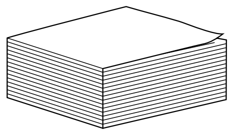
記録紙について

お願い

使用する記録紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙、広告紙などは使用しないでください。

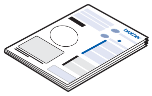
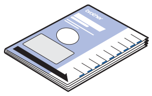


保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。



ユーザーズガイドの構成

本製品には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

	**かんたん設置ガイド（印刷版）** 本製品を使用するための準備について記載しています。
	**ユーザーズガイド（本書）** ファクス、コピーのしかたや本製品のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	**画面で見るユーザーズガイド（CD-ROM）** 付属の CD-ROM には、パソコン画面で見ることができる次のユーザーズガイドが収録されています。 • ユーザーズガイド（HTML 版）：各種機能の説明が収録されています。 • ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）：パソコンに接続して使う機能の説明が収録されています。 • ネットワーク設定ガイド（PDF版）：ネットワークに接続して使う機能の説明が収録されています。

補足

● Windows®をお使いの場合
- パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューからユーザーズガイド（HTML版）を閲覧できます。
- ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXXX］－［ユーザーズガイド］を選んでください。

● Macintosh®をお使いの場合
①CD-ROMをMacintosh®のCD-ROMドライブにセットします。
②［Documentation］フォルダをダブルクリックします。
③ユーザーズガイド（HTML版）　：（MFC-8460N）MFC-8460N_JpnTop.html
（MFC-8870DW）MFC-8870DW_JpnTop.htmlファイルを開いてください。
ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）　：ALFB_JpnSoft.pdfファイルを開いてください。
ネットワーク設定ガイド（PDF版）　：（MFC-8460N）MFC-8460N_JpnNet.pdf
（MFC-8870DW）MFC-8870DW_JpnNet.pdfを開いてください。

● 最新のユーザーズガイドは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からダウンロードできます。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.xxx	参照先を記載しています。（XXX はページ）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXX はタイトル）
	画面で見るユーザーズガイド（HTML 版）を参照しています。

商標について

Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中ではWindows NT® 4.0と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64 の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OSは、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Pentium、Intel、Xeonは、米国Intel Corporationの登録商標です。
AMD Opteron、AMD Athlonは、Advanced Micro Devices社の登録商標です。
Presto! PageManagerは、NewSoft Technology Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

見出しインデックスです。
現在の章を示します。

大見出しです。

中見出しです。

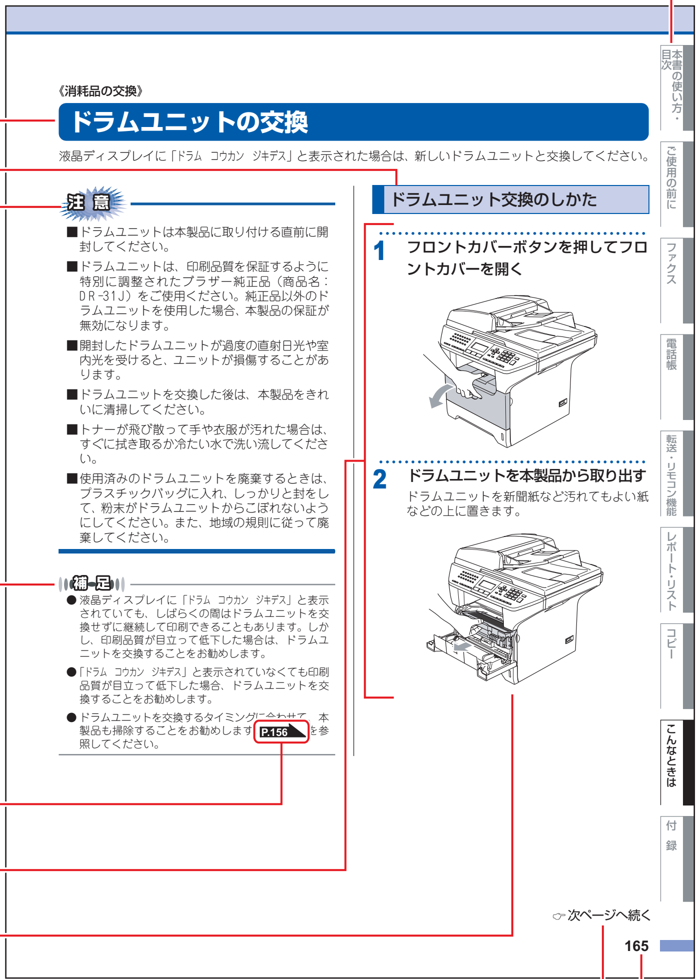
本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
特に⚠マークがあるものは、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

参照先を記載しています。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。


《消耗品の交換》

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

注意

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。
■ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-31J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
■ドラムユニットを交換した後は、本製品をきれいに清掃してください。
■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

補足

● 液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
●「ドラム コウカン ジキデス」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします（P.156）を参照してください。

ドラムユニット交換のしかた

1 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く

2 ドラムユニットを本製品から取り出す
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

次ページへ続く

165

次ページに続いていることを示します。

ページ番号です。

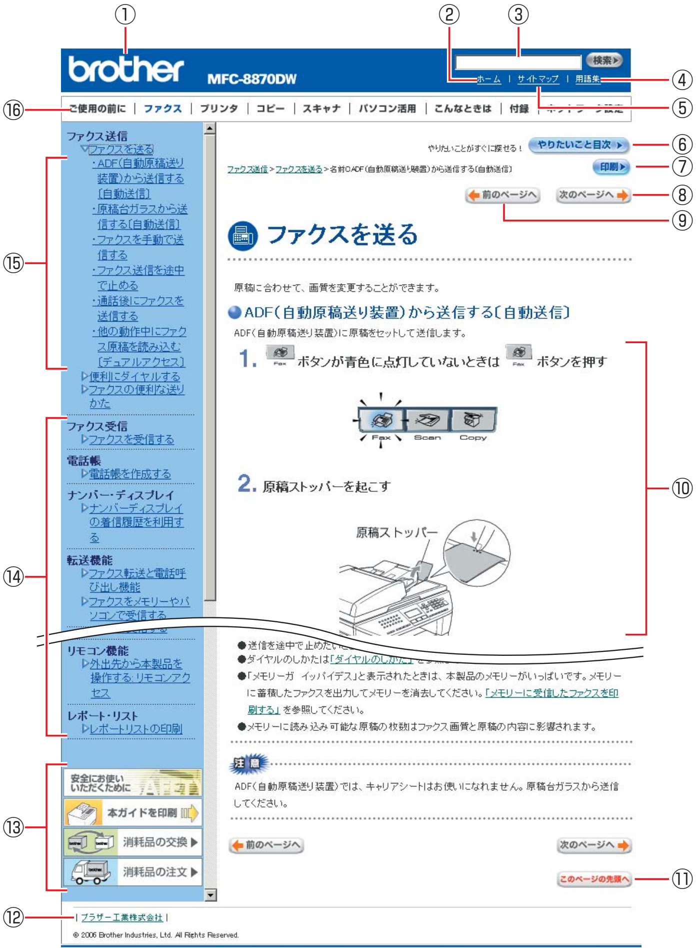
このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作

ユーザーズガイド（HTML版）をお読みになるための表示画面と操作を簡潔に説明します。



①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	用語集を表示します。
③	本ガイドの全体構成図を表示します。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次に移動します。
⑥	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：ユーザーズガイド（HTML版）を印刷する場合の説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑦	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。



①②	トップページに移動します。
③	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
④	用語集を表示します。
⑤	本ガイドの全体構成図を表示します。
⑥	やりたいこと目次に移動します。
⑦	現在のページを印刷します。
⑧	次のページに移動します。
⑨	前のページに移動します。
⑩	操作内容を表示します。
⑪	現在のページの最上部に移動します。
⑫	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑬	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：ユーザーズガイド（HTML版）を印刷するときの説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑭	大見出し・中見出しです。
⑮	小見出しです。
⑯	各機能のページ（章）に移動します。

やりたいこと目次

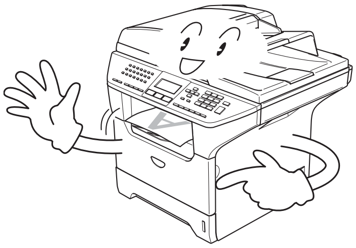
各機能をご利用になる前に「第1章 ご使用の前に」を必ずお読みください。

ファクス

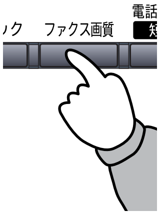
簡単に送信したい。
（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）
P.82



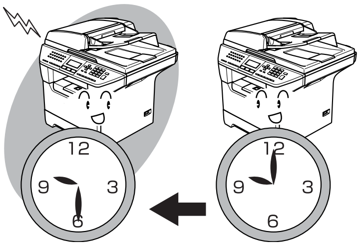
自動で受信したい。
（自動受信）P.52



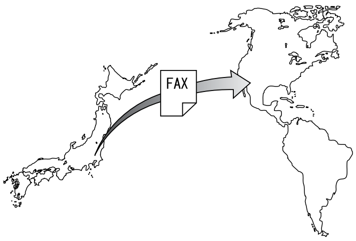
画質を調整したい。
（画質調整）P.86



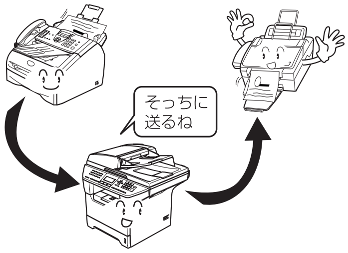
指定した時刻に送信したい。
（タイマー送信）P.95



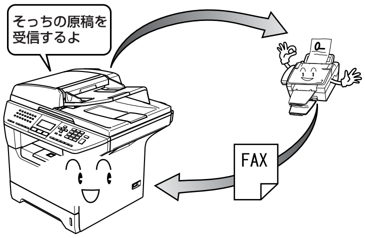
海外に送信したい。
（海外送信）P.94



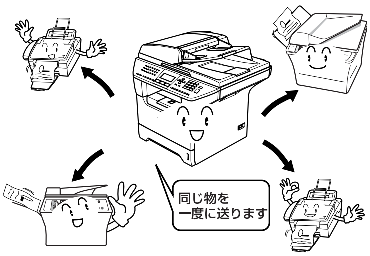
外出先で受信したい。
（ファクス転送）P.118



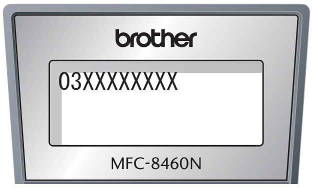
受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。
（ポーリング）P.101



複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。
（同報送信）P.90

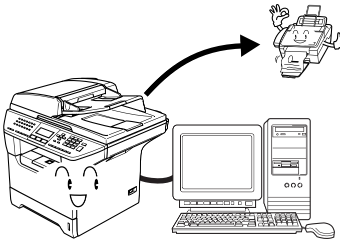


ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい。
P.73



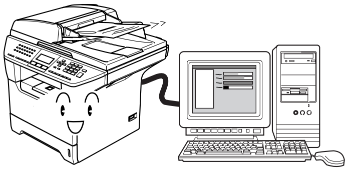
パソコンからファクスを送信したい。(PCファクス)

詳しくはユーザーズガイド(HTML版)を参照してください。



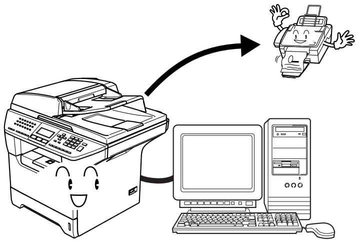
パソコンを使って短縮ダイヤルなどの本製品の設定を簡単に行いたい。

詳しくはユーザーズガイド(HTML版)を参照してください。



インターネット経由でファクスを送信したい。

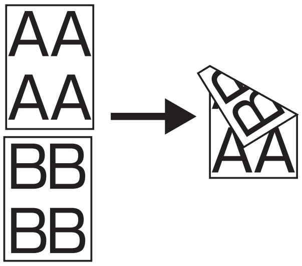
詳しくはユーザーズガイド(HTML版)を参照してください。



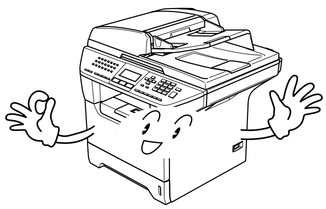
コピー

自動両面コピーしたい。(MFC-8870DWのみ)

P.140

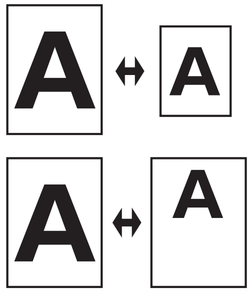


たくさんの文書を連続コピーしたい。(ADF:自動原稿送り装置)P.136



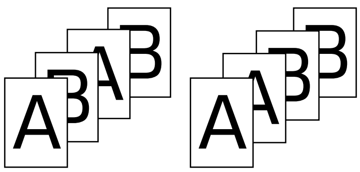
拡大/縮小コピーしたい。

P.138



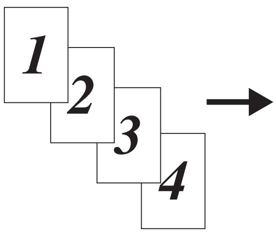
効率よく複数部コピーしたい。P.140

ソートコピー　スタックコピー

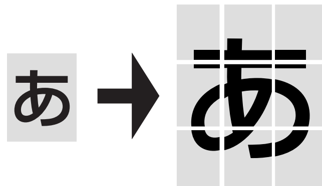


2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。(2 in 1、4 in 1)

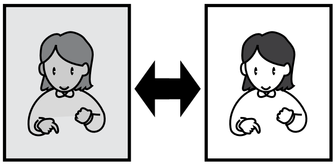
P.142



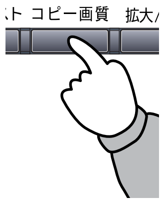
ポスターサイズにコピーしたい。P.143



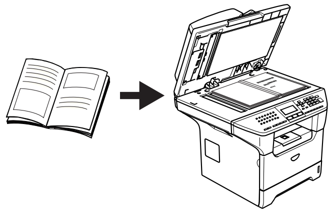
コントラストを変えたい。
P.139 、P.146



画質をきれいにコピーしたい。
P.139 、P.145

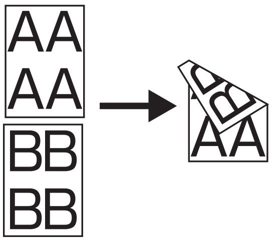


本などの原稿を原稿台ガラスからコピーしたい。
P.137

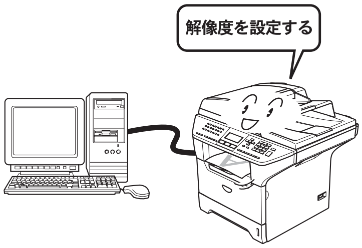


プリンタ

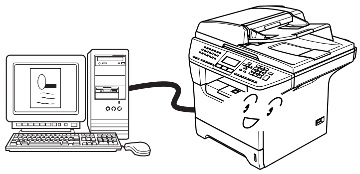
自動両面印刷したい。(MFC-8870DWのみ)
詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。



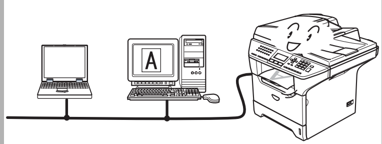
プリンタとして使いたい。
詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。



カスタム設定をしたい。
詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。



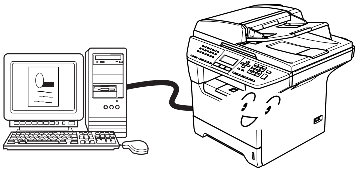
ネットワークプリンタとして使いたい。
詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。



スキャナ

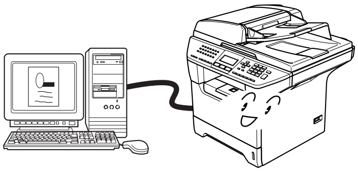
自動両面スキャンしたい。(MFC-8870DWのみ)

詳しくはユーザーズガイド(HTML版)を参照してください。



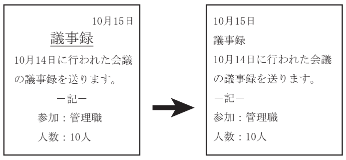
文字や写真をそのままパソコンのデータにしたい。

詳しくはユーザーズガイド(HTML版)を参照してください。



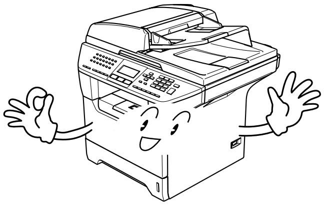
画像ファイルをテキストファイルに変換したい。(Brother日本語OCR)

詳しくはユーザーズガイド(HTML版)を参照してください。



複数の原稿をまとめてスキャンしたい。

詳しくはユーザーズガイド(HTML版)を参照してください。



目　次

Memo

1章

ご使用の前に

《かならずお読みください》

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

※パネルはMFC-8460Nのものを使用しています。

シフトボタン

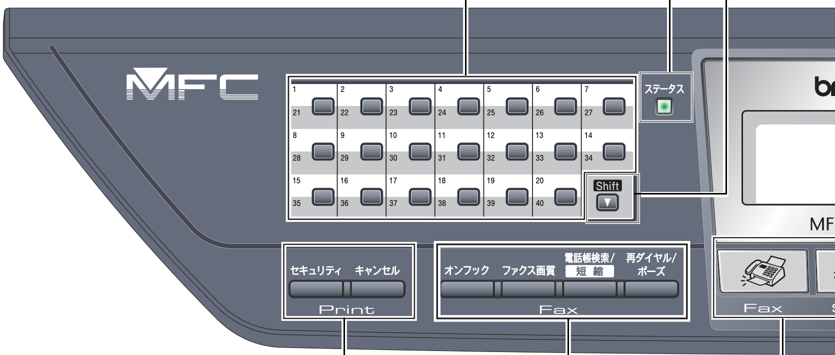
ワンタッチダイヤルの21～40を登録またはダイヤルするときは、シフトボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

ステータスランプ

本製品の状態をランプの色と点滅によって表します。P.32

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。P.82



印刷機能ボタン

- ●セキュリティボタン
  4桁のパスワードを使用して機密データを印刷するときに使用します。
  詳しくはユーザーズガイド「セキュリティ印刷をする」（HTML版）を参照してください。
  シフトボタンを押しながらセキュリティボタンを押すと、機能ロックのユーザー切り替えができます。
  P.72
- ●キャンセルボタン
  メモリー内のデータを削除します。

ファクス機能ボタン

- ●オンフックボタン
  ファクスを手動送信するときに押します。P.80
- ●ファクス画質ボタン
  ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。P.86
- ●電話帳検索/短縮ボタン
  電話帳から検索するときに押します。短縮ダイヤルを使用するときはシフトボタンを押しながら押します。P.82
- ●再ダイヤル/ポーズボタン
  最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。P.85
  ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

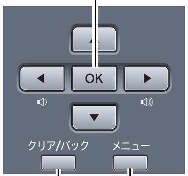
モード選択ボタン

ファクス／スキャン／コピーの各モードに切り替えます。P.47

液晶ディスプレイ

現在の日時や操作方法を案内するメッセージが表示されます。P.34

ナビゲーションキー P.35



機能を確定する（決定）ときに押します。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 音量を小さくします。

- 次のレベルメニューに移動します。
- 音量を大きくします。

入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。

機能を設定するときに押します。

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。



停止/終了ボタン

ファクス送信または操作を中止するときや機能設定を終了するときに押します。

スタートボタン

ファクスの送受信やコピー、スキャンを開始するときなどに押します。

コピー機能ボタン

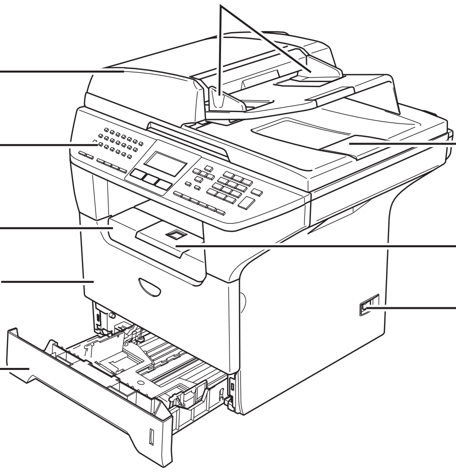
- **コントラストボタン（MFC-8460Nのみ）**
  コントラストを一時的に変更するときに押します。P.139
- **両面ボタン（MFC-8870DWのみ）**
  両面コピーするときに押します。P.140
- **コピー画質ボタン（MFC-8460Nのみ）**
  コピーの画質を一時的に変更するときに押します。P.139
- **コントラスト/コピー画質ボタン（MFC-8870DWのみ）**
  コントラストまたはコピー画質を一時的に変更するときに押します。P.139
- **拡大/縮小ボタン**
  拡大/縮小コピーするときに押します。P.138
- **トレイ選択ボタン**
  トレイを一時的に選択するときに押します。
- **ソートボタン**
  ソートコピーをするときに押します。P.140
- **N in 1ボタン**
  1枚の記録紙に複数原稿のコピーしたり1枚の原稿をポスターコピーするときに押します。P.142

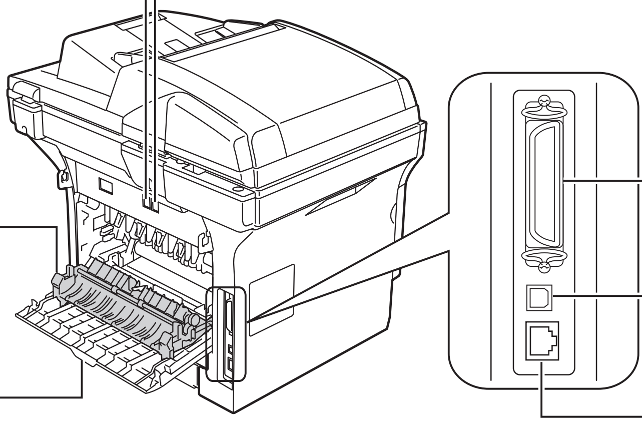
ステータスランプについて

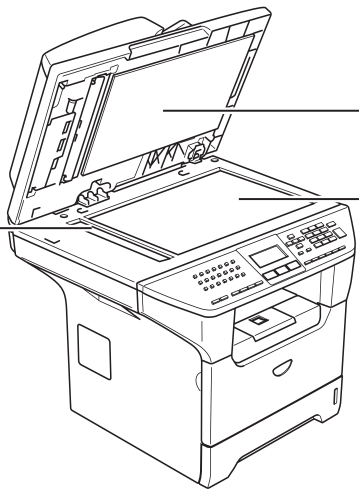
本製品の状態をランプの色と点灯／点滅によって表します。

ランプ	本製品の状態	説明
ステータス 消灯	スリープ状態	電源スイッチがOffになっている、またはスリープの状態です。
ステータス 緑　点滅	ウォーミングアップ中	印刷のためのウォーミングアップ中です。しばらくお待ちください。
ステータス 緑　点灯	印刷可能状態	印刷やコピーすることができます。
ステータス 黄　点滅	データ受信中	パソコンからデータを受信中、データを処理中、または印刷中です。
ステータス 黄　点灯	プリンタメモリーに印刷データあり	メモリーに印刷データが残っています。キャンセルを押してもう一度印刷し直してください。
ステータス 赤　点滅	サービスエラー	この状態のときは、本製品の電源を切り、数秒後電源を入れてください。 それでも赤点滅が止まらないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）へご連絡ください。P.229
ステータス 赤　点灯	カバーオープン	フロントカバーまたはバックカバーが開いています。カバーを閉じてください。
	トナー切れ	トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。P.163
	記録紙エラー	記録紙トレイに記録紙をセットしてください。P.41 または紙づまりのチェック・処理をしてください。P.148
	スキャナロック	スキャナのロックレバーが解除されているか、確認してください。かんたん設置ガイド「STEP1 本製品を確認する ＞ 4 スキャナロックを解除する」を参照してください。
	その他	液晶ディスプレイの表示を確認してください。P.34
	メモリーフル	メモリーがいっぱいです。メモリー内容を印刷するか、メモリーの内容を消去してください。P.123 P.177

各部の名称


原稿ガイド
ADF（自動原稿送り装置）
操作パネル
原稿ストッパー
フロントカバー
排紙ストッパー
多目的トレイ
電源スイッチ
記録紙トレイ


外付電話（EXT.）端子
（外付電話端子をお使いになるときは、キャップを取りはずしてください。）
回線接続（LINE）端子
パラレルケーブル
接続端子
フューザーカバー
USBケーブル
接続端子
バックカバー
ネットワーク
（LAN）ポート

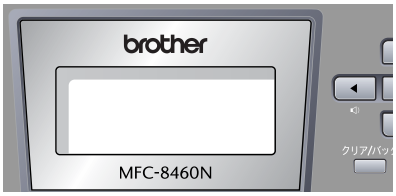

原稿台カバー
原稿台ガラス
原稿ガイド

《かならずお読みください》

液晶ディスプレイの特徴

液晶ディスプレイについて

本製品は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイに現在の設定内容や、操作方法などを案内するメッセージが表示されます。



ファクスモードの標準画面

```
①          ②
2007/08/21   10:08
③ FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
```

①：月/日が表示されます。
②：現在の時刻が表示されます。
③：設定したファクスの受信モードが表示されます。

コピーモードの標準画面

```
① ｺﾝﾄﾗｽﾄ   :-□□■□□+
② ｶﾞｼﾂ     :ｼﾞﾄﾞｳ
③ ﾊﾞｲﾘﾂ    :100%
④ ｷﾛｸｼﾄﾚｲ  :MP > #1
  ▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ       01 ⑤
```

①：コントラスト（コピー濃度）が表示されます。
②：コピー画質が表示されます。
③：拡縮率が表示されます。
④：コピー時に給紙する記録紙トレイが表示されます。
⑤：コピー枚数が表示されます。

案内メッセージ(エラーメッセージ例)

```
① ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ
② ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞ
```

①：エラー内容などが表示されます。
②：エラーの対処方法などが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔英語・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 [メニュー] [0] [0] を押す

```
00.ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ
▲   ﾆﾎﾝｺﾞ         *
▼   English
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 [▲][▼] で言語を選択する

3 [OK] を押す

4 [停止/終了] を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾆﾎﾝｺﾞ」に設定されています。
- 英語による説明を以下に示します。

  This setting allows you to change LCD language to English.

  1 Press [メニュー] [0] [0].

  2 Press [▲][▼] to select “English”.

  3 Press [OK].

  4 Press [停止/終了] to exit.

- 英語版OS用ドライバのインストール方法については、付属CD-ROMの「English」フォルダ内の「README」を参照してください。

  For the method of installing the English OS driver, see “README” in “English” folder stored on the attached CD-ROM.

《かならずお読みください》

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種の設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。



ナビゲーションキー	キーの役割
メニュー	• メインメニューを表示する場合
OK	• 次のメニューレベルに移る場合 • 選択項目を確定（決定）する場合 • 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。
▲ ▼	• メニュー内の項目を表示する場合
◀	• 前のメニューレベルに戻る場合 • 音量を小さくする場合
▶	• 次のメニューレベルに進む場合 • 音量を大きくする場合
クリア/バック	• 入力した文字や数字を削除する場合 • 前のメニューレベルに戻る場合
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
停止/終了	• 操作を中止するときや、設定を終了する場合

ダイヤルボタンを使った基本操作

メニューを押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本製品に対する各種の設定ができます。

補足

設定を途中で終了するときは、停止/終了 を押してください。

《かならずお読みください》

記録紙について

推奨紙

記録紙の種類※1	記録紙名
普通紙 普通紙（厚め）	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）　P （上質プリンター用紙）
再生紙	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）　グリーン100
ラベル紙	エーワン　レーザーラベル28362
官製はがき	
OHPフィルム	住友スリーエム（株）　CG3300

※1　推奨紙をご使用ください。用紙の種類によっては、うまく印刷できない場合があります。
インクジェット専用紙はご使用にならないでください。本製品の故障の原因となります。

補足

- 市販されているレーザープリンタ用の記録紙をお使いいただくこともできますが、印刷品質は記録紙に左右されますので、推奨されている記録紙をお勧めします。
- 一度に多くの記録紙を購入する前に、試し印刷されることをお勧めします。
- 中性の記録紙をお使いください。酸性、アルカリ性の記録紙はお使いにならないでください。

記録紙トレイについて

本製品の記録紙トレイと多目的トレイの他に、オプションの記録紙トレイ（LT-5300）を増設することができます。増設することにより、最大550枚（80g/m^{2}の普通紙の場合）セットすることができます。本書では、それぞれの記録紙トレイの名称を次のように表しています。

記録紙トレイ	本書で使われている名称
本製品の記録紙トレイ	記録紙トレイ１
本製品の多目的トレイ （MPトレイ）	多目的トレイ
オプションの記録紙トレイ （LT-5300）	記録紙トレイ２

セットできる記録紙の種類

記録紙の種類	記録紙トレイ 1	多目的トレイ	記録紙トレイ 2（オプション）
普通紙、普通紙（厚め）（60g/m^2～105g/m^2）	○	○	○
超厚紙（105g/m^2～161g/m^2）	×	○	×
再生紙	○	○	○
官製はがき※1	○（30枚）	○	×
OHPフィルム	○（10枚）	○	×
ラベル紙	×	○	×
封筒※2（洋形4号）	×	○	×

※1 私製はがき、往復はがき、印刷済みはがきは使用できません。
※2 P.38「使用できない封筒」を参照してください。

補足

- 宛名ラベル、OHPフィルムなどは、レーザープリンタ用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- よこ目用紙は、紙づまりや重送の原因になりますので使用しないでください。
- OHPフィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように1枚ずつ抜き取ってください。

セットできる記録紙サイズと枚数

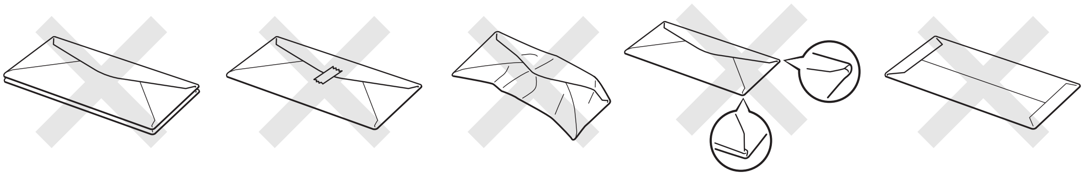
	記録紙トレイ 1	多目的トレイ	記録紙トレイ 2（オプション）
記録紙サイズ	A4、USレター、B5（JIS)、A5、A6、はがき（官製はがきまたは同等品）	ユーザー定義サイズ（幅69.9~215.9mm 長さ116.0~406.4mm）	A4、USレター、B5（JIS)、A5
枚数（80g/m^2）	250枚	50枚	250枚

補足

- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。
- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンタで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒



上記の種類の封筒を使用すると、本製品が故障する可能性があります。
この場合の故障は保証またはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。

■封筒に両面印刷することはできません。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの原稿サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。

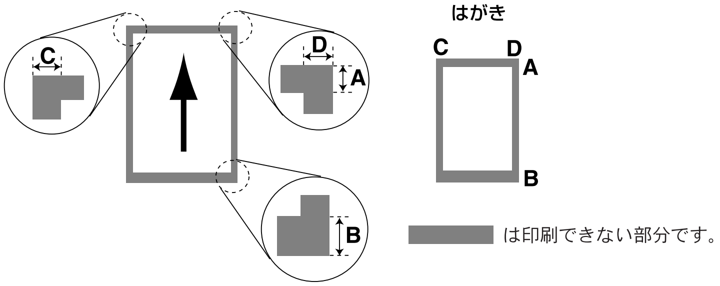
ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
レーザープリンタ用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。上記の「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



（単位：mm）

サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	3.0	18.0（自動縮小On時） 3.0（自動縮小Off時）	1.0	1.0
	コピー	3.0	3.0	2.3	2.3
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2
官製はがき （100mm×148mm）	コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2

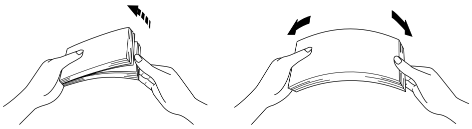
補足

印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。

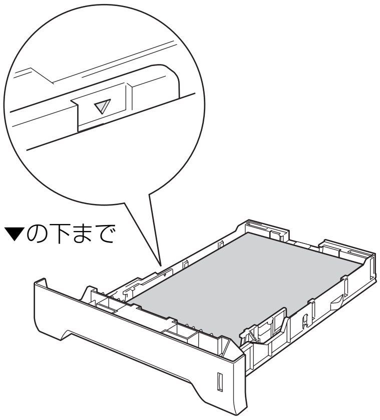
注意

■つぎのような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証対象外となりますので、ご注意ください。
- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- コート紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- カールしている記録紙
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋のついている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙

■ルーズリーフなど穴の開いた記録紙は絶対に使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。



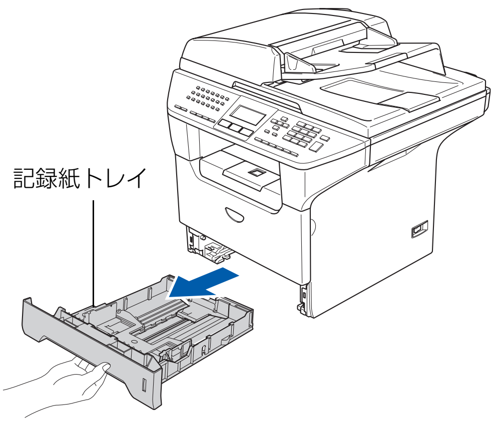
■記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。



■一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^{2}紙）の場合、約150枚です。

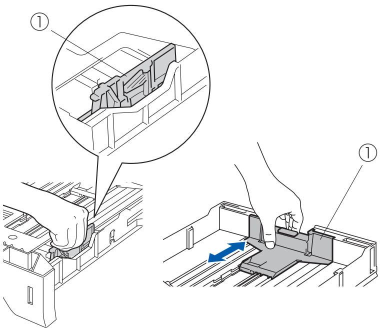
記録紙トレイに記録紙をセットする

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

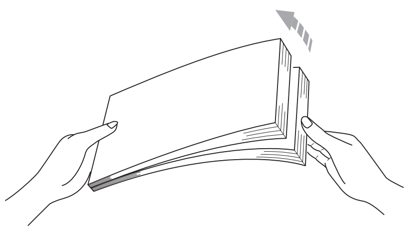


2 記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

- 青色のレバー①をつまみながら使用する記録紙サイズの幅に合わせます。
- 記録紙ガイドのツメがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

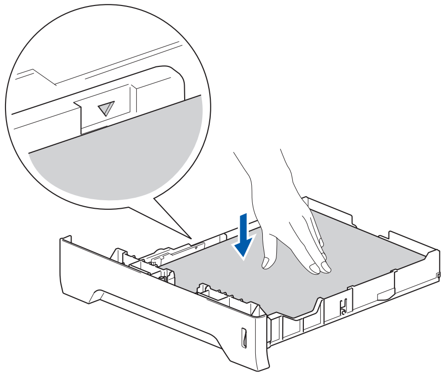


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

記録紙がカセットの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。



注意

■記録紙は少しずつ入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

5 記録紙トレイを本製品に戻し、排紙ストッパーを起こす

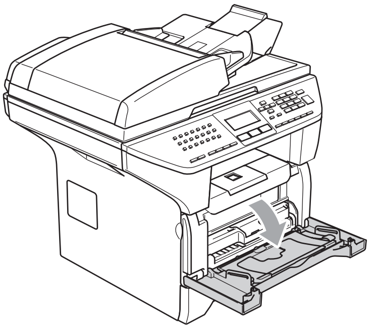
A4(80g/m^{2}の普通紙)で約250枚までセットできます。詳しくは、P.37 を参照してください。



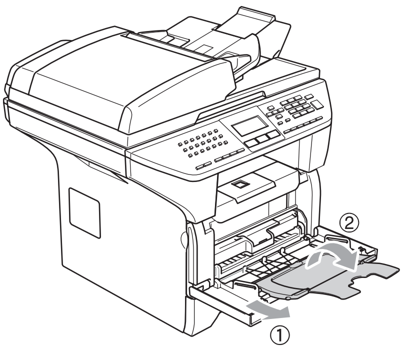
多目的トレイに記録紙をセットする

厚紙、封筒、ラベル紙を印刷するときは多目的トレイを使用してください。

1 多目的トレイを空ける



2 サブトレイを引き出し、開く



3 印字面を上にして記録紙を入れる

4 記録紙ガイドを記録紙に合わせる

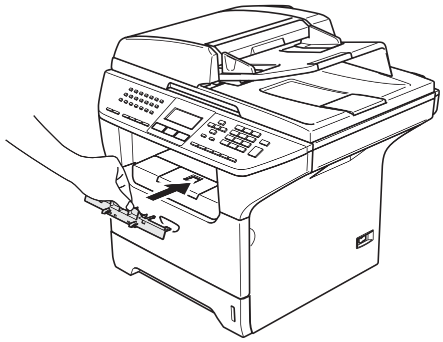
官製はがきに印刷する

官製はがきを印刷するときに、印刷された官製はがきが排紙トレイから滑り落ちたり、印刷された官製はがきの反りが気になったりする場合は、はがき印刷サポートを取り付けてから印刷してください。

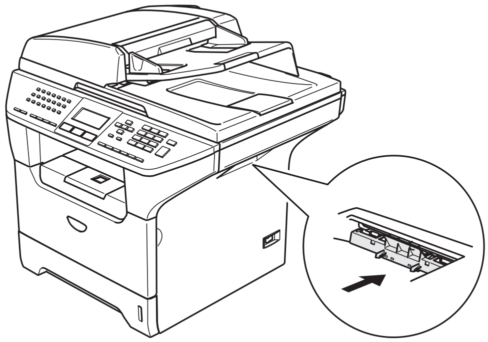
はがき印刷サポートの取付方法

1 はがき印刷サポートを排紙トレイから挿入する

右の図のように正しい向きで挿入してください。



2 「カチッ」と音がしてはがき印刷サポートが固定されるまで奥へ押し込む

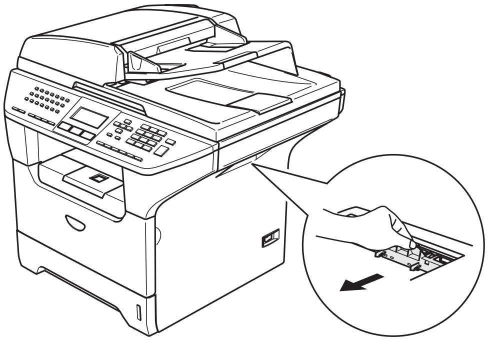


注意

■A4 普通紙などを印刷するときは、はがき印刷サポートを取り外してください。また印刷された官製はがきは、すぐに取り除くことをお勧めします。

はがき印刷サポートの取り外し方

1 はがき印刷サポートの上部をつまみ、手前に傾けながら引き抜く

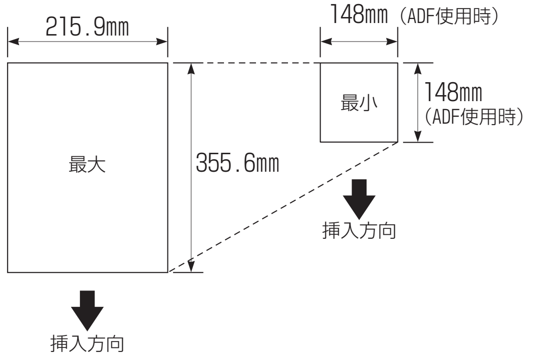


《かならずお読みください》

原稿について

原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



坪量　　：64g/m2～90g/m2（ADF（自動原稿送り装置）使用時）

最大質量　：2kg（原稿台ガラス使用時）

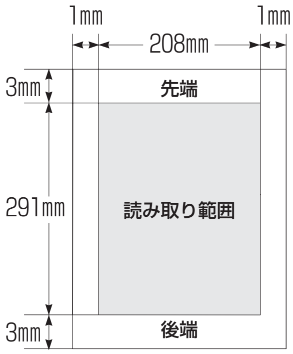
補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF（自動原稿送り装置）から読み込まれます。ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないときは原稿台ガラスから読み込まれます。
- 原稿がはがきの場合、原稿台ガラスにセットしてください。

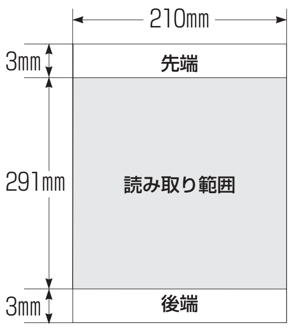
原稿の読み取り範囲

A4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

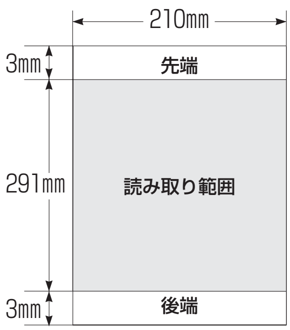
〈ファクス〉



〈コピー〉



〈スキャナ〉



補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。P.39 を参照してください。

注意

ファクスについて

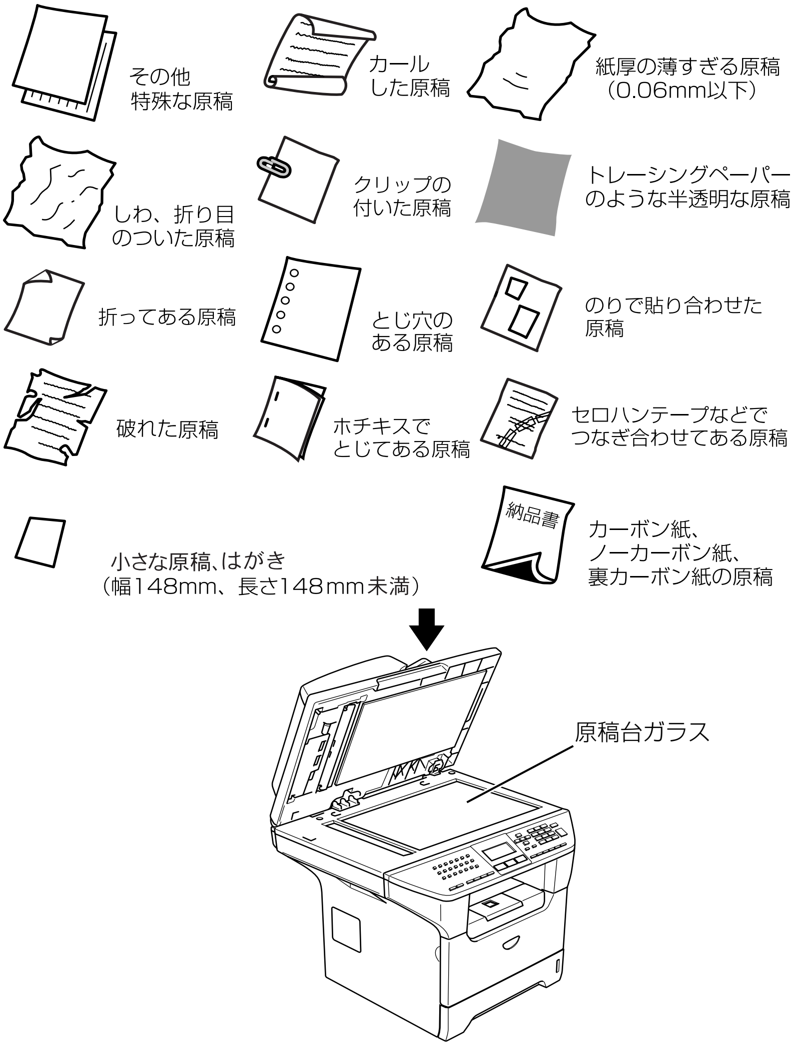
■インクやのりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

■ADF（自動原稿送り装置）から送信するときは、原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。

■異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。

■ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

■以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用して送信してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



☞ 次ページへ続く

コピーについて

■法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手や官製はがき
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

《かならずお読みください》

モードについて

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピー、スキャンの各モードを選択することができます。
現在選択されているモードボタンは青色に点灯します。



モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1 メニュー 1 1 を押す

```
11.モート゛タイマー
▲      2 フン        *
       5 フン
▼      Off
▲▼テ゛センタク&OKホ゛タン
```

2 ▲▼ で時間を選択する

「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 プン」「2 フン」「5 フン」「Off」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時、モードタイマーは「2 フン」に設定されています。

《かならずお読みください》

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

```
2007/05/01  10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ ﾃﾞｽ
```

：プッシュ回線に設定されたとき

```
2007/05/01  10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS ﾃﾞｽ
```

：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

```
2007/05/01  10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸ
```

  正しく接続しないまま5分以上放置すると、「ｾｯﾃｲ　ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ」と表示されます。

```
2007/05/01  10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ
```

  電話機コード接続しない場合は［停止 終了］を押してください。「ｾﾂｿﾞｸｦ　ﾔﾒﾏｽｶ?」と表示されますので「1. ﾊｲ」を押してください。
  （回線はプッシュ回線に設定されます。）

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。手動回線種別の設定については P.49 を参照してください。

```
2007/05/01  10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ
```

↓

- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合でも、右のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。

```
2007/05/01  10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 メニュー 0 4 を押す

```
04.ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ
▲    ﾌﾟｯｼｭｶｲｾﾝ      *
     ﾀﾞｲﾔﾙ 10PPS
▼    ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ で回線種別を選択する

回線種別の表示を以下に示します。

- プッシュ回線のとき　：ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ
- ダイヤル回線10PPSのとき　：ﾀﾞｲﾔﾙ 10PPS
- ダイヤル回線20PPSのとき　：ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS
- 自動設定を行うとき　：ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ

3 OK を押す

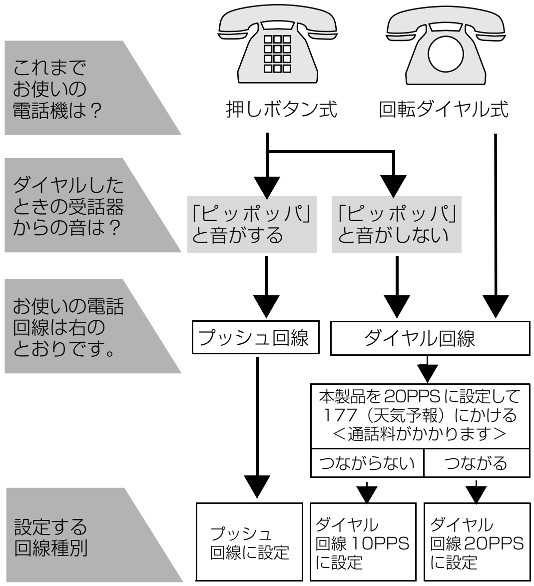
4 停止/終了 を押す

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルータ、IPフォンアダプタなど）に本製品を接続する場合
本製品の回線種別設定は、電話会社と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- いったん、自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

《かならずお読みください》

ご使用前の設定をする

日付･時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がしてあれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1 メニュー 0 2 ABC を押す

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ

  ﾈﾝ:20XX
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 年号（西暦の下2桁）を入力して OK を押す

例：2007年の場合は「07」

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ

  ﾈﾝ:2007
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

3 月を2桁で入力して OK を押す

例：8月の場合は「08」

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ
  2007/XX/XX

  ﾂｷ:08
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 日付を2桁で入力して OK を押す

例：21日の場合は「21」

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ
  2007/08/XX

  ﾋﾂﾞｹ:21
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 時刻を入力する

例：午後3時25分の場合は「1525」

6 OK を押す

```
02.ﾄｹｲ ｾｯﾄ
  2007/08/21 15:25

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7 停止/終了 を押す

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

```
2007/08/21  15:25

FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ｵﾝﾗｲﾝ ｽﾘｰﾌﾟ
```

- 入力を間違えたときは、◀ ▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し正しい文字を入力し直してください。
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。
- ４日間以上停電した場合は日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 3DEF を押す

```
03.ハッシンモト トウロク

  ファクス:
ニュウリョク&OKボタン
```

2 ファクス番号を入力して OK を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

```
03.ハッシンモト トウロク

  ファクス:03XXXXXXXX
ニュウリョク&OKボタン
```

3 電話番号を入力して OK を押す

20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

```
03.ハッシンモト トウロク
  ファクス:03XXXXXXXX
  デンワ:03XXXXXXXX
ニュウリョク&OKボタン
```

4 名前を入力する

20文字まで登録できます。

5 OK を押す

```
03.ハッシンモト トウロク
  ファクス:03XXXXXXXX
  デンワ:03XXXXXXXX
  ナマエ:スズキ ケイコ
ウケツケマシタ
```

6 停止/終了 を押す

補足

- ファクス番号、電話番号に「-」（ハイフン）は入力できません。スペースを入力する際は ▶ を押してください。
- 入力を間違えたときは、◀ ▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については P.88 を参照してください。

発信元登録を消去する

1 メニュー 0 3DEF を押す

```
03.ハッシンモト トウロク
  03XXXXXXXX
▲     1.ヘンコウ
▼     2.チュウシ
▲▼デンタク&OKボタン
```

2 1 で「ヘンコウ」を選択する

```
03.ハッシンモト トウロク

  ファクス:03XXXXXXXX
ニュウリョク&OKボタン
```

3 クリア/バック を押して、登録されている文字を1文字ずつ削除する

```
03.ハッシンモト トウロク

  ファクス:
ニュウリョク&OKボタン
```

4 OK を押す

```
03.ハッシンモト トウロク

  ファクス:
ニュウリョク&OKボタン
```

5 停止/終了 を押す

《かならずお読みください》

受信モードについて

受信モードの種類

本製品の受信モードには以下の種類があります。

■お使いの電話機を本製品と接続しない場合

- ファクス専用モード

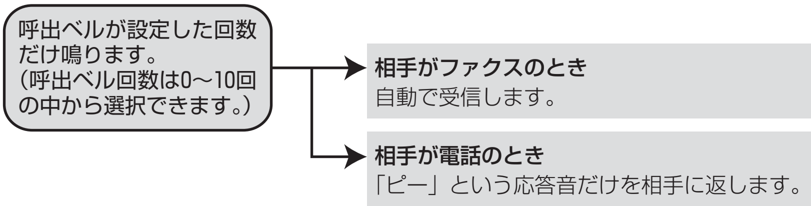
■お使いの電話機を本製品と接続する場合

- 自動切替モード
- 外付留守電モード
- 電話モード

お使いの電話機を本製品と接続しない場合

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。



補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたはP.57を参照してください。

お使いの電話機を本製品と接続する場合

自動切替モード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

呼出ベルが設定した回数だけ鳴ります。(呼出ベル回数は0～10回の中から選択できます。)

→ 呼出ベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機に出なかったとき

- **相手がファクスのとき**
  自動で受信します。
- **相手が電話のとき**
  呼出ベルが鳴り終わったあと、短く「トゥルットゥルッ」と本製品が鳴り、本製品に接続されている電話機も鳴りますので、受話器をとってお話しください。

→ 呼出ベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機に出たとき

- **相手がファクスのとき**
  受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、[Fax]を押してファクスモードにしてから[スタート]を押し、[2 ABC]を押してファクスを受信します。
  親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま7秒待つと自動でファクスを受信します。
- **相手が電話のとき**
  そのまま通話します。
  通話後にファクスを送信したいとき P.80 を参照してください。
  通話後にファクスを受信したいとき P.98 を参照してください。

補足

- 呼出回数の設定のしかたは P.57 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本製品が着信すると本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは[スタート]を押し、[2 ABC]を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して[スタート]を押し、[2 ABC]を押してください。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

本製品に接続されている留守番電話機に設定されている回数だけ呼出ベルが鳴ります

→ **本製品に接続されている留守番電話機に出たとき**

→ **相手がファクスのとき**
受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、Fax を押してファクスモードにしてから スタート を押し、2 ABC を押してファクスを受信します。
親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま7秒待つと自動でファクスを受信します。

→ **相手が電話のとき**
そのまま通話します。
通話後にファクスを送信したいとき P.80 を参照してください。
通話後にファクスを受信したいとき P.98 を参照してください。

→ **本製品に接続されている留守番電話機が起動したとき**

→ **相手がファクスのとき**
自動で受信します。

→ **相手が電話のとき**
留守番電話機から応答メッセージが流れたあと、相手のメッセージを録音します。

注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

呼出ベルが鳴ります。

→ 本製品に接続されている電話機に出なかったとき → 回線がつながりませんので電話もファクスも受けられません。

→ 本製品に接続されている電話機に出たとき

→ **相手がファクスのとき**
受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、[Fax]を押してファクスモードにしてから[スタート]を押し、[2 ABC]を押してファクスを受信します。
親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま7秒待つと自動でファクスを受信します。

→ **相手が電話のとき**
そのまま通話します。
通話後にファクスを送信したいとき P.80 を参照してください。
通話後にファクスを受信したいとき P.98 を参照してください。

補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P.100 を参照してください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がADF（自動原稿送り装置）にセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて[スタート]を押し、[2 ABC]を押してください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して[スタート]を押し、[2 ABC]を押してください。

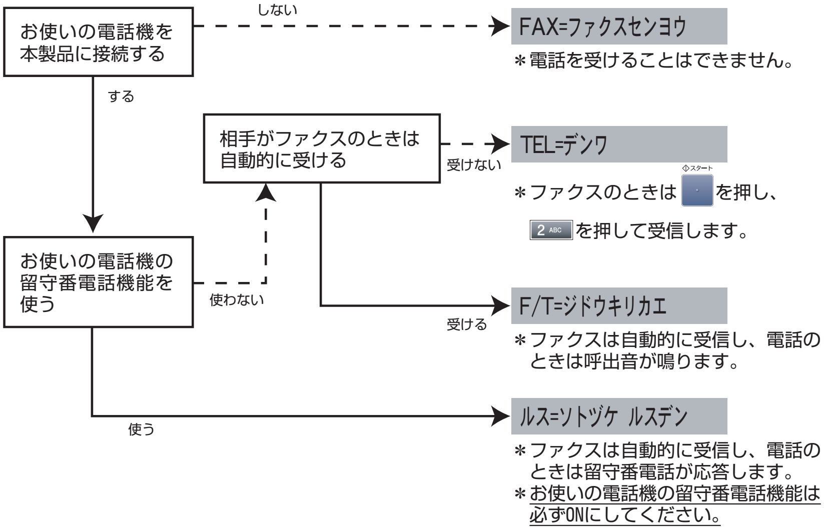
キャッチホン※契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン/キャッチホンIIサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

※「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

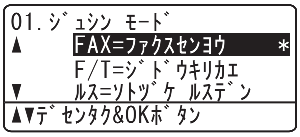
受信モードを選ぶ

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選択します。



受信モードを設定する

1 メニュー 0 1 **を押す**



2 ▲▼ **で受信モードを選択する**

「FAX=ファクスセンヨウ」「F/T=ジドウキリカエ」「ルス=ソトヅケ　ルスデン」「TEL=デンワ」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

設定後、待機状態表示になります。

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX=ファクスセンヨウ」モードに設定してあります。
- 「FAX=ファクスセンヨウ」モード以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 メニュー 2ABC 1 1 **を押す**

```
21.ジュシン セッテイ
  1.ヨビダシ カイスウ
▲ 04                *
▼ 05
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ **で呼出回数を選択する**

0〜10回から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止／終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は4回に設定されています。
- 呼出回数は、0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1〜2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7〜10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、本製品に接続されている電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには P.66 を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 メニュー 2ABC 1 2ABC **を押す**

```
21.ジュシン セッテイ
  2.サイ ヨビダシ カイスウ
▲      08            *
▼      15
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ **で再呼出回数を選択する**

「08」「15」「20」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止／終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は8回に設定されています。
- 本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼出ベルが鳴ったあと、自動的に電話が切れます。

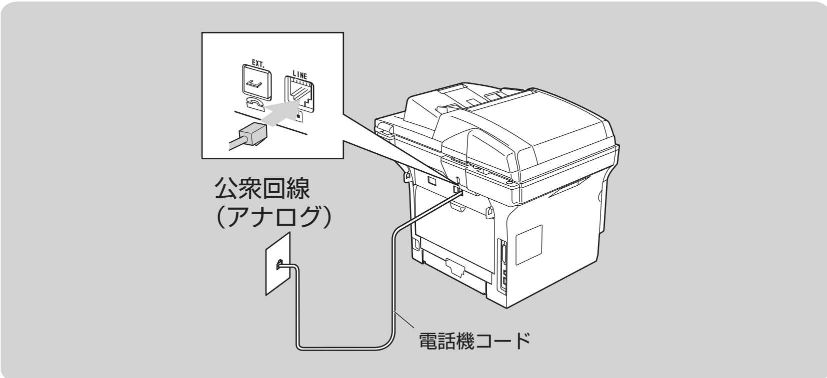
《かならずお読みください》

本製品の接続イメージ

本製品ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。
外付電話端子にはキャップが取り付けてあります。外付電話端子に接続するときはキャップを取り外してください。
本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

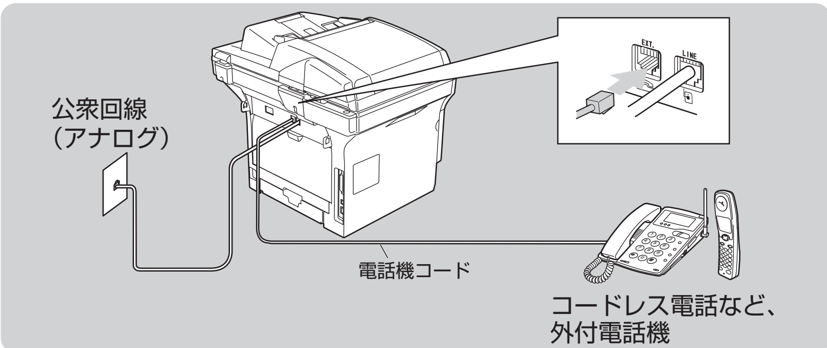
公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）

受信モードをファクス専用に設定します。



公衆回線に接続する場合（本製品に電話機を接続する場合）

本製品に電話機を接続し、電話番号1つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切替えに設定することをお勧めします。

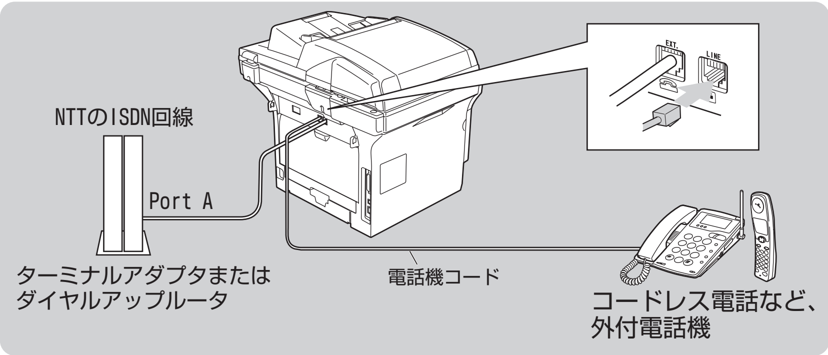


補足

- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品または本製品に接続されている電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を本製品に接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂｹ ﾃﾞﾝﾜ　ﾕｳｾﾝ」に設定してください。P.73 を参照してください。
- 外付電話端子（EXT.)に接続できる端末（電話機など）台数は１台です。

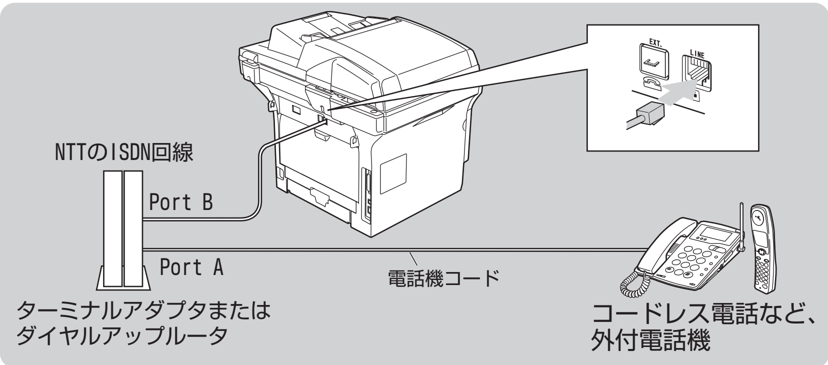
ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）

電話とファクスの同時使用はできません。



ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）

2回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードをファクス専用に設定します。

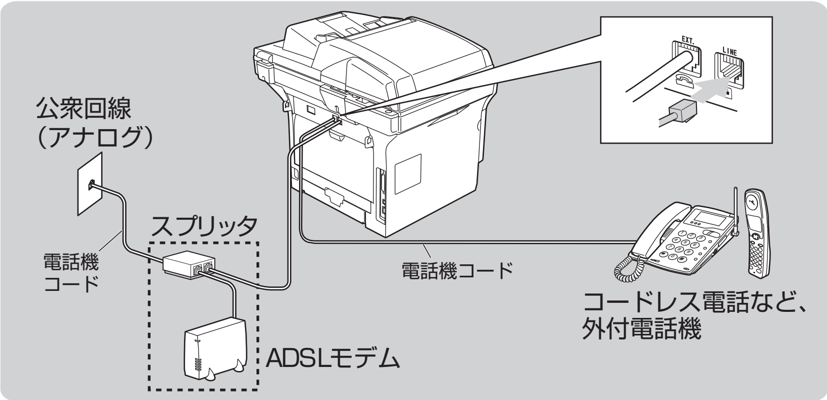


補足

- 各種接続で本製品を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - 電話番号が1つの場合、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が1つの場合で、Port Aに電話機を接続しPort Bに本製品を接続した場合Port A/B両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port AからBへ内線転送してください。
  - 電話番号が２つの場合（ダイヤルインサービスまたはｉ・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
  - 本製品の回線種別は「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」に設定してください。　お買い上げ時の設定は、「ﾌﾟｯｼｭ　ｶｲｾﾝ」になっています。電話回線の設定の詳細についてはP.49 を参照してください。
- ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータ側は本製品を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本製品が使えないときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧いただくか、販売メーカーにお問い合わせください。
- ファクスの送受信がうまくいかない場合はP.75 を参照してください。

ADSL環境に接続する場合

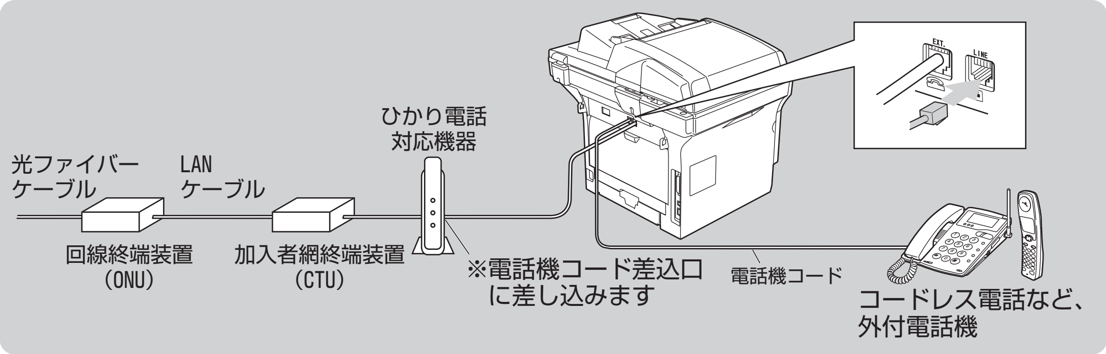
受信モードを自動切替えに設定します。



補足

- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。P.11 を参照してください。
- ADSL環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- IPフォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
  IP 網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変えてください。P.76 を参照してください。
- [点線枠]の部分は、ご利用される機器によって一体型のADSLモデムの場合もあります。

ひかり電話※に接続する場合



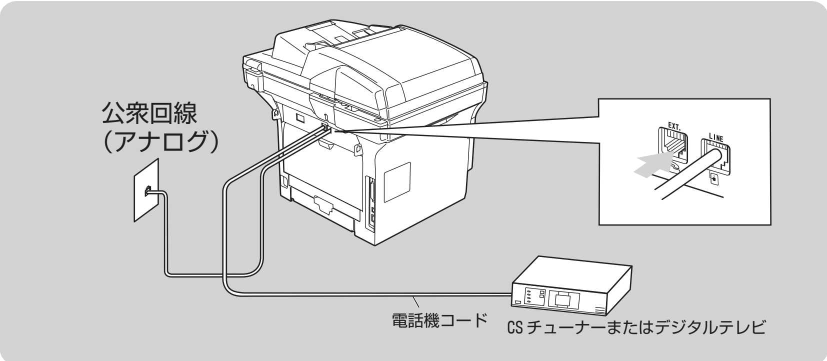
補足

- ひかり電話についてのご質問はNTTにお問い合わせください。
- 加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、NTTから送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、NTT にお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

※NTT以外の電話会社をご利用の場合は、同様のサービスでも名称が異なることがあります。

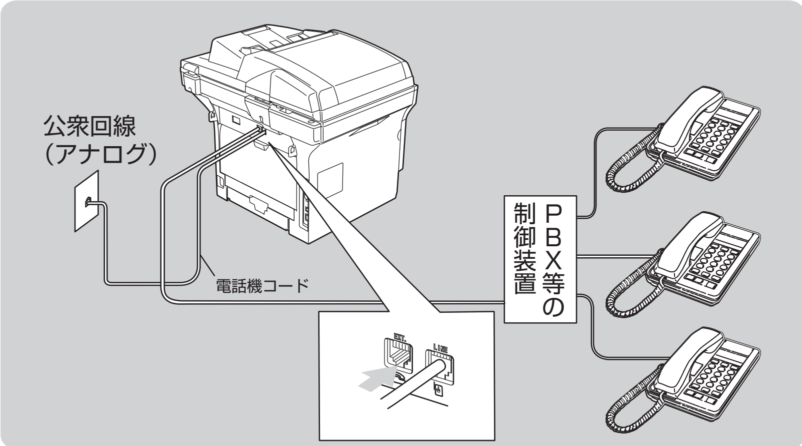
CSチューナーやデジタルテレビを接続する場合

受信モードを自動切換えに設定します。CSチューナーやデジタルテレビは、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続します。



構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

回線数が1つの場合の例を以下に示します。
受信モードを自動切り替えに設定します。PBXなどの制御装置は、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続します。

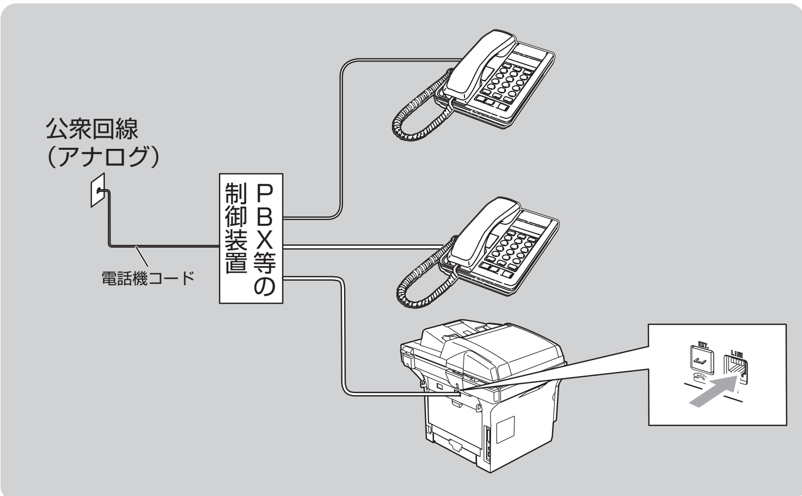


補足

- ビジネスホンとは
  電話回線を３本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。
- ホームテレホンとは
  電話回線１～２本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本製品を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。
本製品の特別回線の設定を「PBX」にしてください。P.75 を参照してください。



《必要に応じて設定してください》

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

それぞれの記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。

1 メニュー 1 2 を押す

```
12.ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ
▲ 1.ｷﾛｸｼ MPﾄﾚｲ
  2.ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #1
▼ 3.ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #2
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」は、オプションの記録紙トレイ2を装着したときのみ表示され、選択できます。

2 ▲▼で設定する記録紙トレイを選択する

「ｷﾛｸｼ　MPﾄﾚｲ」「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1」「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」の中から選択します。

3 OK を押す

```
12.ｷﾛｸｼ ﾀｲﾌﾟ
  1.ｷﾛｸｼ MPﾄﾚｲ
▲    ﾌﾂｳｼ          *
▼    ﾌﾂｳｼ(ｱﾂﾒ)
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 ▲▼で記録紙のタイプを選択する

「ﾌﾂｳｼ」「ﾌﾂｳｼ(ｱﾂﾒ)」「ｱﾂｶﾞﾐ(ﾊｶﾞｷ)」「ﾁｮｳｱﾂｶﾞﾐ」「OHPﾌｨﾙﾑ」「ｻｲｾｲｼ」の中から選択します。

- 手順2で「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」を選択したときは、「OHPﾌｨﾙﾑ」は表示されません。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。
- 記録紙トレイによって、セットできる記録紙が異なります。P.37 を参照してください。
- 「OHPﾌｨﾙﾑ」は、「ｷﾛｸｼ　ｻｲｽﾞ」で「A4」または「USﾚﾀｰ」が選択されていると表示されます。

記録紙のサイズを選ぶ

それぞれの記録紙のトレイにセットする記録紙のサイズを選択します。

1 メニュー 1 3 を押す

```
13.ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ
▲ 1.ｷﾛｸｼ MPﾄﾚｲ
  2.ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #1
▼ 3.ｷﾛｸｼ ﾄﾚｲ #2
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」は、オプションの記録紙トレイ2を装着したときのみ表示され、選択できます。

2 ▲▼で設定する記録紙トレイを選択する

「ｷﾛｸｼ　MPﾄﾚｲ」「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1」「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」の中から選択します。

3 OK を押す

```
13.ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ
  1.ｷﾛｸｼ MPﾄﾚｲ
▲    A4            *
▼    B5
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 ▲▼で記録紙のタイプを選択する

多目的トレイの場合は、「A4」「B5」「A5」「A6」「ﾊｶﾞｷ」「USﾚﾀｰ」「ﾌﾘｰ」の中から選択します。記録紙トレイ１の場合は、「A4」「B5」「A5」「A6」「ﾊｶﾞｷ」「USﾚﾀｰ」の中から選択します。記録紙トレイ２の場合は、「A4」「B5」「A5」「USﾚﾀｰ」の中から選択します。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

☞ 次ページへ続く

補足

- お買い上げ時は、記録紙のサイズは「A4」に設定されています。
- 「ｷﾛｸｼ　MPﾄﾚｲ」で「ﾌﾘｰ」を選択した場合は、「ﾄﾚｲ　ｾﾝﾀｸ」で「MPﾄﾚｲ　ﾉﾐ」を選択してください。

コピー時の記録紙トレイを選択する

コピーするときに使用する記録紙トレイを選択します。「A > B」を選択すると、Aトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

1 メニュー 1 6 1 を押す

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」は、オプションの記録紙トレイ2を装着したときのみ表示され、選択できます。



2 ▲▼で記録紙トレイを選択する

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ > ﾄﾚｲ#1」「ﾄﾚｲ#1 > MPﾄﾚｲ」の中から選択します。

- 記録紙トレイ２を装着しているときは「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1　ﾉﾐ」「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ #2　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ　ﾉﾐ」「MP > #1 > #2」「#1 > #2 > MP」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「MPﾄﾚｲ　> ﾄﾚｲ #1」に設定されています。オプションの記録紙トレイ2を装着しているときは「MP > #1 > #2」に設定されています。
- 原稿台ガラスからコピーするときは、「A > B」に設定すると A トレイから記録紙が給紙され、A トレイに記録紙がなくなったとき自動で B トレイから給紙させることができます。
- ADF(自動原稿送り装置)からコピーするときは、「A > B」に設定すると原稿サイズがA4の場合A > Bの優先順位に関係なく、A4が設定されているトレイから給紙されます。A4が設定されているトレイがない場合は、Aトレイ、Bトレイの順に給紙します。

ファクス受信の記録紙トレイを選択する

受信したファクスを印刷するときに使用する記録紙トレイを選択します。「A > B」を選択すると、Aトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

1 メニュー 1 6 MNO 2 ABC **を押す**

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」は、オプションの記録紙トレイ２を装着したときのみ表示され、選択できます。

```
16.ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
  2.ﾌｧｸｽ
▲     MPﾄﾚｲ > ﾄﾚｲ#1
▼     ﾄﾚｲ#1 > MPﾄﾚｲ    *
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ **で記録紙トレイを選択する**

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ > ﾄﾚｲ#1」「ﾄﾚｲ#1 > MPﾄﾚｲ」の中から選択します。
記録紙トレイ２を装着しているときは「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1　ﾉﾐ」「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ#2　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ　ﾉﾐ」「MP > #1 > #2」「#1 > #2 > MP」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「ﾄﾚｲ#1 > MPﾄﾚｲ」に設定されています。オプションの記録紙トレイ2を装着しているときは「#1 > #2 > MP」に設定されています。
- 記録紙が記録紙トレイにない場合は、「ｷﾛｸｼｦ　ｵｸﾚﾏｾﾝ」が表示されて印刷することができなくなります。P.176

プリンタの記録紙トレイを選択する

パソコンからプリンタとして使用するときの記録紙トレイを選択します。「A > B」を選択すると、Aトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

1 メニュー 1 6 MNO 3 DEF **を押す**

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2」は、オプションの記録紙トレイ2を装着したときのみ表示され、選択できます。

```
16.ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
  3.ﾌﾟﾘﾝﾀ
▲     MPﾄﾚｲ > ﾄﾚｲ#1    *
▼     ﾄﾚｲ#1 > MPﾄﾚｲ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ **で記録紙トレイを選択する**

「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ > ﾄﾚｲ#1」「ﾄﾚｲ#1 > MPﾄﾚｲ」の中から選択します。

- 記録紙トレイ２を装着しているときは「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#1　ﾉﾐ」「ｷﾛｸｼ　ﾄﾚｲ　#2　ﾉﾐ」「MPﾄﾚｲ　ﾉﾐ」「MP > #1 > #2」「#1 > #2 > MP」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「MP ﾄﾚｲ > ﾄﾚｲ #1」に設定されています。オプションの記録紙トレイ2を装着しているときは「MP > #1 > #2」に設定されています。
- 記録紙トレイの設定はプリンタドライバでの設定が優先されます。
- プリンタドライバの設定が「自動選択」の場合は本体の設定とは違い、下記の動作をします。

本体の設定	実際の動作
#1　ﾉﾐ #2　ﾉﾐ MP　ﾉﾐ MP > #1 > #2	MP > #1 > #2
#1 > #2 > MP	#1 > #2 > MP

着信音量を設定する

着信ベルの音量を調節します。

1 メニュー 1 4GHI 1 **を押す**

```
14.ｵﾝﾘｮｳ
  1.ﾁｬｸｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ
▲    ﾁｭｳ         *
▼    ﾀﾞｲ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞ ﾀﾝ
```

2 ▲▼ **で音量を選択する**

「Off」「ｼｮｳ」「ﾁｭｳ」「ﾀﾞｲ」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「ﾁｭｳ」に設定されています。
- Fax ボタンが青色に点灯しているときは着信音量を ◀ ▶ で調整できます。

ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

1 メニュー 1 4GHI 2ABC **を押す**

```
14.ｵﾝﾘｮｳ
  2.ﾎﾞﾀﾝｶｸﾆﾝ ｵﾝﾘｮｳ
▲    ﾁｭｳ         *
▼    ﾀﾞｲ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞ ﾀﾝ
```

2 ▲▼ **で音量を選択する**

「Off」「ｼｮｳ」「ﾁｭｳ」「ﾀﾞｲ」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「ﾁｭｳ」に設定されています。
- 「Off」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

1 メニュー 1 4 GHI 3 DEF **を押す**

```
14.オンリョウ
  3.スピーカー オンリョウ
▲    チュウ          *
▼    ダイ
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ **で音量を選択する**

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「チュウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、オンフック を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときに ◀ ▶ を押して調節することもできます。

トナーを節約する(トナー節約モード)

トナーを節約したいときは、「トナーセーブ」を「On」に設定します。「On」に設定すると印字が薄くなります。

1 メニュー 1 5 JKL 1 **を押す**

```
15.ショウエネ モード
  1.トナー セーブ
▲    On
▼    Off             *
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ **で「On」を選択する**

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

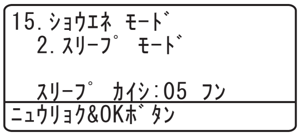
補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。

1 メニュー 1 5 JKL 2 ABC を押す



2 **ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定する**

分単位で設定します。（最大99分）

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

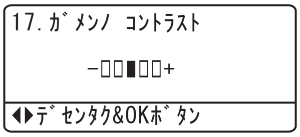
補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために約18秒間かかります。
- お買い上げ時は「05　ﾌﾝ」に設定されています。
- 手順２で キャンセル と セキュリティ を同時に押すと「On」「Off」が選択できるようになります。「Off」を選択すると、スリープモードにはなりません。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見えにくいときは、コントラストを調整します。

1 メニュー 1 7 PQRS を押す



2 ◀ ▶ でコントラストを調整する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

《必要に応じて設定してください》

セキュリティ機能の設定について

パスワードを登録して設定のロックをしたり、ユーザーごとに機能を制限することができます。

設定ロックとは

パスワードにより下記の機能の設定変更をロックします。

- 日付・時刻
- 発信元登録
- 電話帳設定（ワンタッチ･短縮･グループダイヤル）
- モードタイマー
- 記録紙（タイプ・サイズ）
- トレイ選択
- 音量（着信･ボタン確認音･スピーカー）
- 省エネモード（トナー節約･スリープモード）
- 液晶ディスプレイのコントラスト
- セキュリティ
- 個人情報クリア
- 機能設定リセット

パスワードを登録する

補足
パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 メニュー 1 8 TUV 1 を押す

```
18.セキュリティ
  1.セッテイロック

  シンキノパスワード:XXXX
ニュウリョク&OKボタン
```

2 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力して OK を押す

初めてパスワードを入力した場合には｢パスワードカクニン:｣と液晶ディスプレイに表示されます。

3 パスワードを再度入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

パスワードを変更する

1 メニュー 1 8 TUV 1 を押す

```
18.セキュリティ
  1.セッテイロック
▲    On
▼    パスワード セッテイ
▲▼デセンタク&OKボタン
```

2 ▲▼ を押して「パスワード　セッテイ」を選択して OK を押す

3 登録済みの４桁のパスワードを入力して OK を押す

```
18.セキュリティ
  1.セッテイロック

  イマノパスワード:XXXX
ニュウリョク&OKボタン
```

4 変更したい４桁の新しいパスワードを入力して OK を押す

液晶ディスプレイに「パスワードカクニン:」と表示されます。

5 新しいパスワードを再度入力して OK を押す

6 停止/終了 を押す

設定ロックをOnにする

1 メニュー 1 8 TUV 1 を押す

```
18.セキュリティ
  1.セッテイロック
▲    On
▼    パ゜スワード゛ セッテイ
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

2 ▲▼ を押して「On」を選択して OK を押す

3 登録済みの4桁のパスワードを入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

設定ロックをOffにする

1 メニュー 1 8 TUV 1 を押す

```
18.セキュリティ
  1.セッテイロック

  パ゜スワード゛:XXXX
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

2 登録済みの4桁のパスワードを入力して OK を押す

3 もう一度 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はOnのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へご連絡ください。

機能ロックとは

ユーザーの名前とパスワードを登録して、ユーザーごとに利用できる下記の機能を制限します。

- ファクス送信
- ファクス受信
- コピー
- スキャナ

補足

- 管理者だけが各ユーザーの設定ロックの On/Off と制限設定または変更を行えます。設定または変更をするには管理者パスワードが必要です。
- 個別にユーザー設定されていない一般ユーザー用に機能をロックすることができます。（一般モード）P.71
- 登録できるユーザーは25人です。
- 機能ロックがOnの場合でも、原稿濃度P.87、ポーリング送信P.92、ポーリング受信P.101、送付書P.88の設定をすることができます。ただし、ファクス送信が無効に設定されている場合はすべてのファクス設定がロックされます。
- ポーリング受信を有効にするには、ファクス送信とファクス受信の両方を有効にする必要があります。
- ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、ファクスを受信した場合はメモリに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

管理者パスワードを登録する

ユーザーの名前とパスワードを登録するためのパスワードを設定します。

補足

パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 メニュー 1 8 TUV 2 ABC を押す

```
18.セキュリティ
  2.キノウロック

  シンキノパ゜スワード゛:XXXX
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

2 ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力して OK を押す

3 パスワードを再入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

一般モードを設定する

一般モードを設定して、一般ユーザーが利用できる機能を制限します。

1 メニュー 1 8TUV 2ABC **を押す**

```
18.セキュリティ
  2.キノウロック
▲    ロック Off→On
▼    パスワード セッテイ
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ **で「ユーザ セッテイ」を選択して** OK **を押す**

3 **管理者パスワードを入力して** OK **を押す**

```
18.セキュリティ
  ユーザ セッテイ
▲    イッパン モード
▼    ユーザ01
▲▼デ センタク&OKボタン
```

4 ▲▼ **で「イッパン モード」を選択して** OK **を押す**

5 ▲▼ **でファクス送信の設定を選択して** OK **を押す**

「ファクス ソウシン: O」「ファクス ソウシン: X」の中から選択します。

- OK を押すと続けて、ファクス送受信、コピー、スキャン、プリンタの設定をします。

6 停止/終了 **を押す**

補足

登録するには、手順5の設定で少なくとも一つの機能を無効にしてください。

ユーザーを登録する

ユーザーの名前とパスワードを登録して、個別のユーザーごとに利用できる機能を制限します。

1 メニュー 1 8TUV 2ABC **を押す**

```
18.セキュリティ
  2.キノウロック
▲    ロック Off→On
▼    パスワード セッテイ
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ **で「ユーザ セッテイ」を選択して** OK **を押す**

3 **管理者パスワードを入力して** OK **を押す**

```
18.セキュリティ
  ユーザ セッテイ
▲    イッパン モード
▼    ユーザ01
▲▼デ センタク&OKボタン
```

4 ▲▼ **で「ユーザ01」を選択して** OK **を押す**

5 **ユーザー名を入力して** OK **を押す**

名前は15文字まで登録できます。

6 **ユーザーパスワードを4桁で入力して** OK **を押す**

7 ▲▼ **でファクス送信の設定を選択して** OK **を押す**

「ファクス ソウシン: O」「ファクス ソウシン: X」の中から選択します。

- OK を押すと続けて、ファクス送受信、コピー、スキャンの設定をします。
- 続けて登録するときは手順4～7を繰り返してください。

8 停止/終了 **を押す**

補足

文字入力のしかたについては P.194 を参照してください。

機能ロックをOnにする

機能ロックをOnにすると一般モードが有効になります。個別ユーザー設定を有効にするには「ユーザーを切り替える」を参照してください。

1 メニュー 1 8 TUV 2 ABC を押す

```
18.ｾｷｭﾘﾃｨ
  2.ｷﾉｳﾛｯｸ
▲     ﾛｯｸ Off→On
▼     ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ で「ﾛｯｸ　Off→On」を選択して OK を押す

3 管理者パスワードを入力して OK を押す

機能ロックをOffにする

1 メニュー 1 8 TUV 2 ABC を押す

```
18.ｾｷｭﾘﾃｨ
  2.ｷﾉｳﾛｯｸ
▲     ﾛｯｸ On→Off
▼     ﾕｰｻﾞ ｷﾘｶｴ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ で「ﾛｯｸ　On→Off」を選択して OK を押す

3 管理者パスワードを入力して OK を押す

ユーザーを切り替える

個別のユーザーに切り替えると、各ユーザーごとに登録してある機能設定が有効になります。

1 Shift ▼ を押しながら セキュリティ を押す

```
ｷﾉｳﾛｯｸ
  ﾕｰｻﾞﾞ ｷﾘｶｴ
▲      ﾀﾛｳ
▼      ﾊﾅｺ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ でユーザー名を選択して OK を押す

3 ユーザーパスワードを入力して OK を押す

補足

- 一般モードへは自動的に切り替わります。切り替わるまでの時間は、モードタイマーで設定した時間と同じです。P.47
- 手動で切り替える場合は、青く点灯しているモード選択ボタン（Fax、Scan、Copy）を押し、“ｲｯﾊﾟﾝ ﾆ ｷﾘｶｴﾏｽｶ?”と表示されたら「1. ﾊｲ」を選択してください。

《必要に応じて設定してください》

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。
本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
  電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。(30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。)
  操作方法については P.114 を参照してください。

補足

- 本製品はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定が必要です。
- IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ(IP 電話対応機器)の設定が必要です。
- 構内交換機(PBX)に接続しているときは、構内交換機(PBX)がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続(並列接続)をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。P.11 を参照してください。
- 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバーディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを設定します。

1 メニュー 0 7 を押す

```
07.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
▲     On
      Off              *
▼     ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ で電話番号の表示方法を選択する

「On」「Off」「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の中から選択します。

- 「On」を選択した場合、本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 「Off」を選択した場合、相手の電話番号または名前が表示されません。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」を選択した場合、本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

注意

「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」で使用する場合に本製品を「自動切替モード」に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

☞次ページへ続く

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社への契約が必要です。契約していない場合は「Off」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「On」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「On」にしてください。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の場合、着信履歴は本製品に残りません。

《必要に応じて設定してください》

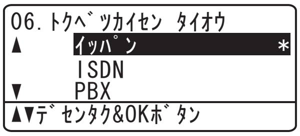
特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1 メニュー 0 6 MNO を押す



2 ▲▼ で回線を選択する

「イッパン」「ISDN」「PBX」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「イッパン」に設定されています。
- 「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「On」にするときは、特別回線対応の設定を「イッパン」にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、ダイヤルトーンを「ケンチ スル」に設定してください。

注意

本製品をPBXやIP電話アダプタに接続している環境で「ケンチ スル」に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は「ケンチ シナイ」のままお使いください。

1 メニュー 0 5 JKL を押す



2 ▲▼ で設定を選択する

「ケンチ スル」「ケンチ シナイ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ケンチ シナイ」に設定されています。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「ｺｳｿｸ」→「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」→「ｱﾝｼﾝ」の順で送受信時間は遅くなりますが、「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」または「ｱﾝｼﾝ」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」→「ｱﾝｼﾝ」の順にお試しください。

1 メニュー 2 ABC 0 **を押す**



2 ▲▼ **で回線を選択する**

「ｺｳｿｸ」「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」「ｱﾝｼﾝ」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「ｺｳｿｸ」に設定されています。
- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

  本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

2章

ファクス

ファクス送信

ファクス受信

《ファクス送信》

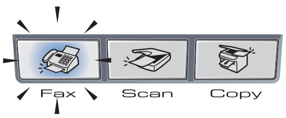
ファクスを送る

原稿に合わせて、画質を変更することができます。

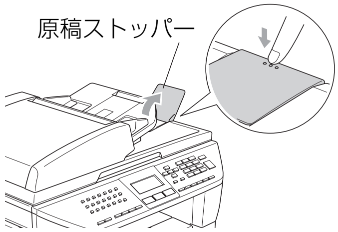
ADF（自動原稿送り装置）から送信する〔自動送信〕

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。

1 **（Fax）ボタンが青色に点灯していないときは（Fax）ボタンを押す**



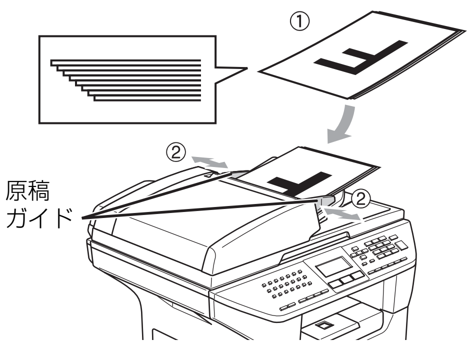
2 **原稿ストッパーを起こす**



3 **原稿の送信する面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）**

原稿は一度に50枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）



■片面原稿を送信するとき

4 **相手先のファクス番号を入力する**

5 **（スタート）を押す**

■両面原稿を送信するとき（MFC-8870DWのみ）

4 **（両面）を押す**

5 **相手先のファクス番号を入力する**

6 **（スタート）を押す**

補足

- 送信を途中で止めたいときは（停止/終了）を押し、（1）を押してください。
- ダイヤルのしかたはP.82を参照してください。
- 「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときは、本製品のメモリーがいっぱいです。メモリーに蓄積したファクスを出力してメモリーを消去してください。P.123を参照してください。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容に影響されます。

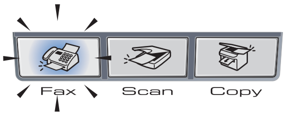
注意

ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスから送信してください。

原稿台ガラスから送信する〔自動送信〕

原稿台ガラスから原稿や本のページをファクスで送信できます。原稿台ガラスを使うときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

1 [Fax] ボタンが青色に点灯していないときは [Fax] ボタンを押す



2 原稿台カバーを持ち上げる

3 原稿台ガラスに原稿の送信する面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドを利用して中央にセットします。



4 原稿台カバーを閉じる

原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押してください。



5 相手先のファクス番号を入力して [スタート] を押す

6 1枚の原稿を送信するときは、[2 ABC] または [スタート] を押す

送信を開始します。

原稿が複数枚のときは、[1] を押す

手順7に進みます。

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、[OK] を押す

送信する原稿枚数分、手順6～7を繰り返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、[2 ABC] または [スタート] を押す

送信を開始します。

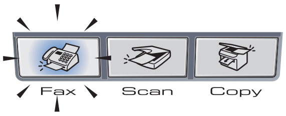
注意

- ■リアルタイム送信が「On」に設定されているときは、原稿は1枚しか送信することができません。P.91 を参照してください。
- ■原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。
- ■原稿が本や厚さがあるときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また上からあまり強く押さないでください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、オンフック を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 オンフック を押して、相手先のファクス番号を入力する

4 相手先の受信音（ピー）を確認して スタート を押す

5 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で 1 を押す

ファクスが送信されます。

```
ｿｳｼﾝ? ｼﾞｭｼﾝ?

▲     1.ｿｳｼﾝ          *
▼     2.ｼﾞｭｼﾝ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

補足

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を途中で止める

自動送信のとき

1 停止/終了 を押す

2 1 を押す

手動送信のとき

1 停止/終了 を押す

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後にファクスを送信します。

1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして スタート を押す

3 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で 1 を押す

ファクスが送信されます。

4 本製品に接続されている電話機の受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときは、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

《ファクス送信》

便利にダイヤルする

ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は4つあります。

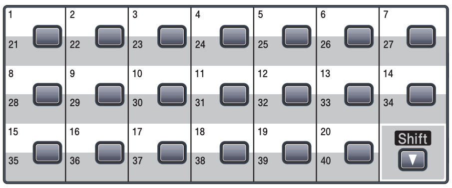
ダイヤルボタンを使用する

ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。



ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは40件登録できます。21～40に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、Shift を押しながらワンタッチボタンを押します。



補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P.106 を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

Shift を押しながら 電話帳検索/短縮 を押した後、登録されている短縮番号（001 ～ 300）を押してダイヤルします。短縮ダイヤルには最大300件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは P.108 を参照してください。

電話帳を使用する

電話帳検索/短縮 を押し、検索したい名前の最初の1文字を入力して OK を押します。▲▼ で検索してダイヤルします。

補足

- グループダイヤルの登録のしかたは P.111 を参照してください。
- 電話帳の作成のしかたは P.106 を参照してください。

注意

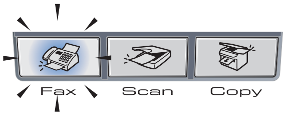
- ■ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳などから連続して2ヶ所以上入力した場合、全部の番号をつなげてダイヤルします。P.85「チェーンダイヤルを使用する」を参照してください。
- ■ボタンを押すのを間違えたときは、必ず 停止/終了 を押し、消去してから再度送信先を入力してください。

電話帳から送信する

あらかじめ電話帳に登録されている相手先にファクスを送信することができます。

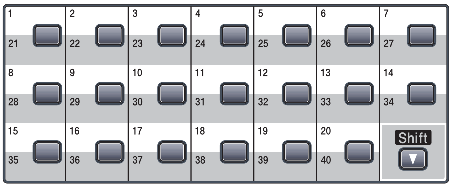
ワンタッチダイヤルを使って送信する

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 相手先の登録されているワンタッチボタンを押す

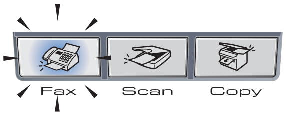


- 21～40に登録されている場合は Shift ▼ を押しながらワンタッチボタンを押します。

4 相手先の表示を確認して スタート を押す

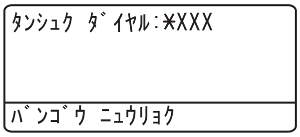
短縮ダイヤルを使って送信する

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



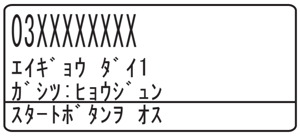
2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 Shift ▼ を押しながら 電話帳検索/短縮 を押す



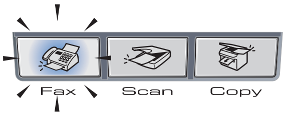
4 相手先が登録されている短縮番号（001～300）を押す

5 相手先の表示を確認して スタート を押す



電話帳を検索して送信する

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 電話帳検索/短縮 を押す

```
ｹﾝｻｸ:

ﾆｭｳﾘｮｸ&ｹﾝｻｸ ﾎﾞﾀﾝ
```

4 探したい名前の最初の１文字を入力して OK を押す

5 ▲▼ で目的の名前を検索し、OK を押して確定する

```
ｹﾝｻｸ:ｴ
 ｴｲｷﾞｮｳﾀﾞｲ1
 ｴｲｷﾞｮｳﾀﾞｲ2
 ｴｲｷﾞｮｳﾀﾞｲ3
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

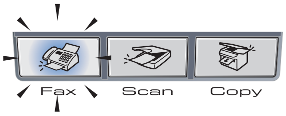
6 相手先の表示を確認して スタート を押す

補足

- 原稿台ガラス使用時に スタート を押したときは、読み取り終了後、2 ABC を押してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは P.131 を参照してください。
- 文字入力のしかたについては P.194 を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P.106 P.108 P.111 を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 再ダイヤル/ポーズ を押す

最後にかけた番号が表示されます。

4 スタート を押す

補足

自動再ダイヤルについて

- 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは５分間隔で3回繰り返します。
- 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
- 自動再ダイヤルを3回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ｹｯｶ」の欄が「ｴﾗｰ」もしくは「ﾊﾅｼﾁｭｳ」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- 原稿台ガラスからリアルタイム送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

チェーンダイヤルを使用する

短縮ダイヤルに登録してある番号を、相手先の電話番号やファクス番号の前につなげてダイヤルすることができます。

●短縮003の番号「0000」を、短縮005の電話番号「1234」の前につなげてダイヤルする場合

1 Shift ▼ を押しながら 電話帳検索/短縮 を押した後 0 0 3 DEF を押す

2 Shift ▼ を押しながら 電話帳検索/短縮 を押した後 0 0 5 JKL を押す

3 スタート を押す

「0000-1234」にダイヤルされます。

●短縮004の番号「111」を、電話番号「5678」の前につなげてダイヤルする場合

1 Shift ▼ を押しながら 電話帳検索/短縮 を押した後 0 0 4 GHI を押す

2 電話番号 5 JKL 6 MNO 7 PQRS 8 TUV を押す

3 スタート を押す

「111-5678」にダイヤルされます。

補足

電話番号の途中にポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。

《ファクス送信》

ファクスの便利な送りかた

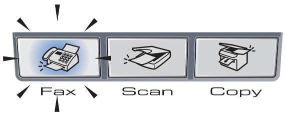
画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

一時的に変更する

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 ファクス画質 を押す

4 ファクス画質 で画質を選択して OK を押す

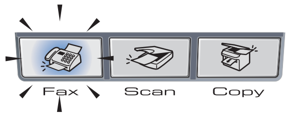
「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

設定内容を保持する

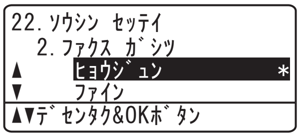
ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 2 ABC を押す



4 ▲ ▼ で画質を選択する

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

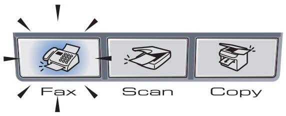
補足

- お買い上げ時は「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」に設定されています。
  - ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - ファイン（ファインモード）：小さい文字のとき
  - スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

原稿濃度を設定する

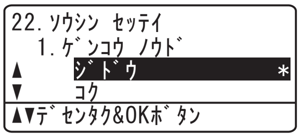
原稿に合わせ濃度を変更しファクスを送信します。ファクスの送信が終わると「ｼﾞﾄﾞｳ」に戻ります。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 1 を押す



4 ▲▼ で原稿濃度を選択する

「ｼﾞﾄﾞｳ」「ｳｽｸ」「ｺｸ」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

☞ 次ページへ続く

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

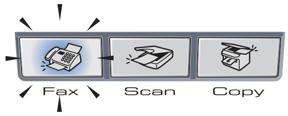
原稿濃度は、以下の3種類の中から選択します。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

- ジドウ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- ウスク：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
- コク　：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

送付書を付けて送信する

ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 7 PQRS を押す

```
22.ソウシン セッテイ
  7.ソウフショ
▲     コンカイノミ:On    *
▼     コンカイノミ:Off
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
```

4 ▲▼ で送付書の設定を選択して OK を押す

「コンカイノミ：On」「コンカイノミ：Off」「On」「Off」「プリント　サンプル」の中から選択します。

- 「プリント　サンプル」を選んだ場合：OK を押して スタート を押します。
- 「On」「コンカイノミ：On」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
- 「Off」「コンカイノミ：Off」を選んだ場合：手順8へ進んでください。

5 ▲▼ でコメントを選択して OK を押す

6 送信枚数を入力する

送信枚数は、「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」を選択した場合のみです。

7 OK を押す

8 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

9 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順4では以下の5つの中から選んでください。
  - 「On」：毎回送付書をつける
  - 「Off」：毎回送付書をつけない
  - 「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」：今回のみ送付書をつける
  - 「ｺﾝｶｲﾉﾐ：Off」：今回のみ送付書をつけない
  - 「ﾌﾟﾘﾝﾄ　ｻﾝﾌﾟﾙ」：プリントサンプルを出力する
- 手順５での送付書のコメントは下記の６種類の中から選べます。
  - 1.コメント ナシ
  - 2.オデンワ クダサイ
  - 3.シキュウ
  - 4.シンテン
  - 5.（オリジナル コメント）
  - 6.（オリジナル コメント）

  2種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたは P.90 を参照してください。
- 送付書送信を「On」に設定したときには、送信枚数の設定はできません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印刷されます。
- 送付書の、「TO:　」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。P.106 を参照してください。

注意

発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P.51 を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1 メニュー 2 ABC 2 ABC 8 TUV **を押す**

```
22.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  8.ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ
▲    5.
▼    6.
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ **でコメントを登録する箇所を選び、** OK **を押す**

コメントは5か6に登録できます。

3 **コメントを入力して** OK **を押す**

4 **他の設定を続けるときは** 1 **を、終了するには** 2 ABC **を押す**

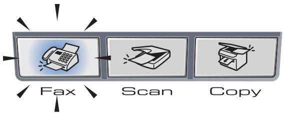
補足

コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについてはP.194を参照してください。

同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50ヶ所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大390ヶ所まで指定できます）。

1 Fax **ボタンが青色に点灯していないときは** Fax **ボタンを押す**



2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **相手先のファクス番号を入力して** OK **を押す**

このとき、電話帳に登録されている電話番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

Shift ▼ 電話帳検索/短縮 0 0 1 を押します。

4 **手順3と同様に2件目以降の相手先を入力して** OK **を押す**

1件登録するごとに下の画面が表示されます。

```
ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ﾀﾞｲﾔﾙ/ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ
```

5 **すべての相手先を入力して** スタート **を押す**

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「ｴﾗｰ」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

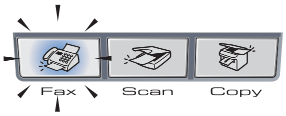
補足

- 送信途中でキャンセルするには 停止/終了 を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は メニュー 2 ABC 6 MNO で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P.96 を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、停止/終了 を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたら 停止/終了 を押して中止してください。原稿が複数枚の場合は、スタート を押して読み込まれた分だけ送信することもできます。

原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 5 JKL を押す

```
22.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  5.ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ
▲     On
▼     Off                *
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 ▲▼ でリアルタイム送信の設定を選択する

「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」「ｺﾝｶｲﾉﾐ：Off」「On」「Off」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

☞次ページへ続く

補足

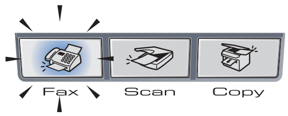
- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- 原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は１枚しか送信できません。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、ポーリング送信とタイマー送信は設定することができません。
- 原稿台ガラスから送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。

相手の操作で原稿を送信する

相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。
これを「ポーリング送信」といいます。

標準ポーリング送信をする

1 [Fax] ボタンが青色に点灯していないときは [Fax] ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 [メニュー] [2 ABC] [2 ABC] [6 MNO] を押す



4 [▲][▼] で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択する

5 [OK] を押す

6 他の設定を続けるときは [1] を、終了するには [2 ABC] を押す

7 スタート を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

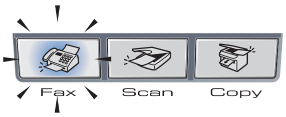
補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは P.96 を参照してください。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、ポーリング送信は設定することができません。リアルタイム送信を「Off」に設定してください。P.91 を参照してください。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れることができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。受信側とパスワードが一致したときだけ送信することができます。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 6 MNO を押す

```
22.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
▲     ﾋｮｳｼﾞｭﾝ        *
▼     ｷﾐﾂ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 ▲▼ で「キミツ」を選択して OK を押す

5 ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力する

```
22.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ  ｿｳｼﾝ

  ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

6 OK を押す

7 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

8 スタート を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

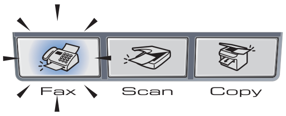
補足

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 （Fax）ボタンが青色に点灯していないときは（Fax）ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 （メニュー）（2 ABC）（2 ABC）（9 WXYZ）を押す

```
22.ソウシン セッテイ
  9.カイガ イソウシン モード
▲    On
▼    Off              *
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

4 （▲▼）で「On」を選択する

5 （OK）を押す

6 他の設定を続けるときは（1）を、終了するには（2 ABC）を押す

7 相手先のファクス番号を入力して（スタート）を押す

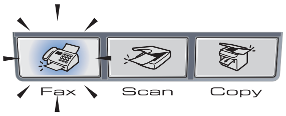
補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから（スタート）を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1 Fax ボタンが青色に点灯していないときは Fax ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 3 DEF を押す

```
22.ソウシン セッテイ
  3.タイマー ソウシン

  シテイ ジコク=00:00
ニュウリョク&OKボタン
```

4 送信する時刻を入力する

例：午後3時5分の場合は「1505」

```
22.ソウシン セッテイ
  3.タイマー ソウシン

  シテイ ジコク=15:05
ニュウリョク&OKボタン
```

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、５分おきに３回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。リアルタイム送信を「Off」に設定してください。P.91 を参照してください。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1 回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 [メニュー] [2 ABC] [2 ABC] [4 GHI] を押す

```
22.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  4.ﾄﾘﾏﾄﾒ ｿｳｼﾝ
▲     On
▼     Off           ＊
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞ ﾀﾝ
```

2 [▲][▼] で「On」を選択する

3 [OK] を押す

4 [停止/終了] を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 [メニュー] [2 ABC] [6 MNO] を押す

```
26.ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ
▲ #001  12:34  ｽｽﾞｷ
  #002  15:00  ﾔﾏﾀﾞ
▼ #003  17:30  ｻﾄｳ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞ ﾀﾝ
```

2 [▲][▼] で解除する内容を選択する

確認のみのときは [停止/終了] を押します。

3 [OK] を押す

4 解除するときは [1] を押す

解除を中止するときは [2 ABC] を押します。

5 [停止/終了] を押す

補足

送信待ちのファクスがないときには「ｾｯﾃｲｶﾞ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」と表示されます。

ファクスを受信する

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 メニュー 2 ABC 1 5 JKL を押す

```
21.ジュシン セッテイ
  5.ジドウ シュクショウ
▲      On              *
▼      Off
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ で「On」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 両面印刷が「On」に設定されている場合、自動縮小として印刷されます。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約375mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約375mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「Off」にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信したファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1 メニュー 2 ABC 1 6 MNO を押す

```
21.ジュシン セッテイ
  6.インサツ ノウド
     -□□■□□+

◀▶デ センタク&OKボタン
```

2 ◀ ▶ で印刷濃度を設定する

◀ を押すと薄くなり、▶ を押すと濃くなります。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します（メモリー代行受信）。

- 記録紙がなくなったとき（ｷﾛｸｼｦ　ｵｸﾚﾏｾﾝ）
- トナーがなくなったとき（ﾄﾅｰｶﾞｱﾘﾏｾﾝ）
- 記録紙がつまったとき（ｷﾛｸｼｶﾞ　ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ）
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ　ﾏﾁｶﾞｲ）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

注意

メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話の受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 呼出ベルが鳴ったら、本製品に接続されている電話の受話器を取る

2 「ポーポー」と音がしていたら スタート を押す

3 2 ABC を押す

相手と通話したあとファクスを受信したいときは、Fax を押してファクスモードにしてから スタート を押し、2 ABC を押してファクスを受信します。

4 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについてはP.52 を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約７秒間待つと自動でファクスを受信できます。P.99 を参照してください。
- 呼出回数を７～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してを スタート 押し、2 ABC を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後にファクスを受信します。

リモート受信するとき

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

親切受信を「On」に設定していると、本製品はファクスを自動的に受信します。
親切受信を「On」に設定していない場合は、手順2を行います。
リモート受信についてはP.100 を参照してください。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本製品に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押す

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

手動受信するとき

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

親切受信を「On」に設定していると、本製品はファクスを自動的に受信します。
親切受信を「On」に設定していない場合は、手順2を行います。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、スタート を押す

3 2 ABC を押す

4 受話器を戻す

親切受信で受信する

本製品に接続されている電話機の受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま7秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 3 DEF を押す

```
21.ジ゛ュシン セッテイ
  3.シンセツ ジ゛ュシン
▲     On
▼     Off              *
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

2 ▲▼ で「On」を選択する

3 OK を押す

4 停止 終了 を押す

補足

受信時の操作

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 親切受信を「On」に設定している場合は、本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポー、ポー」という音が聞こえた場合に約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシン チュウ」と表示されたら受話器を戻します。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスに切り替わらないときがあります。

  そのときは スタート を押し、2 ABC を押してください。
- 親切受信を「Off」に設定している場合は、本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、スタート を押し、2 ABC を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Off」に設定してください。
- 親切受信の設定が「Off」に設定してある場合でも、本製品に接続されている電話機から操作をしてリモート受信を開始させることができます。P.100 を参照してください。
- 親切受信機能は、本製品に接続されている電話機を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信機能をOnに設定しているときは、本製品に接続されている電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。P.99 を参照してください。
親切受信がうまくはたらかないとき、または親切受信の設定が「Off」になっている場合は、本製品に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

1 **本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を入力する**

受話器は約5秒後に戻します。本製品がファクス受信を始めます。

補足

- リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。P.100「リモート受信を設定する／リモート起動番号を変更する」を参照してください。
- リモート起動番号を変更する場合は、3桁のうち必ず1桁は数字以外の記号を含めてください。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、メニュー 2 ABC 1 4 GHI で「ﾘﾓｰﾄ　ｼﾞｭｼﾝ」を「On」に設定しておく必要があります。P.100 を参照してください。

リモート受信を設定する／リモート起動番号を変更する

リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

1 メニュー 2 ABC 1 4 GHI **を押す**

```
21.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
  4.ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ
▲     On
▼     Off           *
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ **で「On」を選択する**

3 OK **を押す**

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

4 OK **を押す**

5 停止/終了 **を押す**

補足

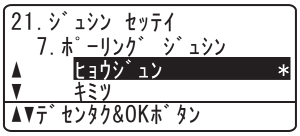
- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- リモート起動番号を変更する場合は、3桁のうち必ず1桁は数字以外の記号を含めてください。

本製品の操作で相手の原稿を受信する

本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
これを「ポーリング受信」といいます。

標準ポーリング受信をする

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す



2 ▲▼ で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して OK を押す

3 相手先のファクス番号を入力する

4 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

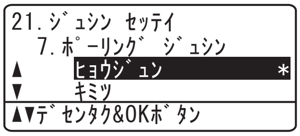
補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- FAX情報サービスからデータの取り出しをする場合は、事前に情報提供先に操作方法等の確認をしてください。
- ポーリング受信の場合、通話料は受信側の負担となります。

順次ポーリング受信をする

１回の操作で、最大390ヶ所の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを「順次ポーリング受信」といいます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す



2 ▲▼ で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択して OK を押す

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号を入力して OK を押す

電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

Shift ▼ 電話帳検索/短縮 0 0 1 を押します。

4 ２件目以降の相手先を手順３のように選択する

5 すべての相手先を入力する

6 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

☞次ページへ続く

機密ポーリング受信をする

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

```
21.ジ゛ュシン セッテイ
  7.ポ゜ーリング゛ ジ゛ュシン
▲    ヒョウジ゛ュン          ＊
▼    キミツ
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

2 ▲▼ で「キミツ」を選択して OK を押す

3 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力する

4 OK を押す

5 相手先のファクス番号を入力する

6 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

補足

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定をする〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

```
21.ジ゛ュシン セッテイ
  7.ポ゜ーリング゛ ジ゛ュシン
▲    ヒョウジ゛ュン          ＊
▼    キミツ
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

2 ▲▼ で「タイマー」を選択して OK を押す

```
21.ジ゛ュシン セッテイ
  7.ポ゜ーリング゛ ジ゛ュシン

  シテイ ジ゛コク=00:00
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

3 指定時刻を入力する

例：午後3時15分の場合は「1515」

```
21.ジ゛ュシン セッテイ
  7.ポ゜ーリング゛ ジ゛ュシン

  シテイ ジ゛コク=15:15
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

4 OK を押す

5 相手先のファクス番号を入力する

6 スタート を押す

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

補足

時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P.96 を参照してください。

受信スタンプを設定する

ファクスを印刷するときに、受信した日時と本製品の発信元情報を印刷することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 8 TUV を押す

```
21.ジュシン セッテイ
  8.ジュシン スタンプ
▲     On
▼     Off         *
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ で「On」を選択する

3 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

受信したファクスを両面印刷する（MFC-8870DWのみ）

受信したファクスを出力する際、両面印刷するように設定できます。

1 メニュー 2 ABC 1 9 WXYZ を押す

```
21.ジュシン セッテイ
  9.リョウメン インサツ
▲     On
▼     Off         *
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ で「On」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 両面印刷を「On」にすると「ジドウシュクショウ」が「On」に設定されます。

Memo

3章

電話帳

電話帳

ナンバー・ディスプレイ

《電話帳》

電話帳を作成する

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と15文字までの相手先の名称を、1～40（最大40件）に登録することができます。

補足

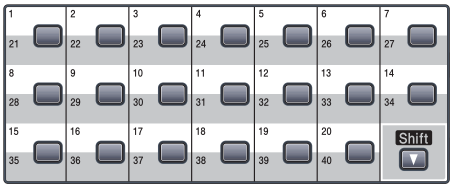
名前、電話番号（ファクス番号）、ファクス画質、Eメールアドレス、解像度、ファイルフォーマットの種類を登録します。（Eメールアドレス、解像度、ファイルフォーマットの種類の登録はMFC-8870DWのみ）

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 1 を押す

23.デ゛ンワチョウ トウロク
　1.デ゛ンワチョウ/ワンタッチ

　ワンタッチボ゛タン:
ワンタッチボ゛タン シテイ

2 登録するワンタッチボタンを押す



- 21～40に登録するときは、Shift を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。

■MFC-8460Nの場合

3 相手先の電話番号を入力して OK を押す

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

4 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は15文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。

5 ▲▼ でファクス送信するときの画質を選択する

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択します。

6 OK を押す

続けて登録する場合は、手順2～6を繰り返します。

7 停止／終了 を押す

■MFC-8870DWの場合

3 ▲▼ で送信方法を選択して OK を押す

「ファクス/デンワ」「Eメール」「インターネット　ファクス」の中から選択します。

4 相手先の電話番号またはEメールアドレスを入力して OK を押す

- 電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- Eメールまたはインターネットファクスのときは60文字まで入力できます。

5 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は15文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。

6 ▲▼ でファクスまたはスキャナ解像度を選択する

手順3で選択した送信方法により設定項目が異なります。

■「ファクス/デンワ」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

■「Eメール」の場合

「モノクロ　200x100dpi」「モノクロ　200dpi」「カラー　150dpi」「カラー　300dpi」「カラー　600dpi」の中から選択して OK を押し手順7へ

■「インターネット　ファクス」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

7 ファイルの種類を選択する

■手順6で白黒を選択した場合

「TIFF」「PDF」の中から選択します。

■手順6でカラーを選択した場合

「PDF」「JPEG」の中から選択します。

8 OK を押す

続けて登録する場合は、手順2～8を繰り返します。

9 停止/終了 を押す

補足

- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に 記号1 ＊ トーン を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶ を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは ▶ （2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては P.194 を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.131 を参照してください。
- 「インターネットファクス」について詳しくは用語集をご覧ください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.88 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 1 を押す

```
23.デンワチョウ トウロク
  1.デンワチョウ/ワンタッチ

  ワンタッチボタン:
ワンタッチボタン シテイ
```

2 変更するワンタッチボタンを押す

登録されている内容が表示されます。

```
23.デンワチョウ トウロク
  #005:ブラザー ゴロウ
▲        1.ヘンコウ
▼        2.チュウシ
▲▼デ センタク&OKボタン
```

3 1 を押す

変更しないときは、2 ABC を押します。

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

1 を押した後、クリア/バック を押すと電話番号が消去されます。確定する場合は OK を押します。

■MFC-8460Nの場合

4 新しい相手先の電話番号を入力して OK を押す

- 電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

5 新しい相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 ▲ ▼ でファクス送信するときの画質を選択する

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択します。

7 OK を押す

8 停止/終了 を押す

☞次ページへ続く

■MFC-8870DWの場合

4 **新しい相手先の電話番号またはEメールアドレスを入力して OK を押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- Eメールは60文字まで入力できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

5 **新しい相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 **▲▼ でファクスまたはスキャナ解像度を選択する**

設定されている送信方法により設定項目が異なります。

■「ファクス/デンワ」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

■「Eメール」の場合

「モノクロ　200x100dpi」「モノクロ　200dpi」「カラー　150dpi」「カラー　300dpi」「カラー　600dpi」の中から選択して OK を押し手順7へ

■「インターネット　ファクス」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

7 **ファイルの種類を選択する**

■手順6で白黒を選択した場合

「TIFF」「PDF」の中から選択します。

■手順6でカラーを選択した場合

「PDF」「JPEG」の中から選択します。

8 **OK を押す**

9 **停止/終了 を押す**

補足

「インターネットファクス」について詳しくは用語集をご覧ください。

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～300（最大300件）に登録することができます。

補足

名前、電話番号（ファクス番号）、ファクス画質、Eメールアドレス、解像度、ファイルフォーマットの種類を登録します。（Eメールアドレス、解像度、ファイルフォーマットの種類の登録はMFC-8870DWのみ）

1 **メニュー 2 3 2 を押す**

```
23.デンワチョウ トウロク
  2.デンワチョウ/タンシュク

  タンシュク ダイヤル?*
ニュウリョク&OKボタン
```

2 **登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して OK を押す**

- 001～300の間で入力します。（例：005）
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

```
23.デンワチョウ トウロク
  2.デンワチョウ/タンシュク

  タンシュク ダイヤル?*005
ニュウリョク&OKボタン
```

■MFC-8460Nの場合

3 **相手先の電話番号を入力して OK を押す**

電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

4 **相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は15文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。

5 **▲▼ でファクス送信するときの画質を選択する**

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択します。

6 OK を押す

続けて登録する場合は、手順2～6を繰り返します。

7 停止/終了 を押す

■MFC-8870DWの場合

3 ▲▼ で送信方法を選択して OK を押す

「ファクス/デンワ」「Eメール」「インターネット ファクス」の中から選択します。

4 相手先の電話番号またはEメールアドレスを入力して OK を押す

- 電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- Eメールまたはインターネットファクスのときは60文字まで入力できます。

5 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は15文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。

6 ▲▼ でファクスまたはスキャナ解像度を選択する

手順3で選択した送信方法により設定項目が異なります。

■「ファクス/デンワ」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

■「Eメール」の場合

「モノクロ 200x100dpi」「モノクロ 200dpi」「カラー 150dpi」「カラー 300dpi」「カラー 600dpi」の中から選択して OK を押し手順7へ

■「インターネット ファクス」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

7 ファイルの種類を選択する

■手順6で白黒を選択した場合

「TIFF」「PDF」の中から選択します。

■手順6でカラーを選択した場合

「PDF」「JPEG」の中から選択します。

8 OK を押す

続けて登録する場合は、手順2～8を繰り返します。

9 停止/終了 を押す

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に ＊(トーン) を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶ を押してカーソルを右に移動させます。（文字のときは ▶ (2回押) でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについては P.194 を参照してください。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P.131 を参照してください。
- 「インターネットファクス」について詳しくは用語集をご覧ください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.88 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

1 メニュー 2ABC 3DEF 2ABC **を押す**

```
23.デ゛ンワチョウ トウロク
  2.デ゛ンワチョウ/タンシュク

  タンシュク ダ゛イヤル?*
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

2 **変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して OK を押す**

登録されている内容が表示されます。

```
23.デ゛ンワチョウ トウロク
  *005:ブ゛ラザ゛ー ゴ゛ロウ
▲     1.ヘンコウ
▼     2.チュウシ
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

3 1 **を押す**

変更しないときは、2ABC を押します。

■MFC-8460Nの場合

4 **新しい相手先の電話番号を入力して OK を押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

5 **新しい相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 ▲▼ **でファクス送信するときの画質を選択する**

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択します。

7 停止/終了 **を押す**

■MFC-8870DWの場合

4 **新しい相手先の電話番号またはEメールアドレスを入力して OK を押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）
- Eメールは60文字まで入力できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

5 **新しい相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 ▲▼ **でファクスまたはスキャナ解像度を選択する**

設定されている送信方法により設定項目が異なります。

■「ファクス/デンワ」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

■「Eメール」の場合

「モノクロ　200x100dpi」「モノクロ　200dpi」「カラー　150dpi」「カラー　300dpi」「カラー　600dpi」の中から選択して OK を押し手順7へ

■「インターネット　ファクス」の場合

「ヒョウジュン」「ファイン」「シャシン」の中から選択して手順8へ

7 **ファイルの種類を選択する**

■手順6で白黒を選択した場合

「TIFF」「PDF」の中から選択します。

■手順6でカラーを選択した場合

「PDF」「JPEG」の中から選択します。

8 OK **を押す**

9 停止/終了 **を押す**

補足

「インターネットファクス」について詳しくは用語集をご覧ください。

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、1グループとしてまとめて登録することができます。
グループダイヤルとして登録し、同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。
P.90、P.101を参照してください。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 3 DEF を押す

```
23.デ゛ンワチョウ トウロク
  3.デ゛ンワチョウ/グ゛ループ゜

  グ゛ループ゜ ダ゛イヤル:
タンシュクダ゛イヤル マタハ ワンタッチボ゛
```

2 グループダイヤルとして使用するワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチボタンに登録するとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
  Shift ▼ 電話帳検索/短縮 を押して短縮番号（001～300）を入力し、OK を押します。

3 グループ番号をダイヤルボタンで1～20を入力して OK を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ヤリナオシテ　クダサイ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

```
23.デ゛ンワチョウ トウロク
  #001

  グ゛ループ゜#:01
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

MFC-8460Nの場合は手順5へ
MFC-8870DWの場合は手順4へ

4 （MFC-8870DWのみ）
▲▼ で「ファクス/IFAX」または「Eメール」を選択して OK を押す

5 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

例：ワンタッチダイヤル［5］、短縮ダイヤルを Shift ▼ 電話帳検索/短縮 0 0 9 WXYZ と入力した場合

```
23.デ゛ンワチョウ トウロク
  #001:グ゛ループ゜#01

  #005*009
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

6 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力して OK を押す

7 グループ名を入力して OK を押す

グループ名は15文字まで登録できます。

8 ▲▼ でファクスまたはスキャナ解像度を選択する

手順4で選択した送信方法により設定項目が異なります。

■「ファクス/IFAX」の場合（MFC-8460Nはファクスの設定のみ）

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択して、手順10へ

- IFAXの場合は「S.ファイン」を選択することはできません。
- グループダイヤルとして使用するときに登録したワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルにインターネットファクスが含まれる場合は、「S.ファイン」を選択することはできません。

■「Eメール」の場合（MFC-8870DWのみ）

「モノクロ　200x100dpi」「モノクロ　200dpi」の中から選択して OK を押し、手順9へ

☞次ページへ続く

9 [▲/▼] でファイルの種類を選択する

「TIFF」「PDF」の中から選択します。

10 [OK] を押す

続けて登録する場合は、手順2～10を繰り返しします。

11 [停止/終了] を押す

補足

- 1つのグループダイヤルには、最大339件まで登録できます。
- グループダイヤルは 20 グループまで作ることができます。
- ワンタッチダイヤルの 21～ 40を登録するときは、[Shift ▼] を押しながらワンタッチボタンを押します。
- 文字入力のしかたについては P.194 を参照してください。
- グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。P.131 を参照してください。
- 「インターネットファクス」について詳しくは用語集をご覧ください。

注意

グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

グループダイヤルを変更する

1 [メニュー] [2 ABC] [3 DEF] [3 DEF] を押す

```
23.デンワチョウ トウロク
  3.デンワチョウ/グループ

  グループ ダイヤル:
タンシュクダイヤル マタハ ワンタッチボ
```

2 変更するグループダイヤル番号を入力する

- **ワンタッチボタンに登録されているとき**
  ワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録されているとき**
  [Shift ▼] [電話帳検索/短縮] を押して短縮番号（001～300）を入力し、[OK] を押します。

```
23.デンワチョウ トウロク
  G01:エイギョウ
▲     1.ヘンコウ
▼     2.チュウシ
▲▼デ センタク&OKボタン
```

3 [1] を押す

変更しないときは、[2 ABC] を押します。

補足

グループダイヤルを削除するには（MFC-8460Nの場合）

[1] を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で [クリア/バック] を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合は [OK] を押します。

4 （MFC-8870DWのみ）[▲/▼] で「ファクス/IFAX」または「Eメール」を選択して [OK] を押す

変更しないときは、そのまま [OK] を押します。

補足

グループダイヤルを削除するには

[OK] を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で [クリア/バック] を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合は [OK] を押します。

5 変更するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して OK を押す

変更しないときは、そのまま OK を押します。

```
23.デンワチョウ トウロク
  #001:グループ#01

  #005*009
ニュウリョク&OKボタン
```

6 新しいグループ名を入力する

- 名前は15文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

7 ▲▼ でファクスまたはスキャナ解像度を選択する

手順4で選択した送信方法により設定項目が異なります。

■「ファクス/IFAX」の場合（MFC-8460Nはファクスの設定のみ）

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択して、手順9へ

- IFAX の場合は「S.ファイン」を選択することはできません。
- グループダイヤルとして使用するときに登録したワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルにインターネットファクスが含まれる場合は、「S.ファイン」を選択することはできません。

■「Eメール」の場合（MFC-8870DWのみ）

「モノクロ 200x100dpi」「モノクロ 200dpi」の中から選択して OK を押し、手順8へ

8 ▲▼ でファイルの種類を選択する

「TIFF」「PDF」の中から選択します。

9 OK を押す

10 停止/終了 を押す

補足

「インターネットファクス」について詳しくは用語集をご覧ください。

《ナンバー・ディスプレイ》

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。
- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する P.132

着信履歴を確認する

1 Shift ▼ を押しながら ▼ を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
▲03)06XXXXXXXX
 02)05XXXXXXXX
▼01)ﾌﾞﾗｻﾞｰﾀﾛｳ
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ で電話番号を選択して OK を押す

詳細情報が表示されます。

3 停止/終了 を押す

着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

1 Shift ▼ を押しながら ▼ を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
▲ 03)06XXXXXXXX
  02)05XXXXXXXX
▼ 01)ﾌﾞﾗｻﾞｰﾀﾛｳ
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ▲▼ で電話番号を選択して OK を押す

```
02)05XXXXXXXX

   03/19  12:30
OKﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ﾄｳﾛｸ
```

3 もう一度 OK を押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
  1.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾜﾝﾀｯﾁ
  2.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ/ﾀﾝｼｭｸ

▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 ▲▼ で「デンワチョウ／ワンタッチ」または「デンワチョウ／タンシュク」を選択して OK を押す

5 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は15文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 番号に空きがないときは「トウロクガ イッパイデス」と表示されたあと、手順2に戻ります。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
  #003:05XXXXXXXX

  ﾅﾏｴ:ﾌﾞﾗｻﾞｰﾀﾛｳ
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

6 ▲▼ で解像度を選択して OK を押す

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択します。

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
  #003:05XXXXXXXX
▲
▼     ｶｲｿﾞｳﾄﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

7 停止/終了 を押す

補足

「ソトヅケデンワ ユウセン」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

Memo

4章

転送・リモコン機能

転送機能

リモコン機能

《転送機能》

ファクス転送と電話呼び出し機能

ファクス転送と電話呼び出し機能について

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先のファクスへ転送（ファクス転送）したり、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）することができます。

ファクス転送の流れ

受信したファクスを、他の場所のファクシミリに転送することができます。

1. 留守中にファクスを受信
2. ファクスをメモリーに蓄積
3. 登録したファクス転送番号またはEメールアドレス（MFC-8870DWのみ）を選択
4. メモリーに蓄積したファクスを転送先のファクシミリまたはパソコン（MFC-8870DWのみ）に送信

注意

電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。)

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

```
25.オウヨウ キノウ
  1.テンソウ/メモリージュシン
▲     Off          *
▼     ファクス テンソウ
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ で「ファクス　テンソウ」を選択して OK を押す

3 転送先番号（転送先の電話番号）またはEメールアドレス(MFC-8870DWのみ）を入力して OK を押す

登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルも指定できます。

```
25.オウヨウ キノウ
  ファクス  テンソウ#:

ニュウリョク&OKボタン
```

4 ▲▼ で、印刷の設定を選択する

```
25.オウヨウ キノウ
  ホンタイデモ インサツ
▲     Off          *
▼     On
▲▼デ センタク&OKボタン
```

- 「On」:
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「Off」:
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクス転送番号およびEメールアドレスは外出先から変更することができます。P.127 を参照してください。
- 転送先番号またはEメールアドレスは最大20桁まで入力できます。（カッコは入力できません。)
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。

電話呼び出し機能の流れ

1. 留守中にファクスを受信
↓
2. ファクスをメモリーに蓄積
↓
3. 登録した呼び出し先の電話番号にダイヤル
↓
4. 電話に出ると、「ポッポッ」という音でファクスを受信したことを知らせます。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

```
25.オウヨウ キノウ
  1.テンソウ/メモリージ゛ュシン
▲     Off                *
▼     ファクス テンソウ
▲▼テ゛センタク&OKホ゛タン
```

2 ▲▼ で「デンワ ヨビダシ」を選択して OK を押す

3 呼び出し先番号を入力する

最大20桁まで入力できます。

```
25.オウヨウ キノウ
  1.テンソウ/メモリージ゛ュシン

  テ゛ンワ ヨヒ゛ダ゛シ#:
ニュウリョク&OKホ゛タン
```

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。P.127 を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

《転送機能》

ファクスをメモリーやパソコンで受信する

受信したファクスを本製品のメモリーに蓄積したり、本製品と接続しているパソコンに転送することができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して外出先から取り出すことができます。

1 メニュー 2 5 1 を押す



2 ▲▼ で「ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大600ページまでできます。（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリー受信を「Off」にすると「ﾌｧｸｽ ｼｮｳｷｮ？ 1.ﾊｲ 2.ｲｲｴ」が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 を押してください。1 を押すとメモリーから消去されます。

パソコンでファクスを受信する（PCファクス受信）

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスを本製品に蓄積してパソコンに接続したとき、まとめてパソコンに転送します。

1 メニュー 2 5 1 を押す



2 ▲▼ で、「PCﾌｧｸｽ ｼﾞｭｼﾝ」を選び、OK を押す

3 ▲▼ で、パソコンが接続されているインターフェイスを選び、OK を押す

4 ▲▼ で、印刷の設定を選択する



- 「On」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「Off」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

注 意

パソコンでファクスを受信したい場合は、本製品の設定を必ず「PCファクス　ジュシン」にしてください。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクスがメモリーに残っている状態で、手順2で「Off」を選択すると「スベテノファクス　プリント　1.ハイ　2.イイエ」が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 ABC を押してください。1 を押すとメモリーに蓄積されているファクスが印刷されます。
- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

メモリーに受信したファクスを印刷する

メモリー受信が設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 3 DEF を押す

```
25.オウヨウ キノウ
  3.ファクス シュツリョク

スタートボ゛タンヲ オス
```

2 スタート を押す

印刷を開始します。

3 印刷終了後 停止/終了 を押す

補足

メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ　アリマセン」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

《リモコン機能》

外出先から本製品を操作する:リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 2 ABC **を押す**

```
25.ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ
  2.ｱﾝｼｮｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

  ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ:---＊
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 暗証番号を入力する

ダイヤルボタンで３桁の番号を入力してください。
（暗証番号は最後に「＊」を加えた４桁の番号になります。）

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋(＊)）を入力する

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる。この間に、リモコンコードを入力する

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。P.126 を参照してください。

4 リモコンアクセスを終了するときは、(9)(0)を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - **ファクス専用モードのとき**
    メモリー受信の場合、本製品が応答すると、約4秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。P.122 を参照してください。
  - **自動切替モードのとき**
    本製品が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - **外付留守電モードのとき**
    本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4〜5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - **電話モードのとき**
    呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を下記のように操作することができます。

機　　　能	コード
メモリー受信を解除します。（電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます）	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、(#)を２回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954)」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(6)(2)を押す

4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に(#)を2回押す

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(5)(4)を押す

4 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に(#)を2回押す

転送番号は最大20桁まで入力できます。

5 「ピー」という応答音が聞こえたら、(9)(0)を押して受話器を戻す

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、(#)を1回押します。(#)を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順 2 の操作を行ってください。

Memo

5章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	送信レポート	送信した最新の最大200通分の結果を表示します。または最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2	機能案内リスト	機能の解説を印刷します。
3	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
4	通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。
7	LAN設定内容リスト	ネットワークの設定内容を印刷します。
8	ご注文シート	トナーカートリッジなどの消耗品をファクスで注文するときのシートを印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。
- タイマー通信レポート
  タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  同報送信が終了すると印刷されます。

注意

電源スイッチを Off にしたまま 4 日間放置すると、通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

送信レポートを表示する

送信した最新の最大200通分の結果と詳細を表示します。

1 メニュー 5 JKL 1 を押す

```
51.ソウシン レポート
▲ 1.ヒョウジ
▼ 2.インサツ
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 1 を押す

通信結果がリストで表示されます。

3 ▲▼ で通信結果を選択し、OK を押す

通信結果の詳細が表示されます。

4 停止/終了 を押す

送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

1 メニュー 5 JKL 1 2 ABC を押す

```
51.ソウシン レポート
  2.インサツ
スタートボタンヲ オス
```

2 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、

スタート を押す

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。

1 メニュー 5 JKL 2 ABC を押す

```
52.キノウアンナイ
スタートボタンヲ オス
```

2 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、

スタート を押す

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。

1 メニュー 5 JKL 3 DEF を押す

```
53.デンワチョウ リスト
▲ 1.メモリーバンゴウジュン
▼ 2.ナマエジュン
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ で印刷方法を選択する

「メモリーバンゴウジュン」「ナマエジュン」の中から選択します。

補足

「メモリーバンゴウジュン」を選択した場合は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの、それぞれに登録されている番号順に印刷されます。

3 OK を押す

4 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、

スタート を押す

通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。

1 メニュー 5 JKL 4 GHI を押す

54. ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

2 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、スタート を押す

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録･設定されている内容を印刷します。

1 メニュー 5 JKL 5 JKL を押す

55. ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ﾘｽﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

2 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、スタート を押す

着信履歴リストを印刷する

着信した履歴を印刷します。

1 メニュー 5 JKL 6 MNO を押す

56. ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷ ﾘｽﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

2 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、スタート を押す

LAN設定内容リストを印刷する

ネットワークの設定内容を印刷します。

1 メニュー 5 JKL 7 PQRS を押す

57. LANｾｯﾃｲﾅｲﾖｳﾘｽﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

2 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、スタート を押す

ご注文シートを印刷する

トナーカートリッジなどの消耗品をファクスで注文するときのシートを印刷します。P.227 を参照してください。

1 メニュー 5 JKL 8 TUV を押す

58. ｺﾞﾁｭｳﾓﾝ ｼｰﾄ
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

2 「スタートボタンヲ　オス」と表示されたら、スタート を押す

送信レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

1 メニュー 2 ABC 4 GHI 1 を押す

```
24.レポ゛ート セッテイ
 1.ソウシン レポ゛ート
▲   Off+イメージ゛     *
▼   On
▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
```

2 ▲▼ で印刷する送信レポートの出力設定を選択する

「On」「On+イメージ」「Off」「Off+イメージ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「Off+イメージ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の 4 種類の中から選択します。
  On：送信後に毎回自動的に印刷します。
  On+イメージ：「On」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
  Off：通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
  Off+イメージ：「Off」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 メニュー 2 ABC 4 GHI 2 ABC を押す

```
24.レポ゛ート セッテイ
 2.ツウシン カンリ カンカク
▲   50 ケンゴ゛ト      *
▼   6 ジ゛カンゴ゛ト
▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
```

2 ▲▼ で間隔を設定して OK を押す

- 「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケンゴト」「6 ジカンゴト」「12 ジカンゴト」「24 ジカンゴト」「2 カ ゴト」(2日ごと)「7 カ ゴト」(7日ごと)の中から選択します。
- 「7 カ ゴト」を設定したときは、曜日を ▲▼ で選択して OK を押してください。

3 開始時間を入力する

開始時間は、「50 ケンゴト」「レポートシュツリョクシナイ」以外を選択した場合のみです。

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「50 ケンゴト」に設定されています。

Memo

6章

コピー

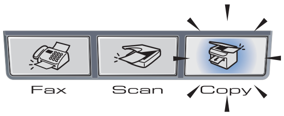
コピーをする

補足

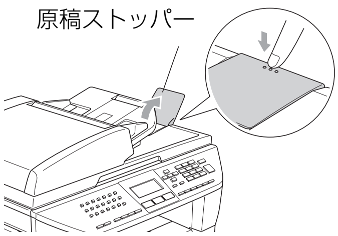
コピーを途中でキャンセルする場合は、停止/終了を押してください。

ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーする

1 **Copyボタンが青色に点灯していないときはCopyボタンを押す**



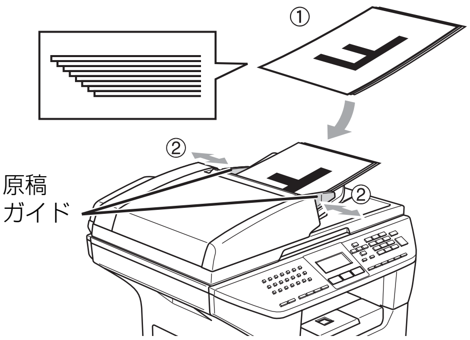
2 **原稿ストッパーを起こす**



3 **原稿のコピーする面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）**

原稿は一度に50枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）



4 **コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力してスタートを押す**

複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときはP.140を参照してください。

補足

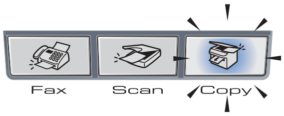
- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときはP.150を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは停止/終了を押してください。

注意

ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスからコピーしてください。

原稿台ガラスからコピーする

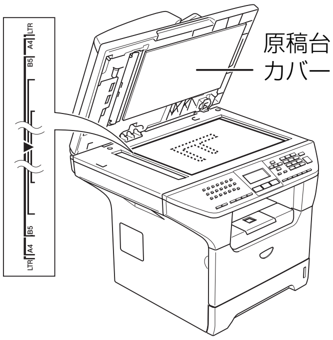
1 [Copy]ボタンが青色に点灯していないときは[Copy]ボタンを押す



2 原稿台カバーを持ち上げる

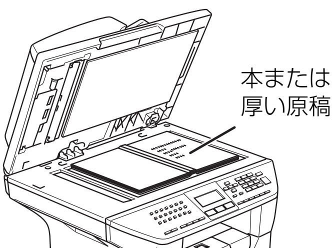
3 原稿台ガラスに原稿のコピーする面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドを利用して中央にセットします。



4 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押してください。



5 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力して[スタート]を押す

補足

- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- 原稿台ガラスは常にきれいにしておきましょう。汚れていると、きれいなコピーができません。P.157 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは[停止/終了]を押してください。
- スタックコピーまたはソートコピーする場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。P.140 を参照してください。

「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本製品内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メモリーガ イッパイデス
スタートボタンデ コピー
テイシボタンデ トリケシ

[停止/終了]を押すとコピーがキャンセルされます。

メモリーに受信したファクスを印刷して、コピー時に使用できるメモリーを確保してください。
P.123 を参照してください。

補足

「メモリーガ　イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

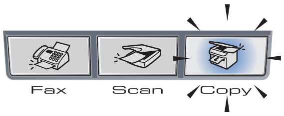
《コピー設定》

一時的に設定する

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 ボタンが青色に点灯していないときは ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 拡大/縮小 を押す

5 拡大/縮小 または ▶ を押した後、▲▼ で倍率を選択する

ｶｸﾀﾞｲ/ｼｭｸｼｮｳ
▲115% B5→A4
 100%
▼97%　USﾚﾀｰ→A4
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ　01

倍率は以下の中から選択します。
- 200%
- 141%　A5→A4
- 115%　B5→A4
- 100%
- ジドウ
- カスタム
  （25%～400%：ダイヤルボタンで入力）
- 97%　USレター→A4
- 94%　A4→USレター
- 91%　フルページ
- 87%　A4→B5
- 70%　A4→A5
- 50%

6 OK を押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して OK を押してください。

7 スタート を押す

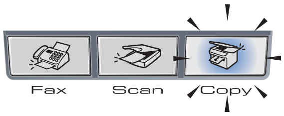
補足

- お買い上げ時は「100%」に設定されています。
- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。
- 「ｼﾞﾄﾞｳ」はADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットしたときのみ液晶ディスプレイに表示されます。

画質を設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 ［Copy］ボタンが青色に点灯していないときは［Copy］ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 （MFC-8460Nの場合）

［コピー画質］を押す

（MFC-8870DWの場合）

［コントラスト/コピー画質］を押し、［▲］［▼］で「ガシツ」を選択して［OK］を押す

5 ［◀］［▶］で印刷するコピーの画質を選択する

「ジドウ」「テキスト」「シャシン」の中から選択します。

```
コントラスト  :-□□■□□+
ガシツ        :ジドウ ▶
バイリツ      :100%
キロクシトレイ :MP > #1
◀▶デ センタク&OKボタン   01
```

6 ［OK］を押す

7 ［スタート］を押す

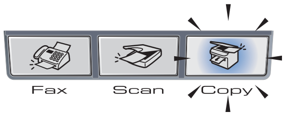
補足

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

コントラストを調整する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 ［Copy］ボタンが青色に点灯していないときは［Copy］ボタンを押す



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 （MFC-8460Nの場合）

［コントラスト］を押す

（MFC-8870DWの場合）

［コントラスト/コピー画質］を押し、［▲］［▼］で「コントラスト」を選択して［OK］を押す

5 ［◀］［▶］で印刷するコピーのコントラストを調整する

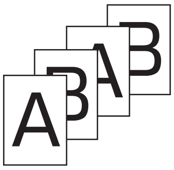
```
コントラスト  :-□□■□□+▶
ガシツ        :ジドウ
バイリツ      :100%
キロクシトレイ :MP > #1
◀▶デ センタク&OKボタン   01
```

6 ［OK］を押す

7 ［スタート］を押す

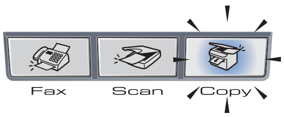
ソートコピーを設定する

一時的にソートコピーすることができます。



ソートコピー

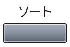
1  **ボタンが青色に点灯していないときは**  **ボタンを押す**



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

原稿台からソートコピーはできません。

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4  **を押す**

5  **を押す**

補足

- を押さないと、スタックコピーします。
- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

注意

■原稿の読み込み中に「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときはP.137を参照してください。

■メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

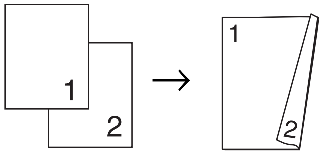
両面コピーのしかた（MFC-8870DWのみ）

片面２枚の原稿を両面１枚、両面１枚の原稿を片面２枚または両面原稿1枚から両面1枚にコピーすることができます。

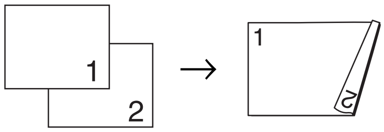
長辺綴じ

片面 → 両面

（縦長）

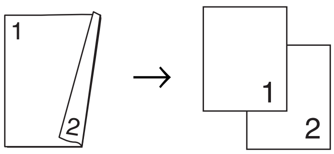


（横長）

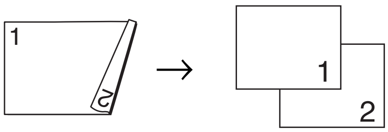


両面 → 片面

（縦長）



（横長）



1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す

2 ADF(自動原稿送り装置)または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数(1 ～ 99)をダイヤルボタンで入力する

4 両面 ボタンを押し、▲▼ でコピー方法を選択して OK を押す

- ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットしているときは、「カタメン→リョウメン」「リョウメン→リョウメン」「リョウメン→カタメン」の中から選択します。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしているときは、「カタメン→リョウメン」のみ選択できます。
- 短辺綴じの両面コピーをする場合は「カクチョウ セッテイ」を選択してください。

5 スタート を押す

原稿を読み取ります。

- ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。(これで操作は終了です。)
- 原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順6に進みます。

6 原稿台ガラスに次の原稿をセットして 1 を押し、OK を押す

原稿を読み取ります。
コピーするすべての原稿に対してこの操作を繰り返します。

7 すべてに原稿を読み取った後、2 ABC を押す

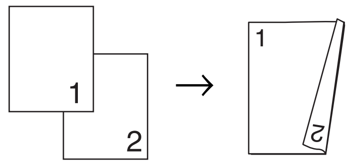
コピーが開始されます。

補足

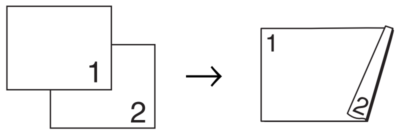
両面原稿1枚から両面1枚にコピーするときも同様の手順でコピーできます。

短辺綴じ

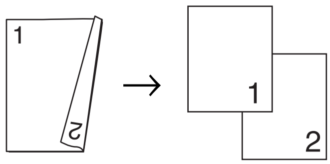
片面 → 両面
(縦長)



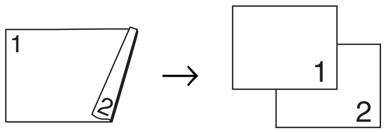
(横長)



両面 → 片面
(縦長)



(横長)



1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す

2 ADF(自動原稿送り装置)または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数(1 ～ 99)をダイヤルボタンで入力する

4 両面 ボタンを押し、▲▼ で「カクチョウ セッテイ」を選択して OK を押す

☞次ページへ続く

5 **▲▼でコピー方法を選択して OK を押す**

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしているときは、「カタメン→リョウメン」「リョウメン→カタメン」の中から選択します。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしているときは、「カタメン→リョウメン」のみ選択できます。

6 **スタート を押す**

原稿を読み取ります。

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
- 原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順7に進みます。

7 **原稿台ガラスに次の原稿をセットして 1 を押し、 OK を押す**

原稿を読み取ります。
コピーするすべての原稿に対してこの操作を繰り返します。

8 **原稿台ガラスに次の原稿をセットして 2 ABC を押す**

コピーが開始されます。

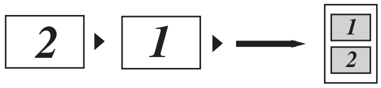
N in 1コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

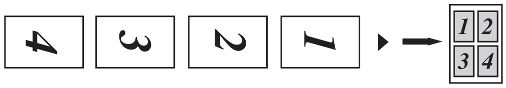
〈2 in 1（タテナガ）〉



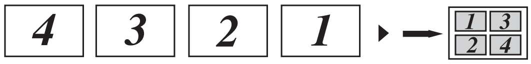
〈2 in 1（ヨコナガ）〉



〈4 in 1（タテナガ）〉



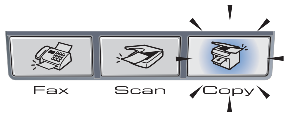
〈4 in 1（ヨコナガ）〉



N in 1コピーのしかた

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

1 **Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す**



2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する**

4 **Nin1 を押す**

5 ▲▼ でレイアウトを選択して OK を押す

「2 in 1（タテナガ）」「2 in 1（ヨコナガ）」
「4 in 1（タテナガ）」「4 in 1（ヨコナガ）」の中から選択します。

```
N in 1 ｺﾋﾟｰ
▲Off(1 in 1)
 2in1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)
▼2in1 (ﾖｺﾅｶﾞ)
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ        01
```

6 スタート を押す

原稿を読み取ります。

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
- 原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順7に進みます。

7 1 を押す

```
FB ｺﾋﾟｰ
 ﾂｷﾞﾉ ｹﾞﾝｺｳｱﾘﾏｽｶ
▲ 1.ﾊｲ
▼ 2.ｲｲｴ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

原稿を読み取り、コピーが開始されます。
コピーするすべての原稿に対してこの操作を繰り返します。

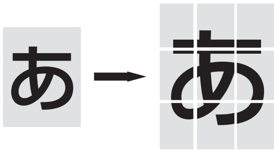
9 すべての原稿を読み取った後、2 ABC を押す

補足

N in 1コピーでは、拡大／縮小機能は使えません。

ポスターコピーのしかた

1枚の原稿を9枚の記録紙に分割拡大（ポスター）コピーすることができます。

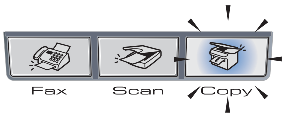


注意

■記録紙サイズは「A4」を選択してください。

■ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

1 Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す



2 原稿台ガラスに原稿をセットする

3 Nin1 を押す

4 ▲▼ で「ﾎﾟｽﾀｰ（3 X 3）」を選択する

```
N in 1 ｺﾋﾟｰ
▲4in1(ﾀﾃﾅｶﾞ)
 4in1(ﾖｺﾅｶﾞ)
▼ﾎﾟｽﾀｰ(3 X 3)
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ        01
```

5 OK を押す

6 スタート を押す

補足

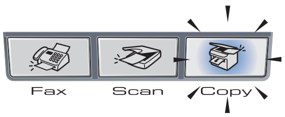
● ポスターコピーでは、拡大／縮小機能は使えません。

● ポスターコピーは1部しかコピーをすることはできません。

コピーするときの記録紙トレイを選択する

コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。

1 **Copy ボタンが青色に点灯していないときは Copy ボタンを押す**



2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する**

4 **トレイ選択 を押し、◀ ▶ で使用する記録紙トレイを選択する**

「MP ＞ #1」「#1 ＞ MP」「#1(XXX)」「MP(XXX)」の中から選択します。

- 記録紙トレイ2を装着しているときは「M>#1>#2」「#1>#2>M」「#1(XXX)」「#2(XXX)」「MP(XXX)」の中から選択します。
- XXXは、「記録紙サイズ」で選択したサイズが表示されます。

5 **OK を押す**

6 **スタート を押す**

補足

- お買い上げ時は「MP ＞ #1」に設定されています。
- 「A ＞ B」に設定したときは、A のトレイに記録紙がなくなったとき、B トレイに同じサイズの記録紙がセットされていると、自動でBトレイから給紙させることができます。

《コピー設定》

設定内容を保持する

お買い上げ時の本製品の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更する場合は P.138 を参照してください。

画質の設定を変更する

「画質」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 メニュー 3 DEF 1 を押す

```
31.コピーガシツ
▲  ジドウ          *
   テキスト
▼  シャシン
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ で画質を選択する

「テキスト」「シャシン」「ジドウ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

解像度を変更する

「コピーテキスト画質」の設定を変更します。
以下の３つの条件がそろったときのみ解像度を変更することができます。

- スキャナガラス使用
- 100％等倍
- テキストモード（メニュー 3.1）

1 メニュー 3 DEF 2 ABC を押す

```
32.FB テキスト ガシツ

▲  1200x600dpi
▼  600dpi          *
▲▼デ センタク&OKボタン
```

2 ▲▼ でテキスト画質を選択する

「600dpi」「1200x600dpi」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

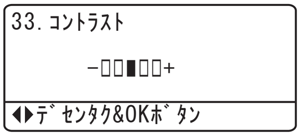
補足

お買い上げ時は「600dpi」に設定されています。

コントラストの設定を変更する

「コントラスト」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 **メニュー 3 DEF 3 DEF を押す**



2 **◀ ▶ でコントラストを調整する**

コントラストは5段階で調整できます。▶を押すと濃くなり、◀を押すと薄くなります。

3 **OK を押す**

4 **停止/終了 を押す**

7章

こんなときは

《日常のお手入れ》

紙づまりについて

紙づまりのときのメッセージ

紙づまりのときは、ステータスランプが赤色で点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

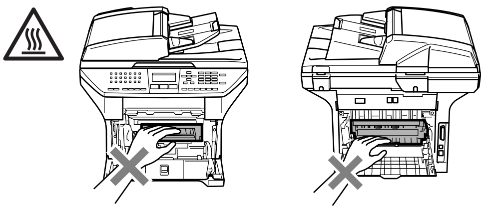
原稿がつまったとき P.150 を参照してください。	ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
記録紙がつまったとき P.151 を参照してください。	ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ XXXXXXX ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ

“XXXXXXX”は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

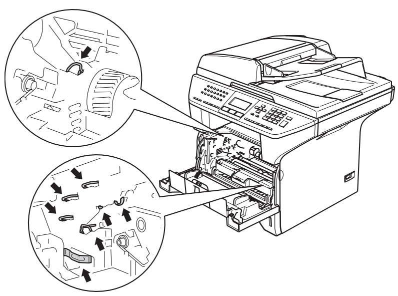
注意

■本製品の内部を操作するときは、必ず電源スイッチをOffにしてから行ってください。

■本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、下図のグレーの部分には絶対に触れないでください。



■本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。。



■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

■つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■記録紙の角に折り目がついているときは、紙づまりが起こる可能性がありますので、紙づまりを防ぐために折り目がついている部分を手前にして記録紙を入れなおしてください。

補足

次の記録紙は紙づまりを起こすおそれがあるため、使用しないでください。

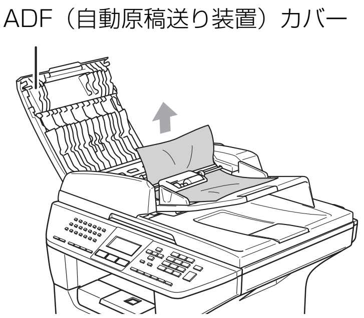
- 曲がっていたりカールしている記録紙
- 湿っている記録紙
- 本製品の仕様に合わない記録紙 P.40 を参照してください。

原稿がつまったときは

ADF（自動原稿送り装置）の入り口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿をゆっくり上に引いて取り除く



3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

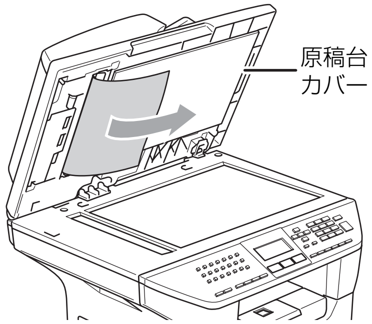
ADFカバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿をゆっくり引き出す



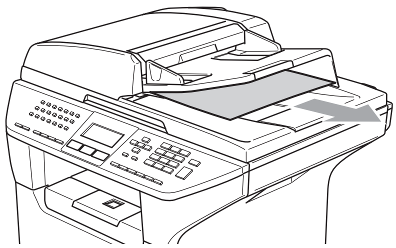
3 原稿台カバーを閉じる

4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿をゆっくり引き出す

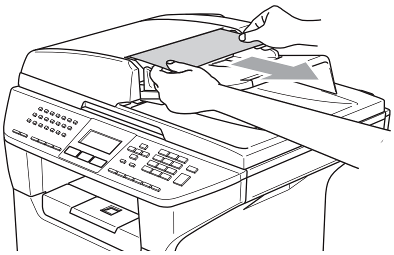


3 停止/終了 を押す

両面スロットで原稿がつまったときは（MFC-8870DWのみ）

1 送り込まれていない原稿を取る

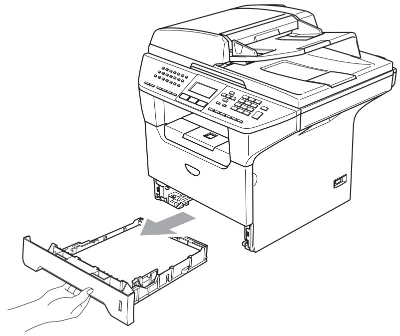
2 つまった原稿をゆっくり引き出す



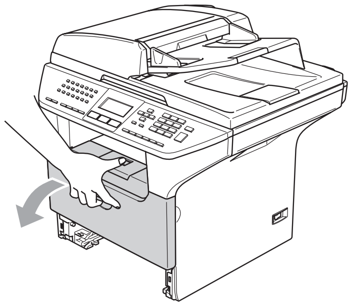
3 停止/終了 を押す

前面に記録紙がつまったときは

1 記録紙トレイを完全に引きだす

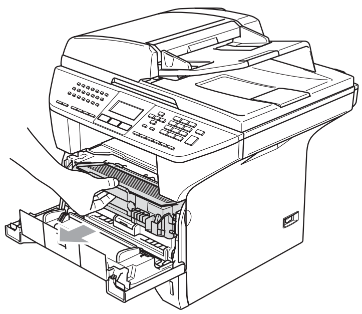


2 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く



3 ドラムユニットを本製品から取り出す

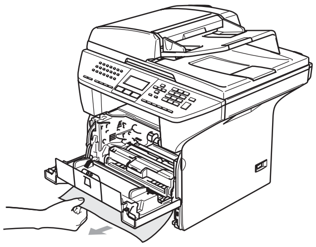
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



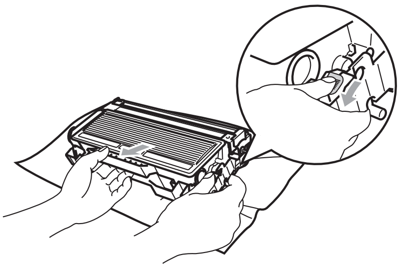
☞ 次ページへ続く

4 つまった記録紙を取り除く

破らないようにゆっくりと引き出してください。



5 ドラムユニットのロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

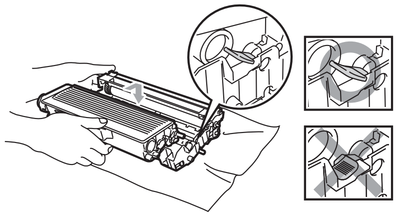


6 ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

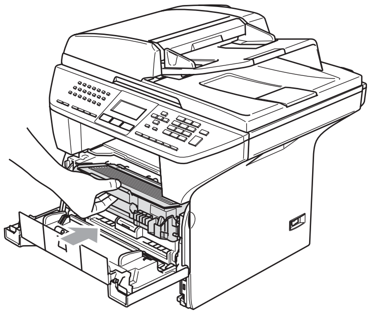
つまった記録紙があるときは、取り出します。

7 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、ロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



8 本製品にドラムユニットを取り付ける

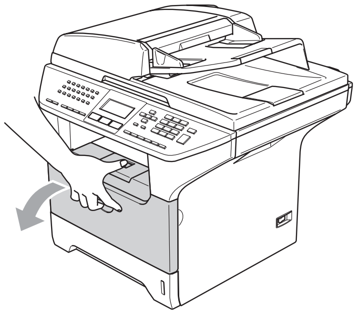


9 フロントカバーを閉じる

10 記録紙トレイを本製品に戻す

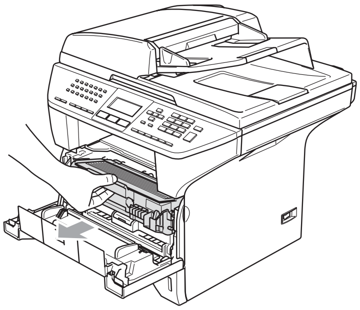
背面に記録紙がつまったときは

1 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く

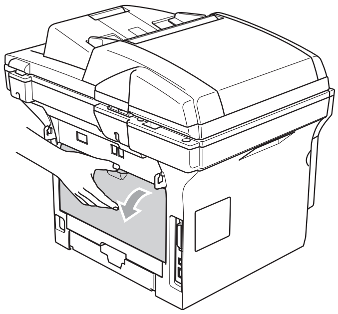


2 ドラムユニットを本製品から取り出す

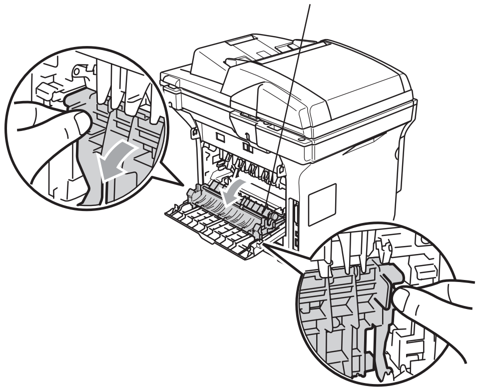
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



3 バックカバーを開く

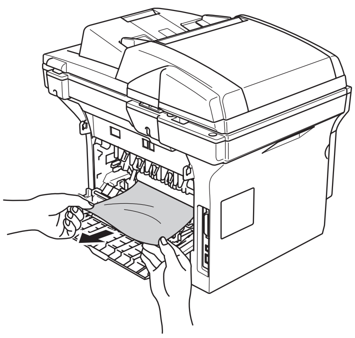


4 タブをつまみ、フューザーカバーを開く



5 つまった記録紙を引き出す

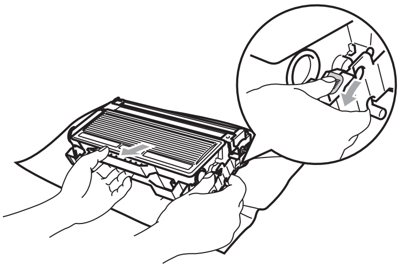
簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらず、片方の手で青色のタブを押し下げ、もう一方の手でつまった記録紙をゆっくり引き抜いて取り除きます。



6 バックカバーを閉じる

☞ 次ページへ続く

7 ドラムユニットのロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す

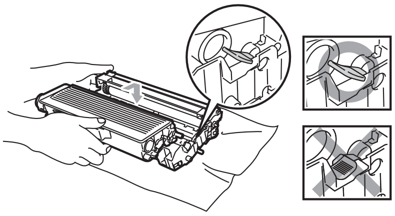


8 ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

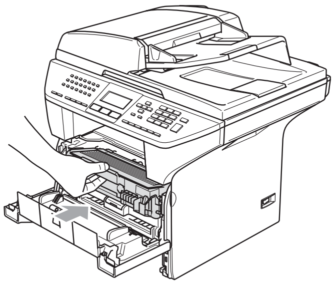
つまった記録紙があるときは、取り出します。

9 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、ロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



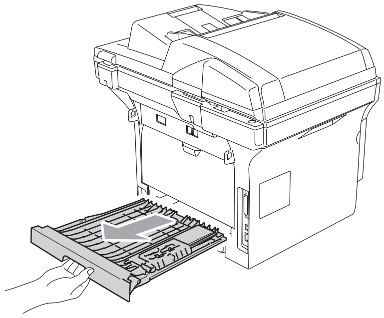
10 本製品にドラムユニットを取り付ける



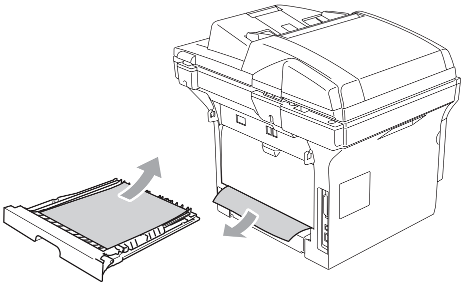
11 フロントカバーを閉じる

両面トレイに記録紙がつまったときは（MFC-8870DWのみ）

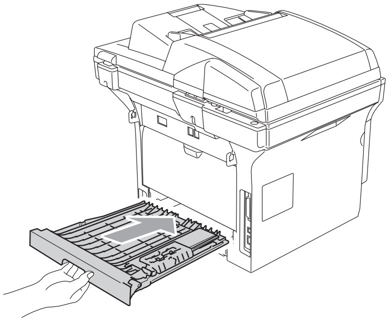
1 両面トレイを完全に引き出す



2 つまった記録紙を取り除く



3 両面トレイを本製品に戻す



補足

- 両面トレイから片面のみ印刷し終わった記録紙を取り除いた場合、紙づまりメッセージが表示されます。
- 記録紙サイズにあわせて両面印刷用記録紙ガイドが正しくセットされていないと紙づまりが発生することがあります。また、記録紙の正しい印刷範囲に印刷されません。

《日常のお手入れ》

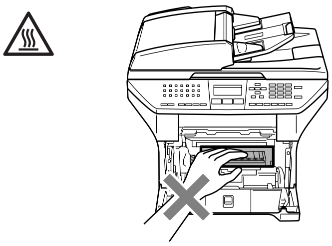
定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをお勧めします。

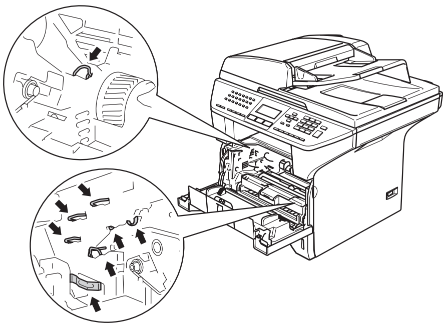
- 記録紙トレイと記録紙ガイド
- 原稿台ガラス
- スキャナウィンドウ
- ドラムユニット

注意

■本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、下図のグレー部分には絶対に触れないでください。



■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。



■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

本体外部を清掃する

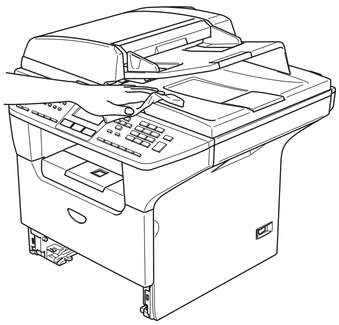
注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■アンモニアの成分が含んでいる洗剤は使わないでください。

■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。



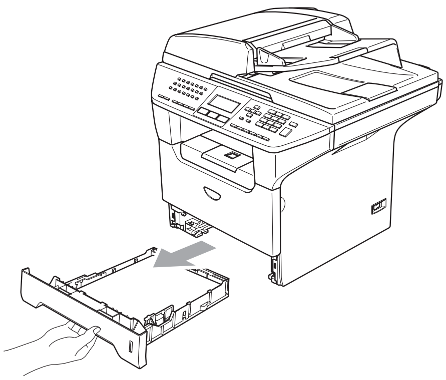
記録紙トレイを清掃する

注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

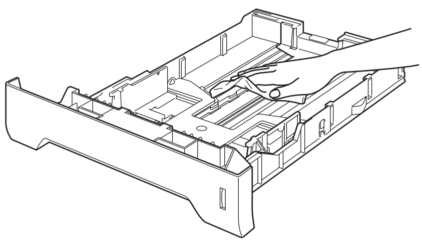
■アンモニアの成分が含んでいる洗剤は使わないでください。

1　**記録紙トレイを完全に引き出す**



2　**記録紙を取り出す**

3　**柔らかい布で記録紙トレイの内側と外側を拭く**

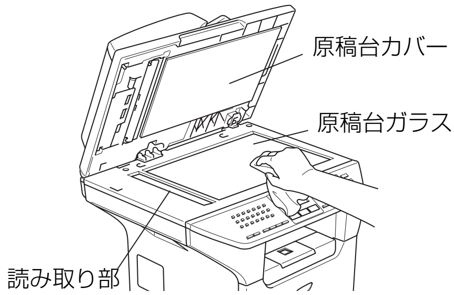


4　**記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す**

原稿台ガラスを清掃する

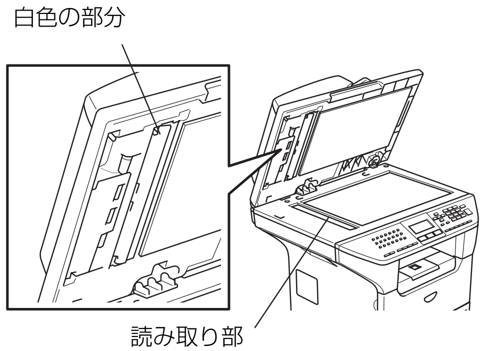
いつもきれいな画質を得るためにスキャナの清掃を行ってください。スキャナが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナを清掃してください。

1　**原稿台カバーを開く**



2　**柔らかい布にOAクリーナーを浸して、以下の部分をきれいに拭く**

- 原稿台ガラス
- 読み取り部
- 原稿台カバー（白色の部分　２箇所）



補足

無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご使用ください。

3　**原稿台カバーを閉じる**

注意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

スキャナウィンドウの清掃

注意

- ■内部のお手入れをするときは、必ず電源スイッチをOffにしてから行ってください。
- ■本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、下図のグレー部分には絶対に触れないでください。
- ■スキャナウィンドウはアルコールを浸した布で拭かないでください。

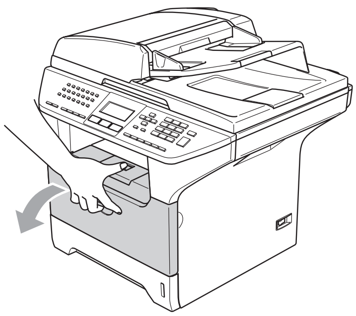
1 電源スイッチをOFFにする

2 電話機コードを取り外す

本製品の背面と壁側の電話機コンセント両方とも外してください。

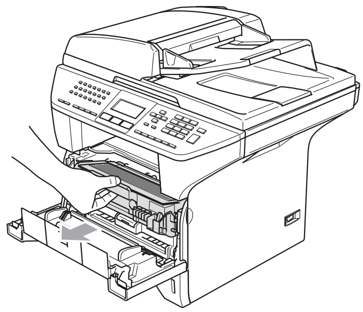
3 電源をコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

4 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く



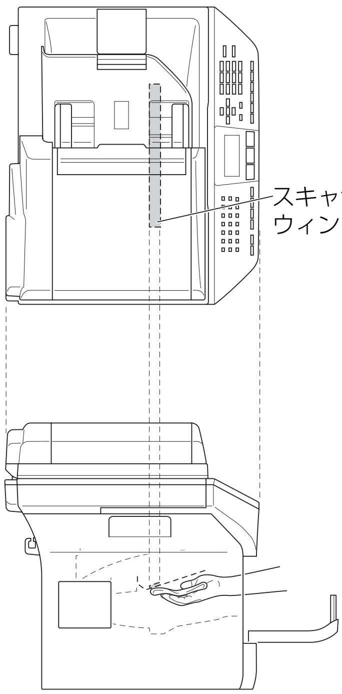
5 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

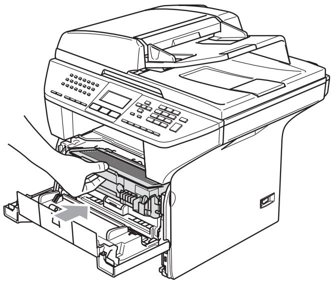


6 柔らかい乾いた布でスキャナウィンドウをきれいに拭く

スキャナウィンドウが汚れると、薄い印刷になります。



7 本製品にドラムユニットを取り付ける



8 フロントカバーを閉じる

9 接続していたケーブルを取り付ける

10 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品の接続する

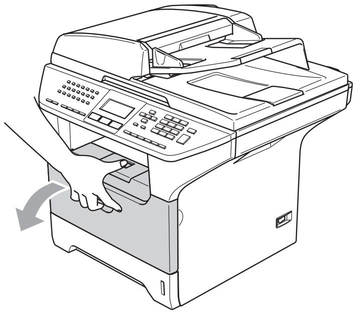
11 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

12 電源スイッチをONにする

コロナワイヤーの清掃

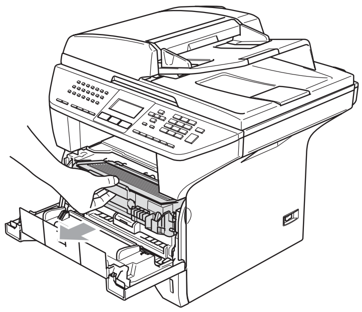
以下の操作でコロナワイヤーの清掃を行ってください。

1 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く



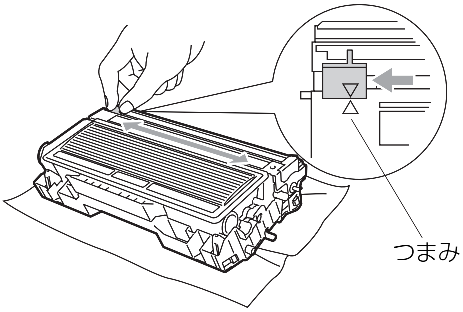
2 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



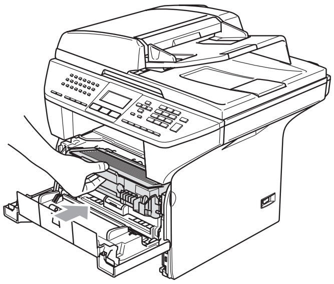
☞ 次ページへ続く

3 青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する



4 青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻す

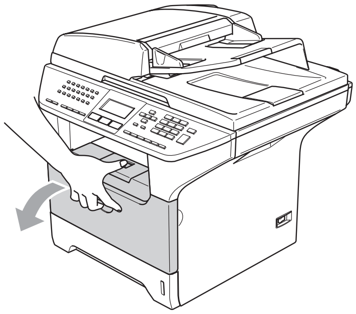
5 本製品にドラムユニットを取り付ける



6 フロントカバーを閉じる

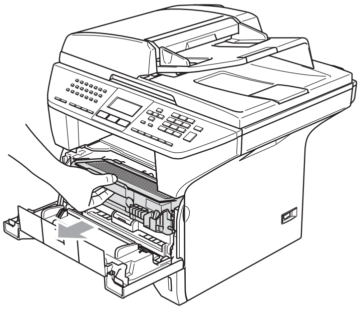
ドラムユニットの清掃

1 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く

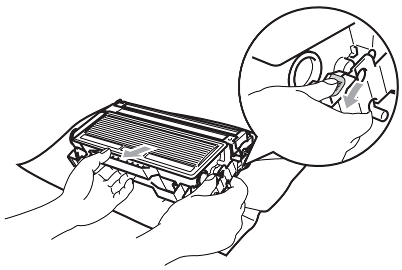


2 ドラムユニットを本製品から取り出す

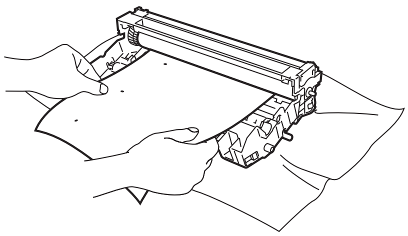
ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



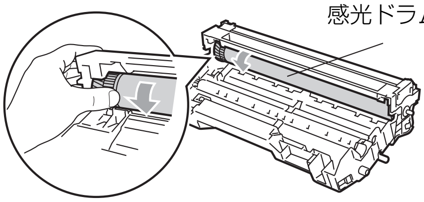
3 ドラムユニットの右側にあるロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す



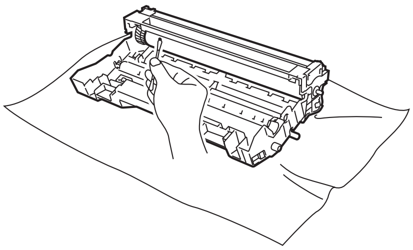
4 印刷結果の黒点・白点を目安にして問題の場所を探す



5 ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面に汚れがついている場所を手前にもってくる



6 感光ドラムの表面についた汚れを綿棒でふき取る



注意

■感光ドラムに傷をつけないよう注意してください。

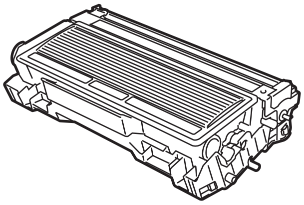
■ドラムが傷ついてる場合は新しいドラムユニットに交換してください。

《消耗品の交換》

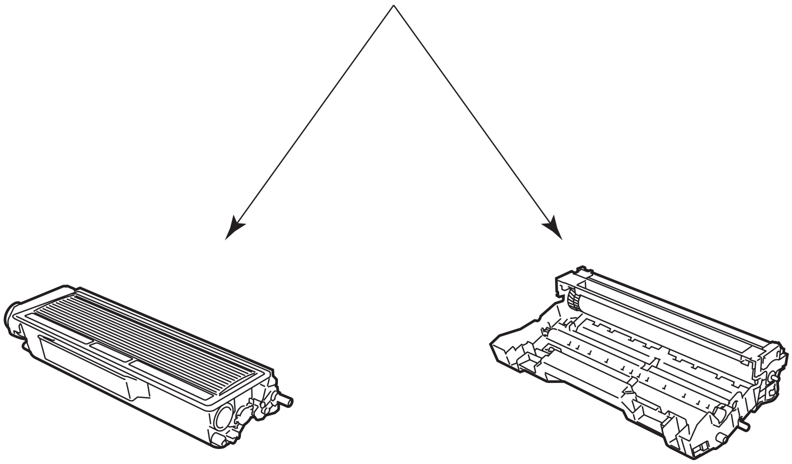
トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

本製品のトナーカートリッジとドラムユニットは、分離可能な一体型となっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった方のみを廃却し交換してください。



一体型トナーカートリッジ＋ドラムユニット



トナーカートリッジ（TN-35J/TN-37J）　　ドラムユニット（DR-31J）

分離のしかたについては、P.163「トナーカートリッジの交換」、またはP.166「ドラムユニットの交換」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話、FAX による注文も承っております。P.227を参照してください。

《消耗品の交換》

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの残量を検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
トナーが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰ ｷﾞﾚﾃﾞｽ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚﾃﾞｽ」のメッセージが表示されてから約100ページを印刷した頃が交換の目安です。（A4サイズ／印刷密度５％の場合）
トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは巻末のご注文シートをご利用ください。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

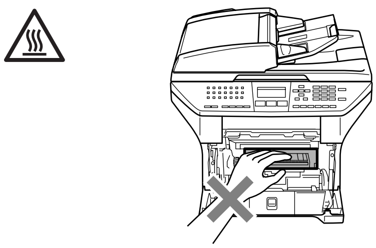
■トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：TN-37J）をご使用ください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

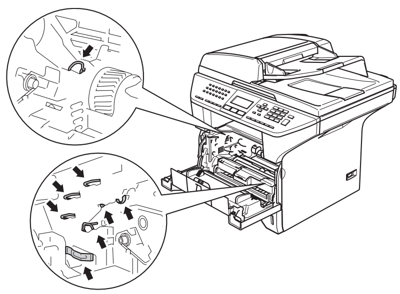
■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■本製品の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、下図のグレー部分には絶対に触れないでください。



■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。

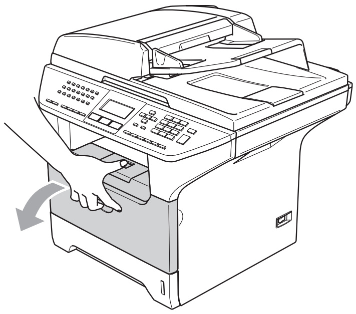


トナーカートリッジを交換する

警告

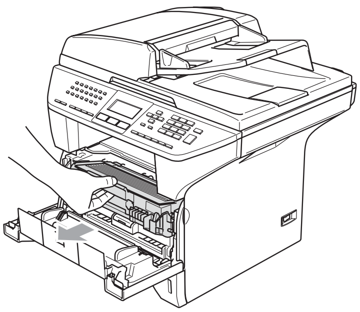
トナー（使用済みトナーを含む）またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

1 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く

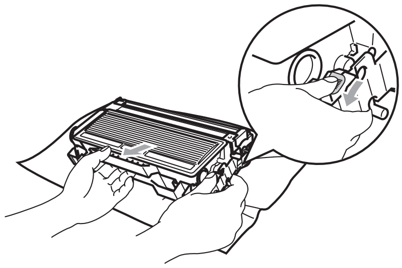


2 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

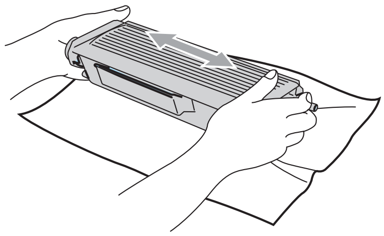


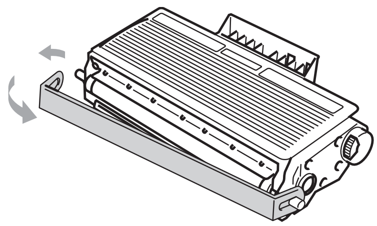
3 ドラムユニットの右側にあるロックレバーを押しながら、古いトナーカートリッジを取り出す



4 新しいトナーカートリッジを開封して取り出す

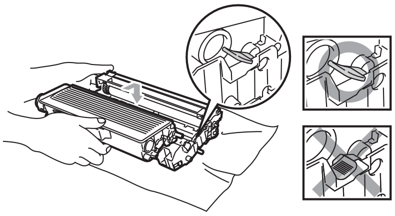
5 トナーカートリッジを左右に５、６回ゆっくりと振ってから、黄色の保護カバーを取り除く



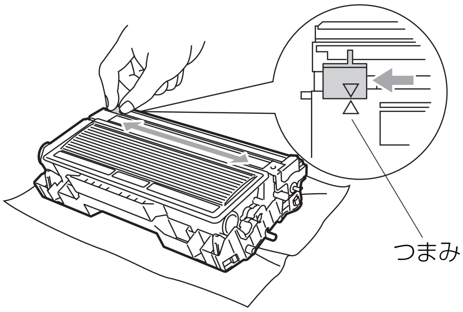


6 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、青色のロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

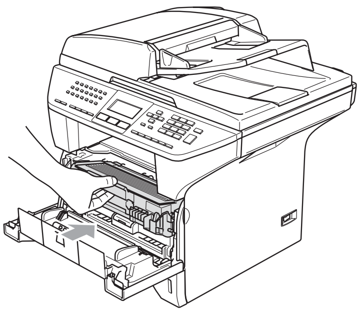


7 青色のつまみを左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する



8 青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻す

9 本製品にドラムユニットを取り付ける



10 フロントカバーを閉じる

《消耗品の交換》

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

注意

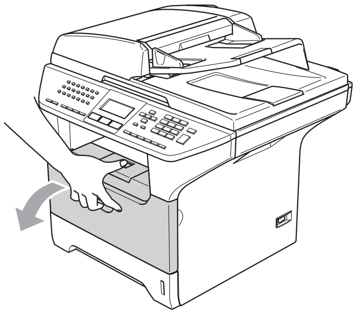
- ■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。
- ■ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-31J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- ■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
- ■ドラムユニットを交換した後は、本製品をきれいに清掃してください。
- ■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- ■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

補足

- ●液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
- ●「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
- ●ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。P.156を参照してください。

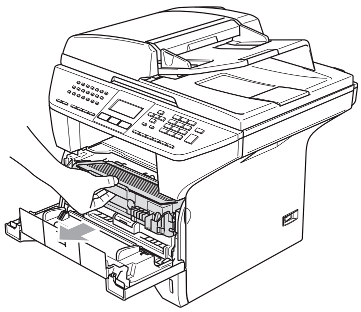
ドラムユニット交換のしかた

1 フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開く

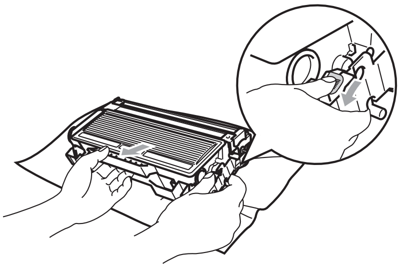


2 ドラムユニットを本製品から取り出す

ドラムユニットを新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。



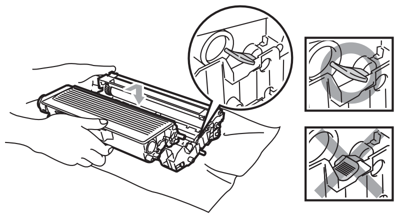
3 ドラムユニットの右側にあるロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出す



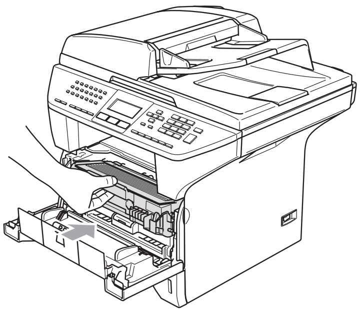
4 新しいドラムユニットを開封して取り出す

5 トナーカートリッジを、新しいドラムユニットに装着する

このとき、青いロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



6 本製品にドラムユニットを取り付ける



7 フロントカバーが開いていることを確認する

8 クリア/バック を押す

9 1 を押す

液晶ディスプレイに「ウケツケマシタ」と表示されます。

10 フロントカバーを閉じる

《定期交換部品の交換》

定期交換部品の交換

ディスプレイに以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

- PF　キットMP　コウカン
- PF　キット　#1　コウカン
- PF　キット　#2　コウカン
- ヒーター　コウカンジキ　デス
- レーザーユニット　コウカン

補足

- PFキットMPとは多目的トレイ用のローラホルダと分離パッドのキットです。
- PFキット#1/PFキット#2とは記録紙トレイ1および記録紙トレイ2用のローラホルダ、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- 定期交換部品の概算寿命は100,000枚です。残り寿命の確認は「消耗品の寿命を確認する」P.169 または「設定内容リストを印刷する」P.132 を参照してください。

製品情報

シリアル番号を確認する

本製品のシリアル番号を確認します。

1 メニュー 7 PQRS 1 を押す

2 シリアル番号を確認して 停止/終了 を押す

印刷枚数を確認する

本製品は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

1 メニュー 7 PQRS 2 ABC を押す

「ゴウケイ」「コピー」「プリンタ」「ファクス/リスト」のカウンタ値が表示されます。

```
72.ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾋｮｳｼﾞ

▲    ｺﾞｳｹｲ    :XXXXXX
▼    ｺﾋﾟｰ     :XXXXXX
```

2 ▲▼ で表示する項目を選択する

3 印刷枚数を確認して 停止/終了 を押す

消耗品の寿命を確認する

ドラムユニットの寿命を確認する

ドラムユニットの寿命は、以下の操作で確認できます。

1 メニュー 7 PQRS 3 DEF 1 を押す

液晶ディスプレイに2秒間、ドラムユニットの寿命が表示されます。

2 ドラムユニットの寿命を確認して 停止/終了 を押す

定着器の寿命を確認する

ディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。

1 メニュー 7 PQRS 3 DEF 2 ABC を押す

液晶ディスプレイに2秒間、定着器の寿命が表示されます。

2 定着器の寿命を確認して 停止/終了 を押す

レーザーユニットの寿命を確認する

1 メニュー 7 PQRS 3 DEF 3 DEF を押す

液晶ディスプレイに2秒間、レーザーユニットの寿命が表示されます。

2 レーザーユニットの寿命を確認して 停止/終了 を押す

PFキットMPの寿命を確認する

1 メニュー 7 PQRS 3 DEF 4 GHI を押す

液晶ディスプレイに2秒間、PFキットMPの寿命が表示されます。

2 PFキットMPの寿命を確認して 停止/終了 を押す

PFキット#1の寿命を確認する

1 メニュー 7 PQRS 3 DEF 5 JKL を押す

液晶ディスプレイに2秒間、PFキット#1の寿命が表示されます。

2 PFキット#1の寿命を確認して 停止/終了 を押す

PFキット#2の寿命を確認する（記録紙トレイ2がセットされているとき）

1 メニュー 7 PQRS 3 DEF 6 MNO を押す

液晶ディスプレイに2秒間、PFキット#2の寿命が表示されます。

2 PFキット#2の寿命を確認して 停止/終了 を押す

補足

- 表示される寿命はあくまで目安です。
- PFキットMPとは多目的トレイ用のローラホルダと分離パッドのキットです。
- PFキット#1/PFキット#2とは記録紙トレイ1および記録紙トレイ2用のローラホルダ、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- 定期交換部品の概算寿命は100,000枚です。

《設定機能の初期化》

初期状態に戻す

登録した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去したりすることができます。

注意

■初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。P.131 を参照してください。

■セキュリティ機能の設定ロックと機能ロックが On になっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。設定ロックと機能ロックをOffにしてください。P.69 を参照してください。

個人情報を消去する

注意

メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認の上消去してください。

次の内容を一度にすべて消去することができます。

- お客様の名前・電話番号 P.51 を参照してください。
- セキュリティ機能の設定ロックと機能ロックで設定したパスワードと設定内容 P.69 を参照してください。
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容 P.85 を参照してください。
- 送付書のコメント P.90 を参照してください。
- 一括に送信する相手先の内容 P.90 を参照してください。
- タイマー送信する相手の内容 P.95 を参照してください。
- リモート起動番号 P.100 を参照してください。
- 電話帳の内容 P.106 を参照してください。
- グループダイヤルの内容 P.111 を参照してください。
- 着信履歴の内容 P.114 を参照してください。
- ファクス転送先の内容と転送設定解除 P.118 を参照してください。
- メモリーの内容（受信データ） P.122 を参照してください。
- PC-FAX 受信データの未転送分（パソコンに転送したファクスのデータは消去されません） P.122 を参照してください。
- 暗証番号 P.124 を参照してください。
- 通信管理レポートの内容 P.132 を参照してください。
- 送信レポートの内容 P.131 を参照してください。

1 メニュー 0 8 TUV **を押す**

```
08.ｺｼﾞﾝｼﾞｮｳﾎｳ ｸﾘｱ
▲      1.ｹｯﾃｲ
▼      2.ｷｬﾝｾﾙ
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 1 **を押す**

2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。

機能設定をもとにもどす

本製品の以下の設定を一度に、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 メニュー 0 9 WXYZ **を押す**

```
09.ｷﾉｳｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ
▲      1.ｹｯﾃｲ
▼      2.ｷｬﾝｾﾙ
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

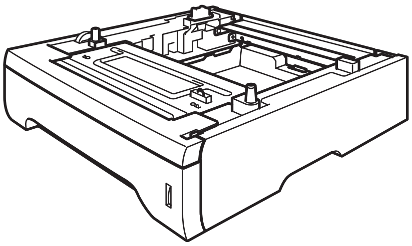
2 1 **を押す**

2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。

《オプション》

記録紙トレイ2（LT-5300）

記録紙トレイ2は最大250枚（80g/m^2）の記録紙をセットすることが出来ます。



本製品への記録紙トレイ2（LT-5300）の取り付け方法は記録紙トレイ2に付属の説明書をご覧ください。

《オプション》

メモリーを増設する

メモリー容量を増やすことが出来ます。本製品には32MBの標準メモリーと追加することが出来るスロットが1つあり、最大で544MBまで容量を増やすことが出来ます。増設することによって、本製品の性能が向上します。

（株）バッファローの場合

メモリー容量	メモリーボード
64MB	VN133-64MY
128MB	VN133-128MZ
256MB	VN133-256MY
512MB	VN133-512MY

使用できるメモリーボード

本製品に増設できるメモリーボードは次のとおりです。

タイプ	144ピンおよび64ビットの出力
CASレイテンシイ	2または3
クロック周波数	100MHz以上
容量	64MBから512MB
DRAMタイプ	SDRAM

メモリーボードを取り付ける

1 電源スイッチをOFFにする

2 電話機コードを取り外す

本製品の背面と壁側の電話機コンセント両方とも外してください。

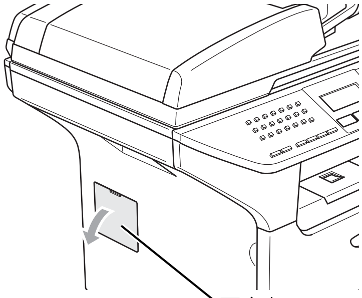
3 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

4 接続されているケーブルを取り外す

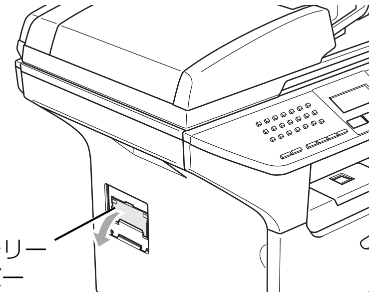
警告

メモリーボードの取り付け・取り外しのときは、電源スイッチがOFFになっていること、コンセントから電源コードが抜いてあることを確認してください。コンセントから電源コードを抜かずに取り付け・取り外しをすると感電する恐れがあります。

5 アクセスカバーを取り外す



6 メモリーカバーを取り外す



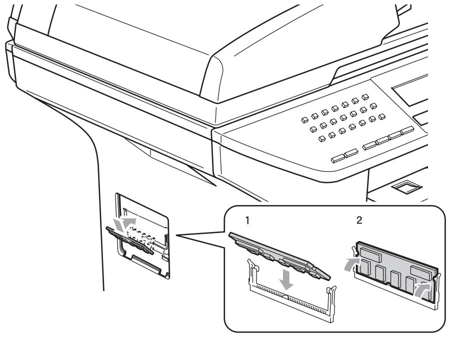
7 メモリーボードの両端を持つ

注意

- ■メモリーボードは、わずかな静電気でも内部が破損する恐れがありますので、必ず金属製の物に触れて静電気を除去してください。
- ■メモリーボードの表面には触れないようにしてください。

8 メモリーボードを取り付ける

両端をもったまま、メモリーボードの切り欠きをスロットの端子の凸部分を合わせるように差し込みます。
スロット両側にあるロックが開いていることを確認して、カチッと音がするまでメモリーボードを倒します。
スロット両側にあるロックがしっかりとはまっていることを確認してください。



補足

メモリーボードを取り外すときは、押さえているロックを開いてメモリーボードの両端を持ってまっすぐに引き抜いてください。

9 メモリーカバーを取り付ける

10 アクセスカバーを取り付ける

11 接続していたケーブルを取り付ける

12 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

13 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチをONにする

補足

本製品のメモリーサイズは、設定内容リストで確認できます。P.132 を参照してください。

《困ったときには》

困ったときには

こんなときには

本製品をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

それでも問題が解決しないときは

お客様相談窓口
（ブラザーコールセンター）**0120-143-410**へご連絡ください。

エラーメッセージ

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	本製品に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOffにして、もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度Onにしてみてください。
ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ "ｺﾏｯﾀﾄｷﾊ" ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	定着ユニットが高温になっています。 定着ユニットが低温になっています。	電源スイッチを Off にします。2～3秒後、もう一度電源スイッチをOnにして、そのまま約15分お待ちください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾌｭｰｻﾞｰｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾙｶ ﾂﾏｯﾀﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	フューザーカバーが完全に閉じていません。	バックカバー開け、フューザーカバーを閉め直してください。
	本製品の背面で記録紙がつまっています。	P.148 を参照してください。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	フロントカバーが完全に閉じていません。	フロントカバーを閉め直してください。
ｷﾛｸｴﾗｰ ｶｲﾌｸﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	ドラムユニットもしくはトナーカートリッジが高温になっています。	冷えるまで約20分お待ちください。
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ 1 ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイ１で記録紙がつまっています。	P.148 を参照してください。
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ 2 ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイ２で記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ MPﾄﾚｲ ﾉ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	多目的トレイで記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	本製品の背面で記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾞﾗﾑｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	本製品の内部で記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾘｮｳﾒﾝﾄﾚｲ ｦ ﾇｲﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	両面トレイで記録紙がつまっています。	
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ﾏﾁｶﾞｲ ﾀﾀﾞｼｲｻｲｽﾞﾉ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	記録紙サイズが間違っています。	正しいサイズの記録紙をセットしてください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ﾄﾚｲ 1 ﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイ１に記録紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていません。	記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください。
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ﾄﾚｲ 2 ﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイ２に記録紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていません。	
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ MPﾄﾚｲ ﾆ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	多目的トレイに記録紙がなくなった、または記録紙が正しくセットされていません。	
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF(自動原稿送り装置)に原稿がつまっています。	ADF(自動原稿送り装置)カバーを開け、原稿を取り除いて 停止 終了 を押してください。
ｼｮｷｶ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	本製品に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOffにします。もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度Onにしてみてください
ｽｷｬﾅｶﾞ ﾛｯｸｻﾚﾃｲﾏｽ ｹﾞﾝｺｳﾀﾞｲｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｽｷｬﾅﾛｯｸﾚﾊﾞｰｦ ｶｲｼﾞｮｼﾃｸﾀﾞｻｲ	スキャナのロックレバーが解除されていません。	スキャナのロックレバーを解除してください。かんたん設置ガイド「STEP1 本製品を確認する ＞ 4 スキャナロックを解除する」を参照してください。
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾅｶﾞｽｷﾞﾏｽ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	両面印刷時の原稿が長すぎます。	停止 終了 を押して、正しい原稿サイズでスキャンし直してください。P.211「原稿サイズ長さ」を参照してください。
ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾄﾘｱﾂｶｲｾﾂﾒｲｼｮ <ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ> ｦ ｺﾞﾗﾝｸﾀﾞｻｲ	スキャナに何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOffにします。もう一度、電源スイッチをOnにしてください。それでも表示されるときは、電源スイッチを数分間Offのままにした後、もう一度Onにしてみてください。
	本製品に何らかの異常が発生しました。	
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ	相手との通信が切断されました。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。 全ての送信で発生する。P.179 を参照してください。 特定の相手で発生する。P.75 を参照してください。
	相手がポーリングモードに設定していません。	相手先のポーリング設定を確認してください。
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録されていません。	短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルを登録してください。P.106、P.108 を参照してください。
ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ｱﾀﾗｼｲﾄﾅｰｦﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていません。	トナーカートリッジを装着し直してください。
	トナーがありません。	トナーカートリッジを交換してください。P.164 を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	原　　因	処　　置
ﾄﾅｰｶﾞ ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾀﾞｼﾃ ﾓｳｲﾁﾄﾞ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジが正しく装着されていません。	トナーカートリッジを装着し直してください。
ﾄﾞﾗﾑ ｶﾞ ﾖｺﾞﾚﾃｲﾏｽ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃ ﾄﾞﾗﾑｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃ ﾄﾞﾗﾑﾆﾂｲﾃｲﾙ ｺﾛﾅﾜｲﾔ ｦ ｿｳｼﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	コロナワイヤ（ドラムユニット）が汚れています。	コロナワイヤ（ドラムユニット）を掃除してください。P.159 を参照してください。
ﾄﾚｲ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ 1 ｦ ｲﾚﾅｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイ１が正しく装着されていません。	記録紙トレイ１を装着し直してください。
ﾄﾚｲ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ 2 ｦ ｲﾚﾅｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイ２が正しく装着されていません。	記録紙トレイ２を装着し直してください。
ﾄﾚｲｶﾞ ｵｵｽｷﾞﾏｽ ｵﾌﾟｼｮﾝﾄﾚｲﾊ 1ﾂﾀﾞｹ ﾄﾘﾂｹﾃﾞｷﾏｽ	オプションの記録紙トレイを２つ以上装着しています。	オプションの記録紙トレイは１つだけしか装着できません。余分なトレイをはずしてください。
ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ	相手先が話中か、応答がありません。	少し時間を置いて、もう一度送信してください。 すべての通信で発生する。P.179 を参照してください。 特定の相手で発生する。P.75 を参照してください。
ﾋｰﾀｰ ｺｳｶﾝｼﾞｷ ﾃﾞｽ	定着器の交換時期です。	お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120－143－410へご連絡ください。
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰ ｷﾞﾚﾃﾞｽ	トナーの残りが少なくなっています。	新しいトナーカートリッジを用意しておいてください。
ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ	ドラムユニットの交換時期です。	印刷品質が目立って低下したらドラムユニットを交換してください。
	ドラムユニットを交換後、ドラムカウンタがリセットされていません。	フロントカバーを開けて クリア/バック を押した後、ア 1 を押してリセットしてください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	メモリーがいっぱいです。	メモリーに蓄積してあるデータを消去してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** 停止 終了 を押してからもう一度試してみてください。原稿が複数枚の場合は、スタート を押して読み込まれた分だけを送信もしくはコピーしてください。 **プリント中のとき** 解像度を下げてからもう一度試してみてください。
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾊﾞｯｸｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃ ﾘｮｳﾒﾝﾄﾚｲｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	両面トレイが正しく装着されていません。	両面トレイを装着し直してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾚｰｻﾞｰﾕﾆｯﾄ ｺｳｶﾝ	レーザーユニットの交換時期です。	お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120－143－410へご連絡ください。
PF ｷｯﾄMP ｺｳｶﾝ	MP用のPFキットの交換時期です。	お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120－143－410へご連絡ください。
PF ｷｯﾄ1 ｺｳｶﾝ	記録紙トレイ１用のPFキットの交換時期です。	お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120－143－410へご連絡ください。
PF ｷｯﾄ2 ｺｳｶﾝ	記録紙トレイ２用のPFキットの交換時期です。	お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120－143－410へご連絡ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）のQ&A をチェックしてください。それでも異常があるときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へご連絡ください。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.11 を参照してください。
		本製品の設定が正しくされていますか。	本製品の設定内容を確認してください。P.73 を参照してください。
		NTTのナンバー･ディスプレイの契約をしていますか。	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。P.73 を参照してください。
ISDN回線※	電話を受けても本製品のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、呼び出し続けている）	電話回線が正しく接続されていますか。	確実に本製品に接続してください。かんたん設置ガイド「STEP1 本製品を確認する ＞ 5 電話機コードを接続する」を参照してください。
		本製品の電源スイッチが ON になっていますか。	電源スイッチが ON になっているときは、電源コードを確認してください。
		ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i･ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
	1～2回おきにしか本製品が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

※ ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ISDN回線※	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	ダイヤルイン番号またはi・ナンバー情報のアナログポートに本製品を接続している場合 • ダイヤルイン番号またはi・ナンバー情報を登録してください。 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC設定は「HLC設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
		相手側ターミナルアダプタの設定を確認してください。	相手もISDN回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認してください。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へご連絡ください。
	NTTのナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。
ADSL環境	ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。 ブラザー推奨品：NTT東日本/西日本製
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。P.11 を参照してください。 ラインセパレータを使用すると、改善する場合があります。ラインセパレータは、パソコンショップでご購入ください。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。		

※ ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ADSL環境	特定の相手との通信ができない。	IPフォンを使用した通信ではありませんか。 IP網を使用した専用線ではありませんか。	ご利用されているプロバイダへファクス通信が保障されていることを確認してください。 スーパーG3の場合で、通信品質が保証されている場合は、安心通信モードを「ヒョウジュン」に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。
PBX	着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。	着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いませんか。	本製品をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。P.75 を参照してください。
ファクス／コピー	原稿が送り込まれていかない。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。P.37 を参照してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。P.79、P.137 を参照してください。
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.150 を参照してください。
	原稿が斜めになってしまう。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.150 を参照してください。
	スタート を押しても送信または受信しない。	電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。 かんたん設置ガイド「STEP1 本製品を確認する ＞ 5 電話機コードを接続する」を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直してください。
		本製品に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本製品に接続されている電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認してください。P.48 を参照してください。
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認してください。

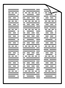
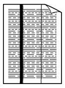
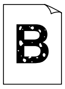
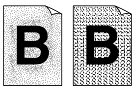
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。 P.157 を参照してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信してください。 P.86 を参照してください。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容はNTTの166番にお尋ねください。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.11 を参照してください。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の縞が入っているという連絡があった。	本製品のスキャナが汚れているか、または受信側の印字ヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナの清掃を行って送信してください。 P.157 を参照してください。 それでも現象が変わらなければ、相手のファクシミリの状態を確認してください。
	原稿台ガラスからファクスが複数枚送れない。	リアルタイム送信の設定が「On」になっていませんか。	リアルタイム送信の設定を「Off」にしてください。P.91 を参照してください。
	リモート受信できない。	リモート受信の設定は「On」になっていますか。	リモート受信の設定を「On」にしてください。P.100 を参照してください。
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。P.100 を参照してください。
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。 P.96 、P.123 を参照してください。
	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットしてください。 P.41 を参照してください。
		記録紙がつまっていませんか。	本製品内部を確認してください。P.148 を参照してください。
		記録紙がなくなっていませんか。	記録紙トレイを確認してください。 P.41 を参照してください。
		フロントカバーまたはバックカバーは確実に閉まっていますか。	もう一度閉め直してください。
	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。 P.157 を参照してください。

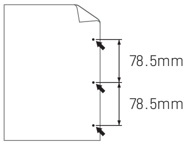
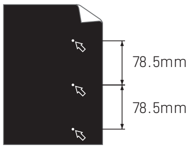
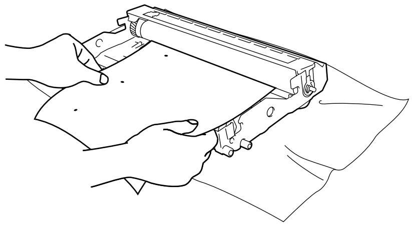
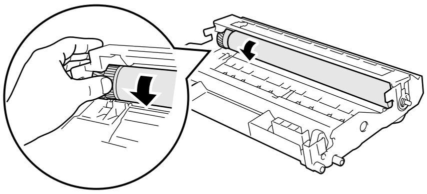
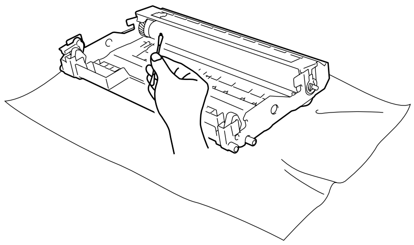
ファクス／コピー

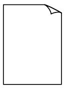
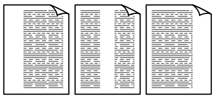
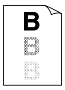
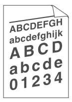
こんなときは	ここをチェック	対処方法
垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	コピーをしてみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。	正常なときは相手側のファクススキャナが汚れている可能性があります。相手側のファクシミリの状態を確認してください。
本製品が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本製品の「ｼﾝｾｲ ｼﾞｭｼﾝ」が「On」に設定されていませんか。	本製品の「ｼﾝｾｲ ｼﾞｭｼﾝ」が「On」に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続されている電話機をお使の場合は、本製品の 停止 終了 ボタンを押します。「ｼﾝｾｲ ｼﾞｭｼﾝ」を「Off」にしてこの問題が解決できないか試してください。P.99 を参照してください。
水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	回線状況が悪いと起こります。	相手にファクスを再送するように依頼してください。
受信したファクスでページが分割されて2 ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小が「Off」のときに、A4 サイズより長いファクスを受信していませんか。	自動縮小を「On」にしてください。 P.97 を参照してください。
ダイヤルできない。	電話機コード、電源コードが正しく接続されていますか。	電話機コード、電源コードの接続を正しく接続してください。
	回線種別の設定は正しいですか。	回線種別の設定を確認してください。 P.49 を参照してください。
受信時に本製品が応答しない。	本製品が正しい受信モードに設定されていますか。	適切な受信モードに設定してください。 P.52 を参照してください。
	オンフック を押して発信音はきこえますか。	電話機コード、電源コードの接続を確認してください。
	可能であれば、本製品にダイヤルしてみてください。	本製品を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
本製品に接続されている電話機からダイヤル音が聞こえない。	本製品と接続されている電話機と本製品の電話機コードは正しく接続されていますか。	本製品に接続されている電話機が本製品の外付電話（EXT.）端子に接続されていることを確認してください。
特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの設定が「ｺｳｿｸ」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」または「ｱﾝｼﾝ」に設定してください。P.76 を参照してください。
送信確認レポートで「ｹｯｶ NG」と印刷される。	回線状況が悪いと起こります。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみてください。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
相手先で受信したファクスが鮮明でない。	本製品のスキャナが汚れていませんか。	スキャナを清掃してください。 P.157 を参照してください。
	画質の設定は適切ですか。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信してください。P.86 を参照してください。

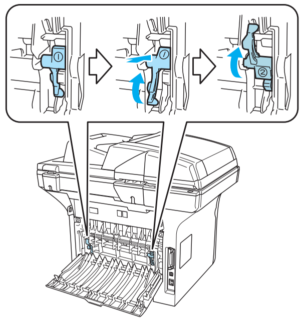
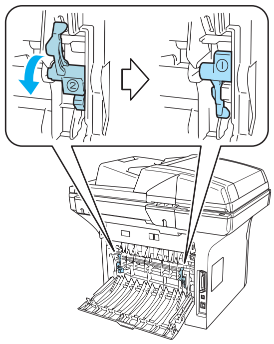
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	相手先で受信したファクスに縦の縞が現れる。	本製品のスキャナが汚れていませんか。	スキャナを清掃してください。P.157 を参照してください。
		相手側のファクシミリのプリンタのヘッドが汚れていませんか。	相手側のファクシミリの状態を確認してください。コピーをとって、本製品が問題の原因ではないことを確認してください。
	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードの設定が「コウソク」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定してください。P.76 を参照してください。
	IP網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードの設定が「コウソク」になっていませんか。	安心通信モードの設定を「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定してください。P.76 を参照してください。 送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けて送信してください。
	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	自動切替モードは着信がファクスでないことが分かると、本製品に接続されている電話の呼び出し音を鳴らします。	本製品に接続されている電話機で応答してください。
	本製品がファクスをリモート受信できない。	リモート起動番号を正しく入力しましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。P.100 を参照してください。
	コピーに縦の縞が現れる。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）が汚れていませんか。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。P.157 を参照してください。
	コピーをしたとき、原稿が切れて出力される。	JIS B5 よりも小さい記録紙をセットしていませんか。	JIS B5よりも小さい記録紙をセットした場合、コピーの出力サイズは、すべてはがきサイズになります。お好みに合わせて倍率を調節してください。P.138 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジを交換してください。 P.163 を参照してください。
	印刷の質が悪い。		
	本製品が印刷をしない。	本製品の電源スイッチが ON になっていますか。	電源スイッチがONになっているときは、電源コードを確認してください。
		トナーカートリッジとドラムユニットは正しく取り付けてありますか。	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。 かんたん設置ガイド「STEP1 本製品を確認する ＞ 2 ドラムユニットを取り付ける」を参照してください。
		インターフェースケーブルが正しく取り付けてありますか。	インターフェースケーブルを正しく接続してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
	本製品が印刷をしない。	液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	P.175 を参照してください。
	本製品に給紙できない。	液晶ディスプレイに「ｷﾛｸｼヲ ｵｸﾚﾏｾﾝ」と表示されていませんか。表示されている場合、記録紙トレイの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。	記録紙がないときは、記録紙トレイに記録紙を補給してください。記録紙トレイに記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認してください。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにしてください。記録紙を取り出し、裏返して、記録紙トレイに戻すとまっすぐにできます。記録紙トレイの記録紙の枚数を減らしてもう一度試してください。
	使用できる記録紙とサイズが知りたい。	普通紙、OHP フィルムなどを使用できます。P.37 を参照してください。	
	つまった紙の除去方法が知りたい。	P.148 を参照してください。	
	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストの調整が濃すぎるか薄すぎていませんか。	コントラストを設定して印刷条件を調整してください。お買い上げ時は中央位置に設定されています。P.146 を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
	印刷結果がかすれる。 	トナー節約モードが「On」になっていませんか。	トナー節約モードを「Off」に設定してください。また、湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。 P.67 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷されたページに白い線が現れる。	本製品のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、この問題を解決できる場合があります。P.158 を参照してください。それでも白い線が現れたり、印刷結果が薄く、液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ　ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.166 を参照してください。
	印刷されたページが汚れていたり、垂直の線が現れる。	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	本製品の内部とドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。コロナワイヤーの青いつまみが元の位置にあることを確認します。P.160 を参照してください。清掃後も黒い線やトナーの汚れが現れ、液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ　ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.166 を参照してください。スキャナ（読み取り部）の清掃を行うと解決できる場合があります。P.157 を参照してください。
	印刷されたページの黒い文字やグラフィックス領域に白い部分が現れる。	設定した記録紙をセットしていますか。	設定に合った記録紙を使用してください。P.63 を参照してください。表面が粗い場合や記録紙が厚い場合、この問題が発生することがあります。このような原因がないのに白い点が現れ、液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ　ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.166 を参照してください。
	印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。	本製品のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	スキャナウィンドウの清掃をしてください。P.158 を参照してください。それでもトナーが飛び散り、液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ　ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.166 を参照してください。
		推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。   	感光ドラムが汚れていませんか。	数ページ印刷すると、この問題が解決されることがあります。数ページ印刷しても解決されない場合は、汚れが感光ドラムに付着していることがあります。以下の手順にしたがってドラムを清掃してください。 ①印刷結果の黒点・白点を目安にして問題の場所を探します。  ②ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面に汚れがついている場所を手前にもってきます。  ③感光ドラムの表面についた汚れを綿棒でふき取ります。  【ご注意】 • 感光ドラムに傷を付けないよう注意してください。カッターやボールペンなど先のとがったものは使用しないでください。 • ドラムが傷ついている場合は新しいドラムユニットに交換してください。P.166 を参照してください。
	ページ全体が黒く印刷される。 	ドラムユニットのコロナワイヤーが汚れていませんか。	コロナワイヤーを清掃してください。P.159 を参照してください。また、感熱紙はこの問題の原因になるので使用しないでください。清掃後も印刷ページが黒くなり、液晶ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.166 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	ページに何も印刷されない。 	液晶ディスプレイに「トナーガ アリマセン」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。P.163 を参照してください。
		スキャナウィンドウに、裂けた紙片が残っていませんか。	スキャナウィンドウに、裂けた紙片が残っていないことを確認してください。P.158 を参照してください。
	印刷されたページの中心やどちらかの端に汚れが現れる。 	本製品を平らなところに設置していますか。	本製品が平らな面に設置されていることを確認してください。トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを取り外します。トナーカートリッジとドラムユニットを左右にゆっくりと振り、本製品に取り付けてください。
		本製品のスキャナウィンドウが汚れていませんか。	スキャナウィンドウを柔らかいきれいな布で拭き取ると、汚れたページの問題を解決できることがあります。P.158 を参照してください。清掃後も汚れたページが発生し、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.166 を参照してください。湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になることがあります。
	背景がグレイになる。  	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。本製品が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.163 、P.166 を参照してください。
	ゴーストイメージが印刷されたページに現れる。  	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。粗い表面や厚い記録紙が原因になることがあります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P.163 、P.166 を参照してください。
	斜めに印刷される。  	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。また、記録紙ガイドがセットした記録紙に正しく合わされているか確認してください。P.41 を参照してください。
	カールしたり波打って印刷される。  	推奨している記録紙をセットしていますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。高温・高湿の場所に保管されていた記録紙を使用すると、カールしたり波打って印刷されます。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷された封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される。 	バックカバー内のレバー位置を確認してください。	バックカバーを開け、下記の手順通りに左右の青色のレバーを押し上げます。 • 数字①の部分を押すと、レバー部分が前方に出ます。 • そのレバーを完全に止まるまで押し上げます。（数字②の部分が見える状態になります。） バックカバーを閉じて、印刷データをプリンタに送ります。  【ご注意】 印刷が終了したら、バックカバーを開け、青色のレバーを元に位置に戻してください。（数字①の部分が見える状態になります。）
	印刷されたページが定着不良になる。 	バックカバー内のレバー位置を確認してください。	バックカバーを開け、左右の青色のレバーが完全に下がっているか確認してください。青色のレバーがあがっている場合は、レバーを完全に止まるまで下げてください。 
スキャナ	スキャン中にTWAIN エラーが表示される。	Brother TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。	Presto! PageManager®で［ファイル］－［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	Windows®		
	「LPT1：への書き込みエラー」か「BRMFC：への書き込みエラー」というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源スイッチはONになっていますか。	電源スイッチがONになっているときは、電源コードを確認してください。
	BRMFC： BRUSB： USBXXX：への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイに「トナーギレ」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。 P.163 を参照してください。
	ネットワークスキャナ機能が使えない。	ファイアーウォールによる問題が考えられます。	詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。
	パソコンで本製品が認識されない。		
	Macintosh®		
	本製品がセレクタに表示されない。	本製品の電源スイッチはONになっていますか。	電源スイッチがONになっているときは、電源コードを確認してください。
		インターフェースケーブルが正しく接続されていますか。	インターフェースケーブルを正しく接続してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
		デバイスセレクターが正しく設定されていますか。	デバイスセレクターを再度、設定してください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されているMacintosh®のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされているか、セレクタで選択されているかを確認してください。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。また、セレクタを選択してください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
	Windows®またはMacintosh®		
	「MFC接続エラー」か「MFCはビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	インターフェースケーブルをパソコンに直接接続していますか。	インターフェースケーブルは他の周辺機器（Zipドライブ、外付CD-ROMドライブ、スイッチボックス等）を経由して接続しないでください。
		エラーメッセージを表示していませんか。	原因となりそうな領域をチェックしてください。（win.iniファイルのLoad=、Run＝コマンド行とスタートアップグループなど）
		パラレルポートに接続して使用する他のデバイスドライバがパソコン起動時に自動で実行する状態になっていませんか。	パソコンの製造元に、パソコンのBIOSのパラレルポート設定が、双方向通信機器に対応しているか確認してください。
	最初の数ページは正常に印刷するが、その後のページで文字が乱れる。	インターフェースケーブルが正しく接続されていますか。	プリンタの入力バッファがいっぱいになっているという信号をパソコンが認識していません。 インターフェースケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	文書のすべてのページが印刷されない。または、「メモリーガイッパイデス」というエラーメッセージが表示される。	画像が多かったり文章が複雑で、データ容量が重すぎていませんか。	文書を簡単にしてもう一度印刷してください。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らしてください。
	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差してください。
	本製品に接続している電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話環境が影響している可能性があります。	受話器を上げて発信音（ツー音）を確認してから、ダイヤルしてください。

Memo

8章

付　録

文字入力をする

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
ア 1	アイウエオァィゥェォ1
カ 2 ABC	カキクケコＡＢＣ2
サ 3 DEF	サシスセソＤＥＦ3
タ 4 GHI	タチツテトッ ＧＨＩ4
ナ 5 JKL	ナニヌネノＪＫＬ5
ハ 6 MNO	ハヒフヘホＭＮＯ6
マ 7 PQRS	マミムメモＰＱＲＳ7
ヤ 8 TUV	ヤユヨャュョ ＴＵＶ8
ラ 9 WXYZ	ラリルレロＷＸＹＺ9
ワヲ゛゜ 0	ワヲン゛゜ー0
記号1 ＊ トーン	(スペース) ！"＃＄％&'（）＊＋，－．／€
記号2 #	：；＜＝＞？＠ ［］＾＿

文字の入れ方（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1 ～ 0 、＊、# を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズ を押す ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「p」で表示されます。発信元登録（メニュー.0.3）では入力できません。
文字を削除する	クリア/バック を押す • カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の１文字を削除する • カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する
文字を変更する	◀ を押してカーソルを戻し、文字を入力する（上書きされます）
スペース（空白）を入れる	▶ を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは ▶（2 回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊ または # ）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶ を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OK を押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
3 DEF を3回押す	ス
▶ を1回押す	ス＿
3 DEF を3回押す	スス
0 を4回押す	スス゛
2 ABC を2回押す	スス゛キ
▶ を2回押す	スス゛キ　＿
2 ABC を4回押す	スス゛キ　ケ
1 を2回押す	スス゛キ　ケイ
2 ABC を5回押す	スス゛キ　ケイコ

バックアップ用バッテリのリサイクルについて

- 本製品にはニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれているバッテリを取り外してください。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。貴重な資源を守るために廃棄される前に取り外してリサイクルにご協力ください。

バックアップ用バッテリの取り外し方

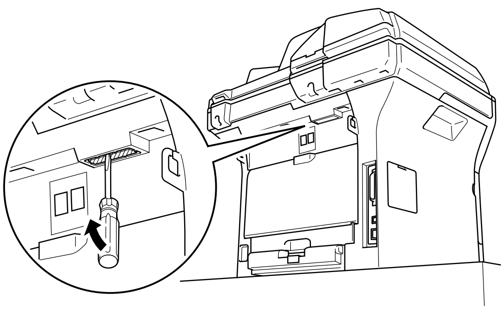
注意

リサイクル時のご注意

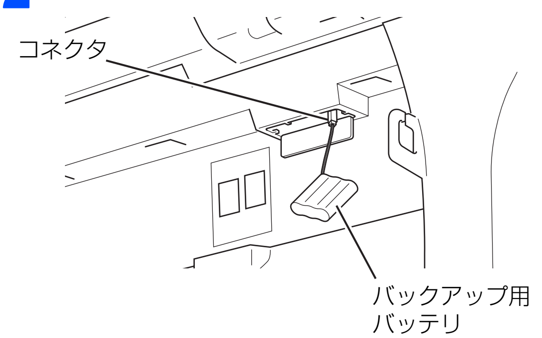
- コード先端をテープなどで絶縁して、ショートしないようにしてください。
- 外装カバー（皮膜・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池は分解しないでください。

Ni-MH

1 **バッテリの入っている溝にマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に倒してバッテリカバーのツメを折り、カバーを開ける**



2 **バッテリのコネクタを取り外す**



補足

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 有限責任中間法人JBRC（旧小形二次電池再資源化推進センター）
  （電話：03-6403-5673）
  （ホームページ：http://www.jbrc.com）
- 財団法人 電池工業会
  （電話：03-3434-0261）
  （ホームページ：http://www.baj.or.jp）
- ブラザー工業（株）環境推進部 環境推進グループ
  （電話：052-824-2407）

事務所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所 情報機器事業部
  〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-8
  （電話：03-3274-6911）
- ブラザー販売（株）関西事業所 情報機器事業部
  〒550-0012　大阪府大阪市西区立売堀4-4-2
  （電話：06-6543-9120）
- ブラザー工業（株）環境推進部 環境推進グループ
  （電話：052-824-2407）
- 有限責任中間法人JBRC（旧小形二次電池再資源化推進センター）
  （電話：03-6403-5673）
  （ホームページ：http://www.jbrc.com）

機能一覧

初期設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
0．ショキ　セッテイ	1．ジュシン モード	―	FAX=ファクスセンヨウ F/T=ジドウキリカエ ルス=ソトヅケルスデン TEL=デンワ	受信モードを設定します。	P.56
	2．トケイ セット	―	―	現在の日付・時刻を設定します。	P.50
	3．ハッシンモト トウロク	―	ファクス デンワ ナマエ	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	P.51
	4．カイセン シュベツ　セッテイ	―	プッシュ　カイセン ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS ジドウ　セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	P.49
	5．ダイヤルトーン　セッテイ	―	ケンチ　スル ケンチ　シナイ	ダイヤルトーン検知を設定します。	P.75
	6．トクベツカイセン　タイオウ	―	イッパン ISDN PBX	回線種別を設定します。	P.75
	7．ナンバー　ディスプレイ	―	On Off ソトヅケデンワ ユウセン	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	P.73
	8．コジンジョウホウ　クリア	1．ケッテイ	1．ハイ 2．イイエ	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	P.170
		2．キャンセル		設定メニューに戻ります。	
	9．キノウセッテイ　リセット	1．ケッテイ	1．ハイ 2．イイエ	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P.170
		2．キャンセル	―	設定メニューに戻ります。	
	0．ヒョウジ ゲンゴ (Local Language)	―	ニホンゴ English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	P.34

＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1. キホン セッテイ	1. モード タイマー	ー	0 ビョウ 30 ビョウ 1 プン 2 フン 5 フン Off	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「Off」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	P.47
	2. キロクシ タイプ	1. キロクシ MP トレイ	フツウシ フツウシ（アツメ） アツガミ（ハガキ） チョウアツガミ OHPフィルム サイセイシ	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	P.63
		2. キロクシ トレイ #1			
		3. キロクシ トレイ #2※	フツウシ フツウシ（アツメ） アツガミ（ハガキ） チョウアツガミ サイセイシ		
	3. キロクシ サイズ	1. キロクシ MP トレイ	A4 B5 A5 A6 ハガキ USレター フリー	多目的トレイにセットする記録紙のサイズを設定します。	P.63
		2. キロクシ トレイ #1	A4 B5 A5 A6 ハガキ USレター	記録紙トレイ１（標準装着）にセットする記録紙のサイズを設定します。	
		3. キロクシ トレイ #2※	A4 B5 A5 USレター	記録紙トレイ２（オプション）にセットする記録紙のサイズを設定します。	
	4. オンリョウ	1. チャクシン オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	着信音量を設定します。	P.66
		2. ボタンカクニン オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	P.66

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	4. オンリョウ	3. スピーカー オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	スピーカーの音量を設定します。	P.67
	5. ショウエネ モード	1. トナー セーブ	On Off	トナーの使用量をセーブします。「On」に設定すると、印字結果が薄くなります。	P.67
		2. スリープ モード	00 : 05 : 99 (Off)	スリープ状態になるまでの時間を0～99分の間で設定します。消費電力を節約することができます。	P.68
	6. トレイ　センタク	1. コピー	キロクシ　トレイ #1　ノミ キロクシ　トレイ #2　ノミ※ MPトレイ　ノミ MPトレイ ＞ トレイ#1 MP　＞　#1 ＞　#2※ トレイ#1 ＞　MPトレイ #1　＞　#2 ＞　MP※	コピーするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.64
		2. ファクス	キロクシ　トレイ #1　ノミ キロクシ　トレイ #2　ノミ※ MPトレイ　ノミ MPトレイ ＞　トレイ#1 MP　＞　#1 ＞　#2※ トレイ#1 ＞ MPトレイ #1　＞　#2 ＞　MP※	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.65

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1. キホン　セッテイ	6. トレイ　センタク	3. プリンタ	キロクシ　トレイ #1　ノミ キロクシ　トレイ #2　ノミ※ MPトレイ　ノミ MPトレイ > トレイ#1 MP　>　#1 >　#2※ トレイ#1 >　MPトレイ #1　>　#2 >　MP※	プリンタ印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	P.65
	7. ガメンノ　コントラスト	−	−□□■□□+	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	P.68
	8. セキュリティ	1. セッテイロック	−	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	P.69
		2. キノウロック	−	ユーザーごとに利用できる機能を制限します。	

※：オプションの記録紙トレイ2（LT-5300）を増設したときにメニューが表示されます。

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ カイスウ	0 : 4 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～10回の間で設定します。	P.57
		2. サイ ヨビダシ カイスウ	08 15 20	「自動切替モード」のとき、本製品が着信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	P.57
		3. シンセツ ジュシン	On Off	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品のを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	P.99
		4. リモート ジュシン	On (#51) Off	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	P.100
		5. ジドウ シュクショウ	On Off	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P.97
		6. インサツ ノウド	−□□■□□+	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	P.97
		7. ポーリング ジュシン	ヒョウジュン キミツ タイマー	ポーリング受信を設定します。	P.101
		8. ジュシン スタンプ	On Off	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	P.103
		9. リヨウメン インサツ (MFC-8870DWのみ)	On Off	両面印刷を設定します。	P.103

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	2. ソウシン セッテイ	1. ゲンコウノウド	ジドウ ウスク コク	原稿に合わせて濃度を設定します。	P.87
		2. ファクスガシツ	ヒョウジュン ファイン スーパーファイン シャシン	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	P.86
		3. タイマーソウシン	シテイジコク= 00：00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	P.95
		4. トリマトメソウシン	On Off	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	P.96
		5. リアルタイム ソウシン	コンカイノミ： On コンカイノミ： Off On Off	メモリーを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	P.91
		6. ポーリングソウシン	ヒョウジュン キミツ	ポーリング送信を設定します。	P.92
		7.ソウフショ	コンカイノミ： On コンカイノミ： Off On Off プリント　サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	P.88
		8.ソウフショコメント	ー	送付書のコメントを作成します。	P.90
		9. カイガイソウシン　モード	On Off	海外にファクスを送るときに設定します。	P.94
	3. デンワチョウトウロク	1. デンワチョウ/ワンタッチ	ー	ワンタッチボタン1～40にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.106
		2. デンワチョウ/タンシュク	ー	3桁の短縮番号（001～300）にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.108
		3. デンワチョウ/グループ	ー	複数の相手をグループ（1～20）として登録します。	P.111

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	4. レポート　セッテイ	1. ソウシン レポート	On On +イメージ Off Off +イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	P.133
		2. ツウシン カンリ　カンカク	レポートシュツリョク　シナイ 50　ケンゴト 6　ジカンゴト 12　ジカンゴト 24　ジカンゴト 2　カ　ゴト 7　カ　ゴト	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	P.133
	5. オウヨウ　キノウ	1. テンソウ/メモリージュシン	Off ファクス　テンソウ デンワ　ヨビダシ メモリー　ジュシン PC ファクス ジュシン	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。	P.122
		2. アンショウ バンゴウ	アンショウバンゴウ:－－－＊	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	P.124
		3. ファクス シュツリョク	ー	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	P.123
	6. ツウシン　マチ　カクニン	ー	ー	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	P.96
	0. アンシン　ツウシン　モード	ー	コウソク ヒョウジュン アンシン	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	P.76

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
3. コピー	1. コピー ガシツ	―	テキスト シャシン ジドウ	画質を調整します。	P.145
	2. FB テキスト ガシツ	―	600dpi 1200x600dpi	スキャナガラス使用、100%等倍、テキストモードの三つの条件がそろったときのみ 1200 x 600dpi モードが使えます。	P.145
	3. コントラスト	―	−□□■□□+	コントラストを調整します。	P.146

プリンタ機能

本製品のプリンタ機能については、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
4. プリンタ	1. エミュレーション	―	ジドウ HP LaserJet BR-Script 3 EPSON FX-850	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。
	2. プリンタ オプション	1. フォント リスト	―	内蔵フォントの種類を印刷します。
		2. プリンタ セッテイ	―	プリンタの設定を印刷します。
	3. プリンタ リセット	1. ケッテイ	―	プリンタの設定を初期状態に戻します。
		2. キャンセル		

レポート印刷機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
5. レポート　インサツ	1. ソウシン　レポート	1. ヒョウジ	−	送信した最新の最大200通分の結果を表示します。	P.131
		2. インサツ	−	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	P.131
	2. キノウアンナイ	−	−	機能の解説を印刷します。	P.131
	3. デンワチョウ　リスト	1. メモリーバンゴウジュン	−	電話帳に登録されている内容をメモリー番号順に印刷します。	P.131
		2. ナマエジュン	−	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。	P.131
	4. ツウシン　カンリ　レポート	−	−	送信・受信した最新の最大200通信分の結果を印刷します。	P.132
	5. セッテイナイヨウ　リスト	−	−	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	P.132
	6. チャクシンリレキ　リスト	−	−	着信した履歴を印刷します。	P.132
	7. LAN セッテイナイヨウリスト	−	−	ネットワークの設定内容を印刷します。	P.132
	8. ゴチュウモン　シート	−	−	消耗品をファクスで注文するときのシートを印刷します。	P.132

LAN設定機能

本製品をネットワークで使用する際の詳細については、ユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

■ MFC-8460N

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
6. LAN	1. TCP/IP セッテイ	1. IP シュトク ホウホウ	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
		2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	IPアドレスを設定します。
		3. サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
		4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		5. ノード　メイ	BRN_xxxxxx= (MAC アドレスの末尾 6 文字。最大15文字)	ノード名を設定します。
		6. WINS セッテイ	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		7. WINS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	WINSサーバを設定します。
		8. DNS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	DNSサーバを設定します。
		9. APIPA	On Off	APIPAを設定します。
		0. IPv6	On Off	IPv6を設定します。
	2. イーサネット	－	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
6. LAN	3. スキャン　FTP	1. カラー	PDF JPEG	ファイルの種類を設定します。
		2. モノクロ	PDF TIFF	ファイルの種類を設定します。
	0. LANセッテイ　リセット	1. ケッテイ	1. ハイ 2. イイエ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
		2. キャンセル	－	設定メニューに戻ります。

■ MFC-8870DW

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
6. LAN	1. ユウセンLAN	1. TCP/IP セッテイ	1. IP シュトクホウホウ	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
			2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	IPアドレスを設定します。
			3. サブネットマスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
			4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			5. ノード　メイ	BRN_xxxxxx= (MACアドレスの末尾6文字。最大15文字)	ノード名を設定します。
			6. WINS セッテイ	Auto Static	WINS サーバーのアドレスの取得方法を設定します。
			7. WINS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	WINSサーバを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
6. LAN	1. ユウセン LAN	1. TCP/IP セッテイ	8. DNS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	DNSサーバを設定します。
			9. APIPA	On Off	APIPAを設定します。
			0. IPv6	On Off	IPｖ6を設定します。
		2. イーサネット	−	Auto 100B−FD 100B−HD 10B−FD 10B−HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。
		3. ショキセッテイ ニ モドス	1. ケッテイ 2. キャンセル	−	有線LANのネットワークの設定を全て初期値に戻します。
		4.ユウセンLAN ユウコウ	−	On Off	有線LANを設定します。
	2. ムセン LAN	1. TCP/IP セッテイ	1. IP シュトク ホウホウ	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得情報を指定します。
			2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	IPアドレスを設定します。
			3. サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	サブネットマスクを設定します。
			4. ゲートウエイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			5. ノード メイ	BRN_xxxxxx= (MACアドレスの末尾6文字、最大15文字)	ノード名を設定します。
			6. WINS セッテイ	Auto Static	WINS サーバのアドレスの取得方法を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容
6. LAN	2. ムセン LAN	1. TCP/IP セッテイ	7. WINS サーバ	プライマリ 000.000.000.000 セカンダリ 000.000.000.000	WINSサーバを設定します。
			8. DNS サーバ	プライマリ 000.000.000.000 セカンダリ 000.000.000.000	DNSサーバを設定します。
			9. APIPA	On Off	APIPAを設定します。
			0. IPv6	On Off	IPｖ6を設定します。
		2. ムセン セッテイ	1. セッテイ ウィザード	―	ウィザード形式で無線 LAN の設定をします。
			2. AOSS	―	自動で無線 LAN の設定をします。
		3. ムセン ジョウタイ	1. セツゾク ジョウタイ	アクティブ（11b） アクティブ（11g） ユウセン LAN アクティブ ムセン LAN オフ セツゾク シッパイ	接続状態を表示します。
			2. デンパ ジョウタイ	デンパ：ツヨイ／フツウ／ヨワイ／ナシ 54Mbps [11ch]	電波状態を表示します。
			3. SSID	―	SSID（ネットワーク名）を表示します。
			4. ツウシン モード	アドホック インフラストラクチャ	通信モードを表示します。
		4. ショキセッテイ ニ モドス	1. ケッテイ 2. キャンセル		無線 LAN のネットワーク設定をすべて初期値に戻します。
		5. ムセン LAN ユウコウ	―	On Off	無線LANを設定します。
	3.IFAX セッテイ	1. インターネット セッテイ	1. メール アドレス	― (最大60文字)	メールアドレスを設定します。
			2. SMTP サーバ	サーバメイ（最大30文字） IPアドレス [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	SMTP サーバを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
6. LAN	3.IFAX セッテイ	1. インターネット セッテイ	3. POP3 サーバ	サーバメイ（最大30文字） IPアドレス [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	POP3　サーバを設定します。
			4. アカウント メイ	ー （最大 20 文字）	アカウント名を設定します。
			5. パスワード	パスワード:XXXXXX （最大 20 文字）	POP 3サーバにログインするパスワードを設定します。
		2. メール ジュシン セッテイ	1. ジドウ ジュシン	On Off	メールの自動受信を設定します。
			2. ポーリング カンカク	xx フン 10フン	メールを確認する時間を設定します。
			3. ヘッダ インサツ	スベテ ヘッダ ノミ ナシ	メールヘッダ印刷を設定します。
			4. エラー メール サクジョ	On Off	エラーメールの自動削除を設定します。
			5. ジュシン カクニン	On MDN Off	通知メッセージを設定します。
		3. メール ソウシン セッテイ	1. メール タイトル	ー （最大 40 文字）	メールタイトルを設定します。
			2. サイズ セイゲン	On Off	メールサイズ制限を設定します。Onに設定すると1MBより大きいときは警告が表示されてメールを送信することができません。
			3. ジュシンカクニン ヨウキュウ	On Off	通知メッセージを設定します。
		4. リレー セッテイ	1. リレー キョカ	On Off	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線を使用してファクスに転送します。
			2. キョカ ドメイン	リレー XX :	転送を許可するドキュメント名を登録します。
			3. リレー レポート	On Off	転送したあとのレポート出力を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容
6. LAN	4. スキャン Eメール	1. カラー	―	PDF JPEG	ファイルの種類を設定します。
		2. モノクロ	―	PDF TIFF	
	5. スキャン FTP	1. カラー	―	PDF JPEG	ファイルの種類を設定します。
		2. モノクロ	―	PDF TIFF	
	6. タイム ゾーン	―	―	UTCXXX:XX UTC+9:00	タイムゾーンを設定します。
	0. LANセッテイ リセット	1. ケッテイ	―	1.ハイ 2.イイエ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
		2. キャンセル	―		設定メニューに戻ります。

製品情報

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
7. セイヒン ジョウホウ	1. シリアル No.	―	―	シリアルNo.を表示します。	P.168
	2. インサツマイスウ ヒョウジ	―	ゴウケイ コピー プリンタ ファクス／リスト	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	P.168
	3. ブヒン ジュミョウ	1. ドラム ユニット	―	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	P.169
		2. ヒーター	―	ヒーター寿命までの残り%を表示します。	
		3. レーザー ユニット	―	レーザーユニット寿命までの残り%を表示します。	
		4. PF キット MP	―	多目的トレイPFキット寿命までの残り%を表示します。	
		5. PF キット #1	―	記録紙トレイ１PFキット寿命までの残り%を表示します。	
		6. PF キット #2	―	記録紙トレイ２PFキット寿命までの残り%を表示します。	

本製品の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG
通信速度	33600bps（自動フォールバック付き）
原稿サイズ幅	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：215.9mm 最小：148mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：215.9mm
原稿サイズ長さ	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：355.6mm（両面印刷時：297mm） 最小：148mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：355.6mm
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	多目的トレイ：約50枚（80g/m^2） 記録紙トレイ1：約250枚（80g/m^2） 記録紙トレイ2：約250枚*1（80g/m^2）
記録紙サイズ	A4（幅210mm×長さ297mm）
電送時間	2秒台*2
グレースケール	256階調
液晶ディスプレイ表示	22桁×5行
読み取り方式	CCD
代行受信枚数	最大500枚*3
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（スーパーファイン）
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー（タイマー：受信のみ）
適用回線	一般電話回線

*1: 記録紙トレイ2はオプションです。
*2: A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。
*3: A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.38本/mm）で蓄積した場合（MMR圧縮時）

プリンタ・スキャナ

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機 Apple社製Macintosh®のUSB ポート搭載機
対応 OS	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP/XP Professional x64 Edition Windows NT®4.0 WS Mac OS® 9.1～9.2/Mac OS® X 10.2.4以降
インターフェース	IEEE1284準拠（双方向パラレルインターフェース） Hi-Speed USB2.0 10/100BASE-TX 無線LAN（IEEE 802.11b/g）[MFC-8870DWのみ]
スキャナ解像度（光学解像度）	600×2400dpi
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
印刷解像度	1200×1200dpi
印刷速度	24枚/分

電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V±10V　50/60Hz
消費電力*	待機時：85W以下 ピーク時：1092W以下 コピー時：660W以下 スリープ時：MFC-8460N .... 17W以下 MFC-8870DW...... 18W以下
稼働音	待機時：30dB（A）以下 動作時：55dB（A）以下
メモリー容量	32MB（544MBまで増設可能）
外形寸法	531(横幅)×450(奥行き)×475(高さ)mm
質量（トナーを含む）	MFC-8460N：17.75kg MFC-8870DW：17.95kg

* 電源スイッチが OFF でも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W 以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源スイッチで本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品

トナーカートリッジ (TN-35J/TN-37J)	TN-35J：寿命約3,500枚（A4を印刷密度5%で印刷した場合*4） TN-37J：寿命約7,000枚（A4を印刷密度5%で印刷した場合*4）
ドラムユニット (DR-31J)	寿命約25,000枚*4

*1: 印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。

補足

外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

Windows® 動作環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。
またブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 98/98SE/Me
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/32MB（推奨128MB）以上
- Windows® 2000 Professional、Windows NT® 4.0（SP6以降）
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/64MB（推奨256MB）以上
- Windows® XP
  Intel® Pentium® IIプロセッサ300MHz（Pentium® 互換CPU含む）以上/128MB（推奨256MB）以上
- Windows® XP Professional x64 Edition
  AMD Opteron™プロセッサ/256MB（推奨512MB）以上
  AMD Athlon™64プロセッサ/256MB（推奨512MB）以上
  Intel® EM64Tに対応したIntel® Xeon™/256MB（推奨512MB）以上
  Intel® EM64Tに対応したIntel® Pentium® 4/256MB（推奨512MB）以上

補足

複合機のすべての機能を快適にご使用いただくために、Intel® Pentium® III プロセッサ 1GHz以上のCPUとメモリー容量256MB以上のパソコン環境でのご利用をお勧めします。（Windows® XP Professional x64 Editionでは、上記環境になります。）

ディスク容量

400MB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
IEEE1284準拠（双方向パラレルインターフェース）
イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE 802.11b/g）〔MFC-8870DWのみ〕

- OS対応表
  お使いいただいているパソコンのOSによって本製品で使用できる機能が異なります。

	Windows® 98/98SE/Me/2000/XP	Windows NT® 4.0（SP6 以降）
プリンタ	○	○
スキャナ	○	○
Presto! PageManager®	○	×
PC-FAX ソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	○	○
ControlCenter2	○	○

補足

- USBケーブル、パラレルケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブル、パラレルケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- USB接続は、次のパソコンに対応しています。
  Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition
- Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。
- Windows NT® 4.0 を使用している場合、ネットワーク接続では、スキャナ、PC-FAX（受信）、リモートセットアップおよびControlCenter2に対応していません。

Macintosh® 動作環境

本製品とMacintosh®を接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
またブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS® 9.1～9.2/64MB以上
Mac OS® X 10.2.4以降/128MB（推奨160MB）以上

CPU

Power PC G3/G4/G5、Intel Core Solo/Duo

ディスク容量

280MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE 802.11b/g）〔MFC-8870DWのみ〕

- OS対応表
  お使いいただいているMac OS®のバージョンによって本製品で使用できる機能が異なります。

	Mac OS®	Mac OS® X
	9.1 ～ 9.2	10.2.4 以降
プリンタ	○	○
スキャナ※	○	○
Presto! PageManager®	○	○
PC-FAX ソフトウェア	○	○
リモートセットアップ	×	○
ControlCenter2	×	○
無線 LAN	×	○

※Mac OS® 9.1～9.2はネットワークスキャナには対応していません。

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® 9.0.4までをお使いの場合は、Mac OS® 9.1以降へのアップグレードが必要となります。
- Mac OS® X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

用語集

あ

● **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● **インターネットファクス**
インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。詳しくはユーザーズガイド（HTML版）を参照してください。

● **インターフェース**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。

● **液晶ディスプレイ**
本製品の液晶表示パネルです。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **機密ポーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● **キャリアシート**
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーするときに使います。本製品で使用するときは、原稿台ガラス面をお使いください。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

● **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて本製品に接続されている電話機を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 枚目を希望枚数分、2 枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● **スプリッタ**
ADSL という通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿 1 部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

● **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **定着器**
紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。本製品のディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **電話呼び出し機能**
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● **トナー**
炭素を主成分とした粉末。これを紙に転写し、定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● **ドライバ**
本製品に付属されているソフトウェア。プリンタドライバやスキャナ機能などを持っています。

● **取りまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● ナンバー・ディスプレイサービス
「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。
ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● はがき印刷サポート
はがきを印刷するときに使うアダプタです。

● パラレルプリンタケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。
パソコンと本製品を接続します。

● ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● ポスター
1枚の原稿を9分割して拡大し、それぞれを9枚の記録紙にコピーします。

ま

● メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー代行受信
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

ら

● リアルタイム送信
データをメモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモート受信
本製品に接続された電話機から本製品を操作する機能です。

● リモートセットアップ
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）
パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● 2 in1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4 in 1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本製品に送ります。

● ADSL
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CSV形式
Comma Separated Valueの略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI
Dot Per Inchの略で、1インチ(2.54cm)幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM通信
Error Correction Modeの略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。
送信側・受信側ともにECM 機能を持っていないとECM通信は行われません。

● IPフォン
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN

NTTが行っている総合デジタル通信網サービスです。「INSネット64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線2本と同様な使い方ができます。

● OCR機能

画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● OS

Operating System(オペレーティングシステム)の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT互換機

IBM社が開発したパーソナルコンピュータ(IBM.PC/AT)の互換パソコンに付いた名称です。日本ではDOS/Vパソコンとも言われます。

● PC-FAX

パソコンのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAXの電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● PFキット

2つの部品で構成された交換部品です。

● Presto! PageManager®

種類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

● TWAIN

イメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● USBケーブル

Universal Serial Bus(ユニバーサルシリアルバス)の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf形式)

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows Imaging Acquisitionの略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● Windows® 98/98SE/Me/2000/XP/XP Professional x64 Edition

Microsoft社が開発したOSで、それぞれ98年、00年(＝Millennium edition)、98SEは99年、XPは01年、XP Professional x64 Editionは05年に発売されました。

● Windows NT®

Microsoft社が開発したネットワークOSです。

索　引

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

Memo

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号

○○○＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が３回聞こえますので、もう１度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリー受信を解除（※1）		951
ファクス転送に設定（※2）		952
電話呼び出しに設定（※2）		953
ファクス転送番号の登録・変更		954＋転送番号+##
メモリー受信を設定		956
ファクスの取り出し		962＋ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック(※3)	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

〈キリトリ線〉

ご注文シート

- 消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてｲﾝﾀｰﾈｯﾄ、電話、FAX によるご注文も承っております。
- FAX にてご注文される場合は下記ｵｰﾀﾞｰｼｰﾄにご記入の上、お申し込み下さい。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上の場合は全国無料です。
  5,000 円未満の場合は 500 円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

＜代引き＞　・・・・ご注文後２～３営業日後の商品発送

※　配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・・ご入金確認後２～３営業日後の商品発送

※　代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込み下さい）

※　振込手数料はお客様負担となります。

＜クレジットカード＞　・・・・カード番号確認後２～３営業日後の商品発送

【ご注文先】

ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ：http://direct.brother.co.jp

FAX：０５２－８２５－０３１１

ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ：０１２０－１１８－８２５（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～12 時、13 時～17 時）

振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社

銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357

郵便：振り込み番号　00860-1-27600

お客様ご住所 〒

お名前　　　　　　　　**ＴＥＬ**　　　　　　**ＦＡＸ**

お支払い方法　銀行前振込　・　郵便前振込　・　代引き　・　カード

カード種類　①VISA　②JCB　③UC　④DINERS　⑤CF　⑥Master　⑦JACCS

カード No.

カード名義人名　　　　　**有効期限**　　年　　月

商品名	仕様	単価（税込）	ご注文数	金額
TN-35J	トナーカートリッジ（約 3500 枚@A4:5%）	8,562 円		
TN-37J	トナーカートリッジ（約 7000 枚@A4:5%）	14,700 円		
DR-31J	ドラムユニット	26,250 円		
LT-5300	増設記録紙カセット（A4 普通紙最大 250 枚）	26,250 円		
配送料および消費税は変わる可能性があります。（消費税：2006 年 9 月現在）			合計	
●ブラザーサービスパック・年間保守サービスをご購入されるお客様は、製品同梱の別紙「サービスパックのご案内」をご覧下さい				

必要な場合は恐れいりますが、コピーを取ってお使い下さい。

※本製品から印刷することもできます。詳しくは P.132 を参照してください。

Memo

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。
その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【MFCお客様お問い合わせ窓口】

お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）TEL：0120-143-410
受付時間　9：00～20：00（土曜日のみ17：00まで）
営業日　月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）
サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：
http://solutions.brother.co.jp

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15-1
TEL：フリーダイヤル 0120-118-825
受付時間 9:00～12:00　13:00～17:00
営業日　月曜日～金曜日（祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）
FAX：052-825-0311
インターネット：http://direct.brother.co.jp

【添付ソフトウェア（Presto! PageManager®）サポート窓口】

ニューソフトジャパン株式会社
ニューソフトカスタマーサポートセンター
TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009
受付時間　午前10：00～12：00　午後1：00～5：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート　電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

- 消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、FAXにてご注文いただく場合は、取扱説明書の「ご注文シート」を印刷してご活用ください。
- 消耗品は当社指定品をお使いください。当社指定以外の品物をお使いいただくと、故障の原因になります。
  指定の消耗品をご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。
- 本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造締め切り後5年です。
- 本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp) では、最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをダウンロードすることができます。また、Q&A、便利な機能紹介、その他プリンタをお使いいただく上で有益な情報をご用意しております。ぜひご利用ください。

brother
ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。
現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が
本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only.
We can not recommend using them overseas
because it may violate the Telecommunications Regulations of
that country and the power requirements of your fax machine
may not be compatible with the power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。